

和歌山市地域福祉計画に関する  
アンケート調査  
結果報告書

令和6年7月  
和歌山市

# 目次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 報告書の見方.....	1
II 団体アンケート調査結果.....	2
1 活動内容について.....	3
2 「和歌山市地域福祉計画」について.....	5
3 その他について.....	11
III 利用者アンケート調査結果.....	37
1 あなた（利用者）自身について.....	37
2 「和歌山市地域福祉計画」について.....	41
3 その他について.....	47
IV 小学生児童アンケート調査結果.....	50
1 ふだんの生活について.....	50
2 他の人との助け合いや支え合いについて.....	57
3 防災について.....	62
4 和歌山市について.....	63

# I アンケート調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、市民が住み慣れた地域をよりよい地域にするために、みなさまへのアンケート調査を実施しました。

## 2 調査概要

項目	団体調査	利用者調査	小学生児童調査
調査対象者	和歌山市内の団体	和歌山市内の利用者	和歌山市内代表の 小学校の6年生
調査期間	令和6年4月1日（月） ～6月6日（木）	令和6年4月1日（月） ～5月24日（金）	令和6年4月22日（月） ～5月24日（金）
調査方法	郵送・手渡による配布・回収 本人記入方式	郵送配布・郵送回収による 本人記入方式	WEB回答方式
配布数	1,497件	455件	597件
有効回収数	1,009件	293件	529件
有効回収率	67.4%	62.3%	88.6%

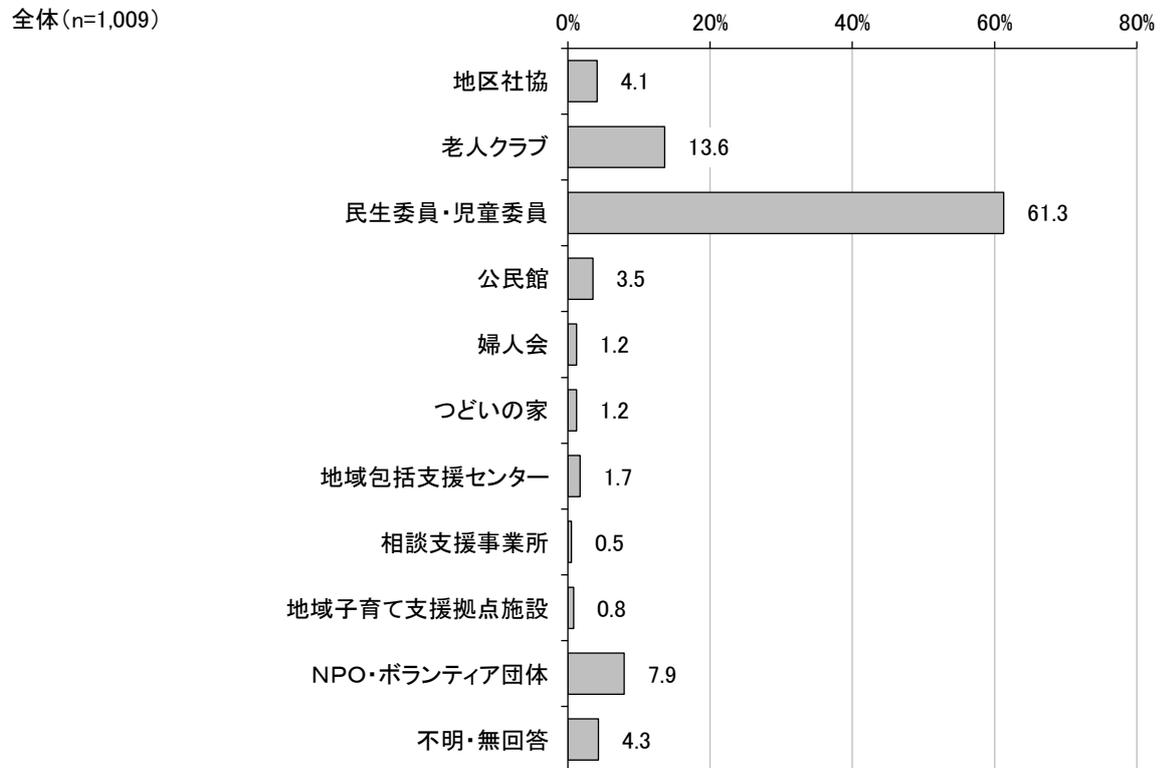
## 3 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

## II 団体アンケート調査結果

問1 所属はどちらですか。(〇は1つ)

「民生委員・児童委員」が61.3%と最も高く、次いで「老人クラブ」が13.6%、「NPO・ボランティア団体」が7.9%となっています。

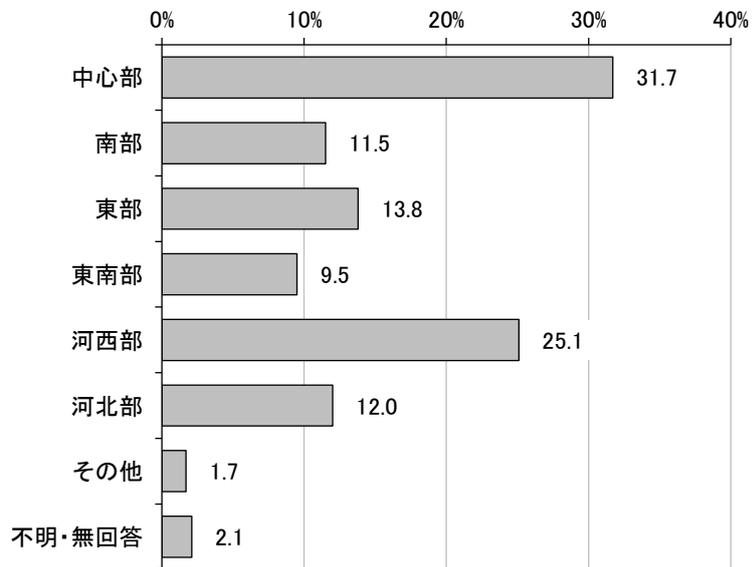


# 1 活動内容について

問2 活動されているエリアはどちらですか。(〇はいくつでも)

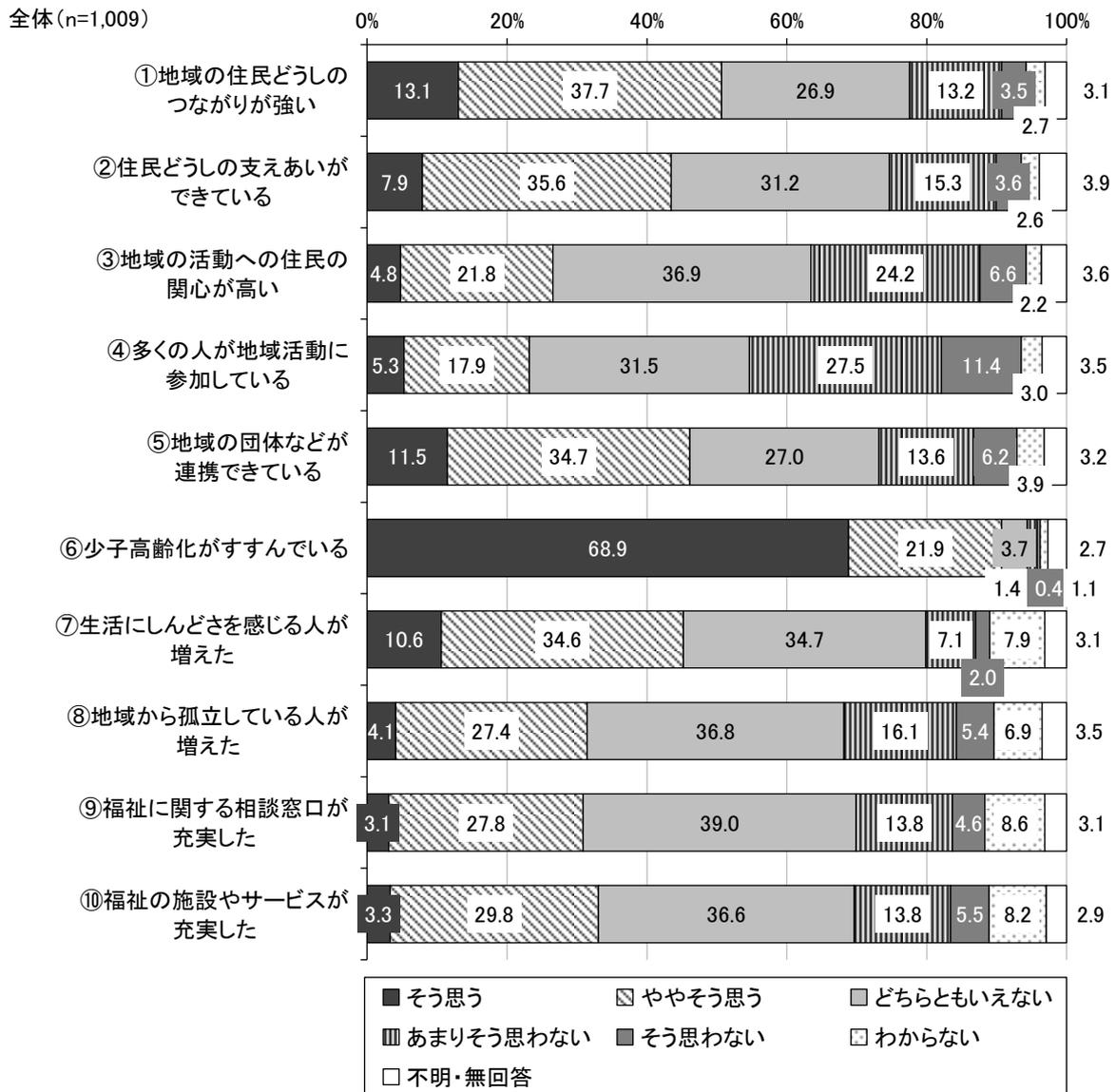
「中心部」が31.7%と最も高く、次いで「河西部」が25.1%、「東部」が13.8%となっています。

全体(n=1,009)



問3 活動されているエリアの状況を、どのように感じていますか。(それぞれ〇は1つ)

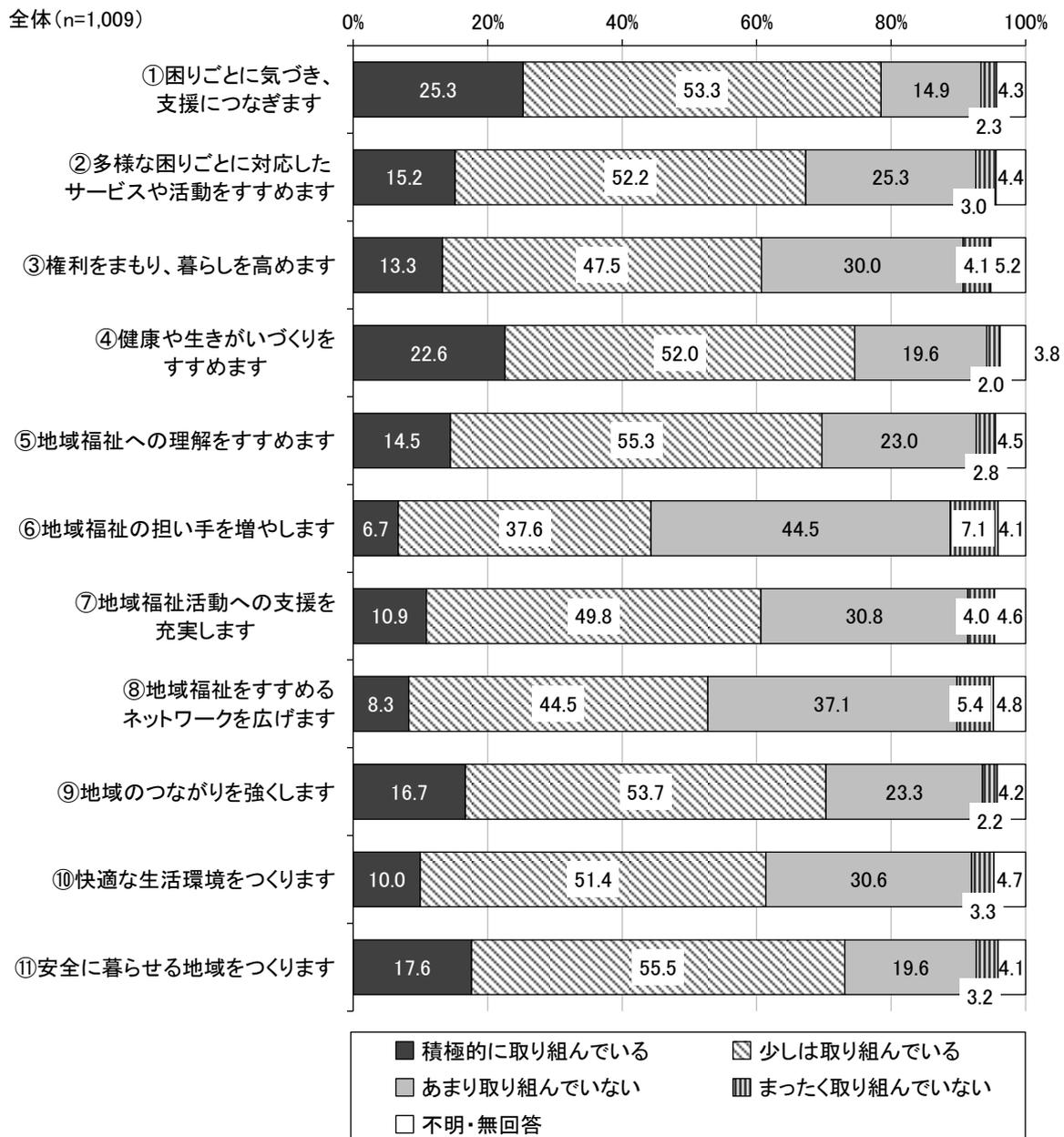
〔⑥少子高齢化がすすんでいる〕では、『そう思う』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)が9割台と他の項目と比べて高くなっています。



## 2 「和歌山市地域福祉計画」について

問4 「第4次和歌山市地域福祉計画」では、地域福祉を推進していくために11の取り組みの柱を立て、それらを市民、団体、事業者、市・関係者等が、役割を分担しながら協働して進めていくことが書かれています。貴団体では、これらの取り組みをどのように進めていますか。  
(それぞれ〇は1つ)

〔⑥地域福祉の担い手を増やします〕では「あまり取り組んでいない」、それ以外の項目では「少しは取り組んでいる」が最も高くなっています。

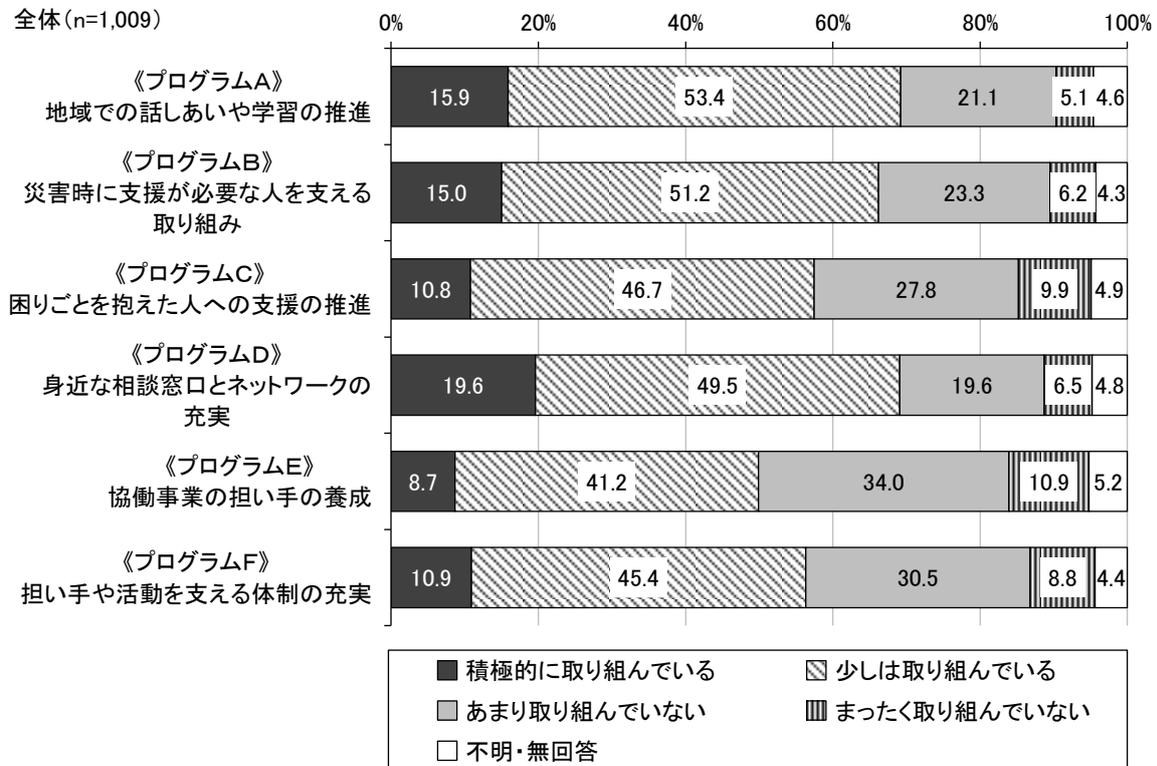


問5 現計画では、地域福祉の推進について、特に次のA～Fのプログラムを先導的に取り組む事項として設定し、市民、団体、事業者等にも協働を呼びかけています。

(1) 先導的に取り組む事項について、貴団体ではどのように取り組んでいますか。

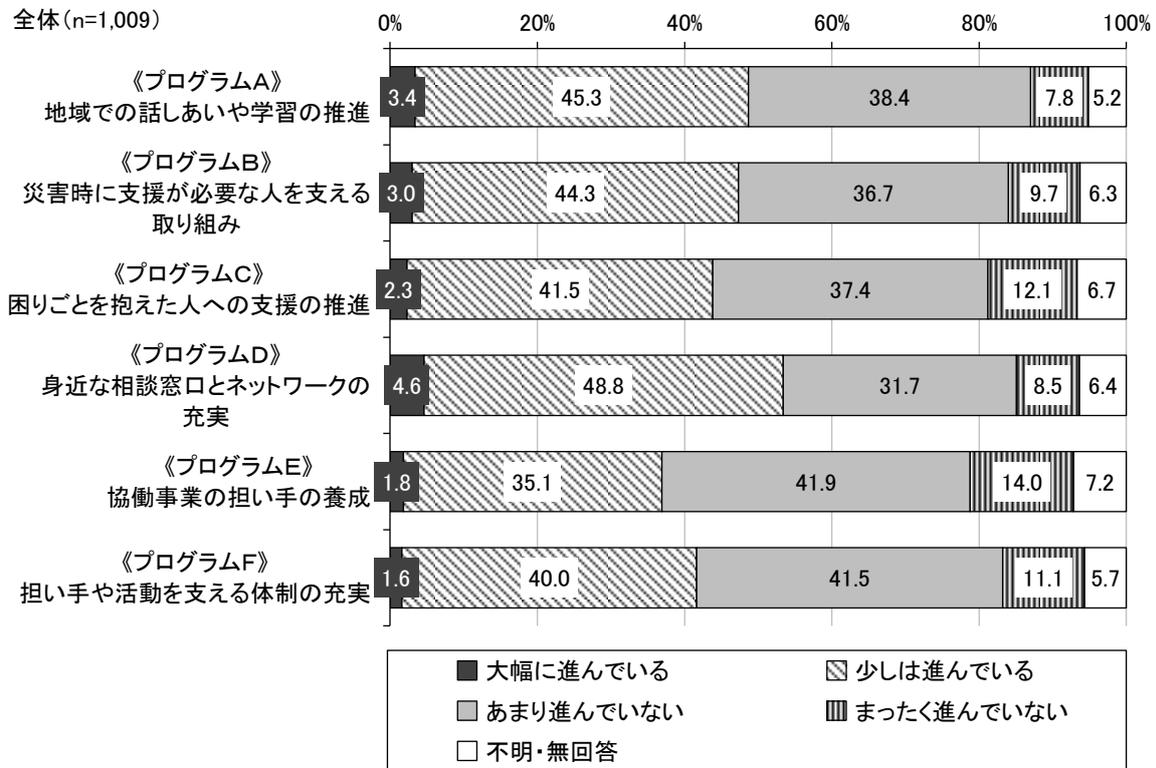
(それぞれ〇は1つ)

すべての項目で「少しは取り組んでいる」が最も高くなっています。



(2) また、令和元年度から令和4年度にかけての実施状況はどうでしたか。(それぞれ〇は1つ)

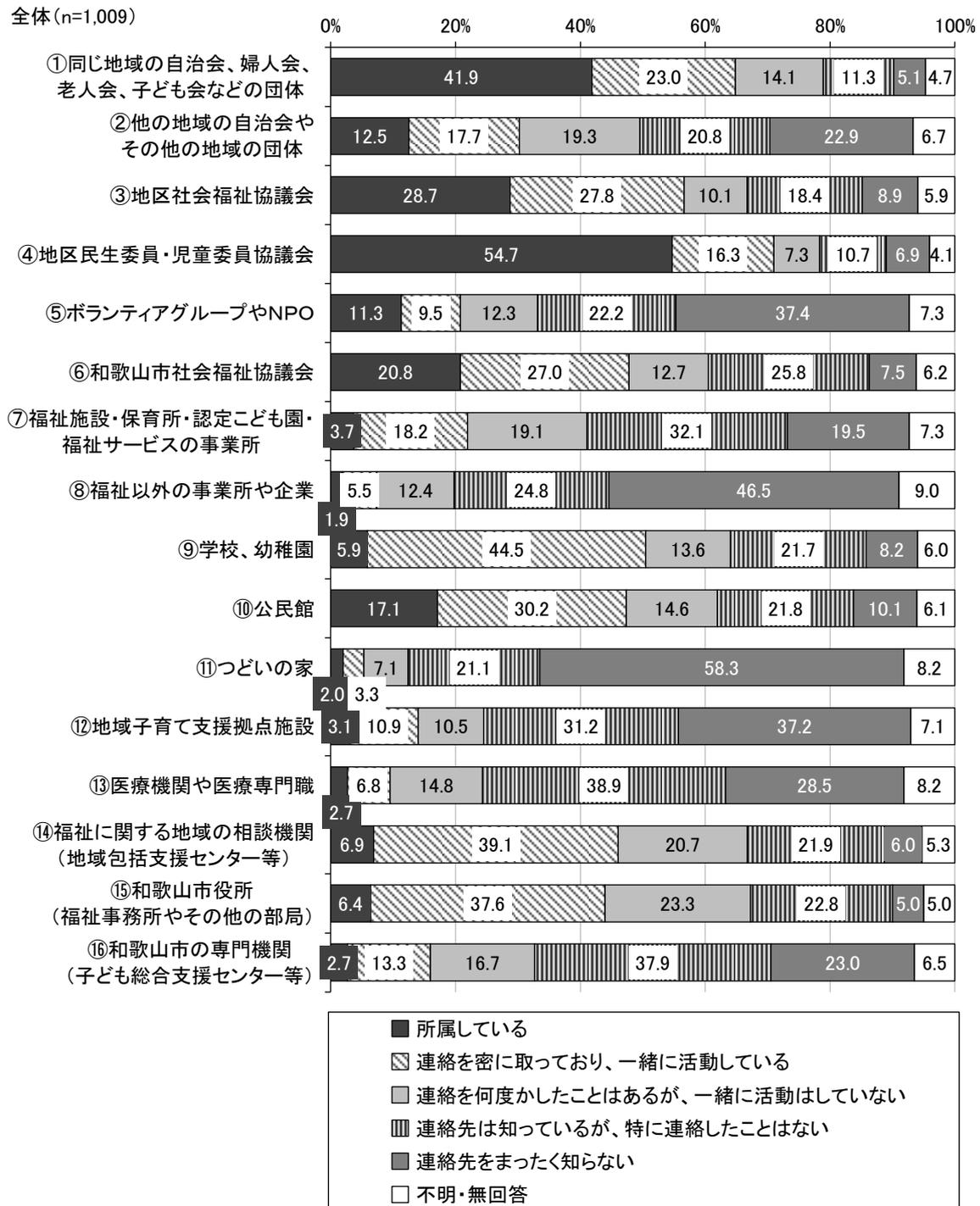
〔《プログラムE》協働事業の担い手の養成〕〔《プログラムF》担い手や活動を支える体制の充実〕では「あまり進んでいない」、それ以外の項目では「少しは進んでいる」が最も高くなっています。



問6 現計画では、市民、団体、事業者、市・関係機関等が、それぞれの特長を活かして協働し、和歌山市の地域福祉全体を効果的に推進していくことになっています。

(1) 貴団体が活動する上で、どのような団体や機関と連携していますか。(それぞれ〇は1つ)

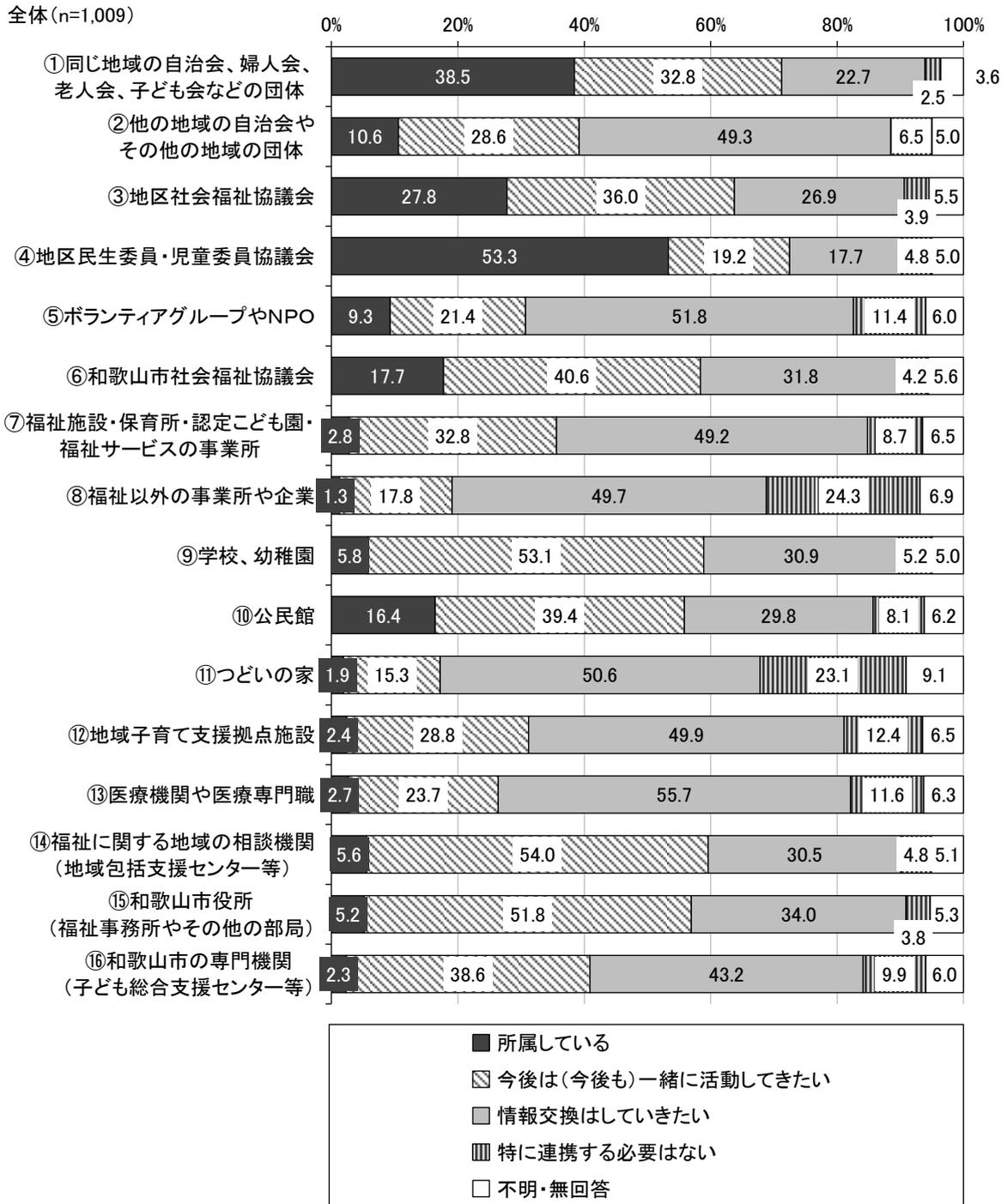
〔①同じ地域の自治会、婦人会、老人会、子ども会などの団体〕〔④地区民生委員・児童委員協議会〕では「所属している」、〔⑧福祉以外の事業所や企業〕〔⑪つどいの家〕では「連絡先をまったく知らない」が他の項目と比べて高くなっています。



(2) また、貴団体が活動するうえで、今後どのような団体や機関と連携したいですか。

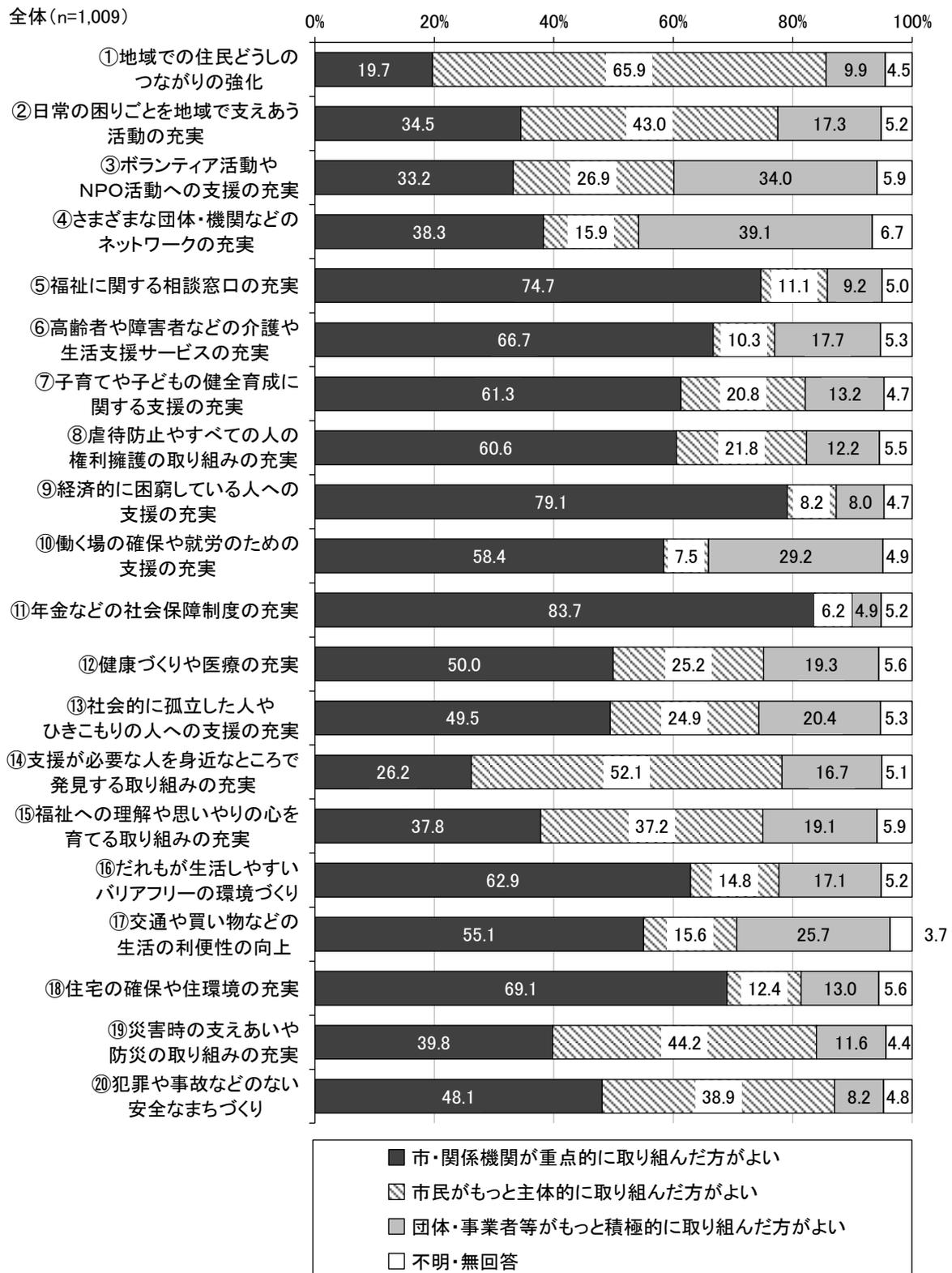
(それぞれ〇は1つ)

〔①同じ地域の自治会、婦人会、老人会、子ども会などの団体〕〔③地区社会福祉協議会〕〔④地区民生委員・児童委員協議会〕では「所属している」が他の項目と比べて高くなっています。



問7 地域福祉を推進するためには、次の①～⑳について、それぞれどのように取り組んだほうがよいと思いますか。(それぞれ〇は1つ)

〔⑤福祉に関する相談窓口の充実〕〔⑨経済的に困窮している人への支援の充実〕〔⑪年金などの社会保障制度の充実〕では「市・関係機関が重点的に取り組んだ方がよい」が他の項目と比べて高くなっています。



### 3 その他について

問8 活動をするうえで、効果的だった取り組みについて、お書きください。

自由回答
エクササイズの取り組みで年に1回ほど講師に来ていただき、正しい運動の仕方を学べたことは大いに参考になり、その後のエクササイズにいかせています。また、会員のコミュニケーションを強めるための歌声やカラオケ、三ない（のまない、吸わない、かけない）、マージャンなども役立っています。
活動する人達が健康にいられるように、体力づくりに力を入れています。年々、老いで集まりにくい状態です。
各種団体、包括センターの連携が良かった体操、コーヒータイムが1番効果的である。体操、おしゃべりがどれだけ重要かもよくわかった。
みその商店通りで活動していた時は、近所との交流また、アーケード下でのお祭りなど企画し応援していただきました。移転しビルの2階になってからは地域との交流がまったくなく、その橋渡しを頼めるところも知らなく、教えていただければ幸いです。
都市の老人会なので目立った効果はない（田舎ならつながりは強いと思う）が、高齢者の行事を多くすれば配布の回数が増えて、高齢者の情報をキャッチする機会も増える（戸戸に配ることで、地域包括支援センターの職員や民生委員に助けられた事例は3件も経験している）。
スポーツを取り入れ卓球はめずらしく、皆さん楽しく笑顔で行うことが1番です。
近隣住民の情報をアンテナを高くして聞く。
医師や被災にあった方の話を聞いたり、体操や趣味の集いで情報が得られたこと。
<ol style="list-style-type: none"> <li>1.地区社会福祉協議会による、つれもて健康体操の実施</li> <li>2.第三の居場所づくりを目指したもうひとつの家の開催</li> <li>3.月一回程度の各種イベントの実施</li> </ol>
場所を無料で提供してフェイクにならないようなことをしましょうと言う。つどいの家に参加しましたので「つどいの家 和」。全般的に広い質問で答えづらかったです。
高齢世代の方に向けての低栄養予防のための活動では、シニアドリルや食事バランスガイドのプレートなどを配り啓発しました。自分があまり食事ができていないことが良くわかったと話していただきました。
何かの催しにいつも出てくれる高齢者は良いのですが、何かにあまり出てくれない方に注意して、何かの折に挨拶や声かけをしてコミュニケーションをとることが大事だと思います。婦人会役員会に民生委員に来ていただいて、地域の方達の様子をお聞きすることも良いのではないのでしょうか。
変質者の出没に対して、住民間の情報交換や警察との連携。
地域の方が主体になっていただくこと（NPO等は見守り、支えることで仕切らない）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃん訪問での支援拠点のチラシ配布や保健センターでのチラシ配布、また、保健センターとの連携により福祉支援が以前より充実した。</li> <li>・地域回覧板で子育て支援を周知することができ、困りごとを持つ親子に対して援助することができた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・80歳以上の方に金山寺みその配布</li> <li>・70歳以上のひとり暮らしの方の食事会</li> <li>・65歳以上のひとり暮らしの配食</li> <li>・他団体との交流活動による市内各種施設訪問</li> <li>・グラウンドゴルフ、健康ウォーキング等</li> </ul>

自由回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の各種団体との連携</li> <li>・学校児童との親子学級の開催</li> </ul>
<p>コロナ禍で活動ができない時、ひとり暮らし高齢者に対して物品（マスク、食料品等、外部からの支援も得て）提供し、孤独な時期にやすらぎを与えられた。</p>
<p>高齢の夫婦達の生活づくりの場所として活動を継続しています。</p>
<p>新南地域包括支援センターから3、4ヶ月に一度訪問してくれます。色々な情報や会員の顔を見てくれて心強いです。</p>
<p>企業との連携</p>
<p>高齢者施設、老人ホーム、各自治会等、コロナ時期であったためほとんど活動していませんでした。</p>
<p>日々なにげない話でも良いので地域の人々となつなぎ、相談したり連絡したりして皆様と心をつなげて生活することなど。</p>
<p>現在活動しているシニアエクササイズの体操教室で効果的だった取り組みとしては、公民館、地域包括支援センター、地元住民とのコミュニケーションがとても大事であると思います。</p>
<p>複数の地区（老人会等）より寄りあったグループであるがお互いが持っている情報を交換して参考にしている。</p>
<p>アートをより楽しく体験してほしいと活動しています。これまでも障害のある方やサポートする方達へのワークショップを実施しています。日常的に障害のある方をサポートしている人達への心的ケア、自分の時間を見つめ直すワークショップや交流会は、今後につながる事業でした。</p>
<p>ガーデニングの無料体験を年間1回ですが、受講した人の中から会員になってボランティア活動をしている人が数人います。</p>
<p>交流サロンの開催（気軽に来てもらえる）。</p>
<p>1.交流大学でのサークル活動で、福祉や子育ての公的支援の各家庭、個人への周知徹底を図る活動 2.和歌山市の地域の特質や災害の予測、被害の想定と対策の知識向上、最近では和歌山県全図の実体も学習</p>
<p>犯罪被害者等の支援活動に取り組んでいますが、自治体の方との協働は効果的です。</p>
<p>ダンスの発表ができて元気をもらえた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力の増強</li> <li>・住民の相互関係が良くなった</li> </ul>
<p>地域の方々に喜んでもらえています。</p>
<p>高齢者の域に達しています。若い皆様方にお世話になります。少しでも長く自立して動けるようがんばっています。</p>
<p>地域にある大学や専門学校、公的施設や企業の集まりへ当法人のスタッフが行かせていただき、当法人が関わってきた不登校・ひきこもりについてお話させていただく「出張講座」が良かったです。関心を持って下さったり、「身近にも学校に行きづらい子どもがいる」と話して下さる方もおられました。</p>
<p>何の団体でも組織の人材は高齢化が進んでおり、ここ数年で活動ができない状況になるのではと心配しています。中高齢者が参加しやすい環境の整備を検討下さい。</p>
<p>今、NPO ボランティア協議会などを通して、モルックで老人会体操クラブなどで地域の交流を進めています。</p>
<p>市包括との連携</p>
<p>市駅前広場で市民図書館と一緒にグリーンプロジェクトを加えてはたらく車in駅前広場を春に毎年開催や秋には商業施設フェスタを市駅前マルシェと一緒に毎年開催することが決まったことや、3年かけて BACK TO THE 七曲市場を商店街や地域の人達と交渉して一緒に開催させました。</p>

自由回答
地域の接点を多くする。
地域密着が大事（連携で行う）。
和歌山市ウォーク会との協働、活動に協力、健康推進に努めたい。
さざんかの会は超長寿社会に向かう中で元気に生きるために、色々な問題を学んだり自分達自身が楽しんだり、高齢者施設の見学をしたりという取り組みをしています。その結果、地域の健康体操グループづくりにつながったり、老人会などの参加につながったりもしています。
高齢者（65歳以上）の筋トレ等のエクササイズの自主団体です。体調を崩されて休会されても参加されるのは、少しはお役に立っているかと喜びがあります。高齢者にはコミュニケーションの場所、身体を動かせる場が不可欠だと感じます。
高齢者の調査等で親密になって、お互いの信頼の絆につながっている。
活動していくためには、市や関係機関と連携を取りながら支援することが大切です。
特になし。すべてが効果的だと思う。
地区の各種団体や学校及び学校関係者で1つのグループや組織をつくり、町づくり活動をした。特に中学校の生徒会との連携等が地区に大きな効果が出ている。
地区では連合自治会が主体となって色々な分野で、人権、社協、公民館、防災といったように各地区で取り組んでは良いかと思えます。
なぜこの取り組みをするのか、運営する人たちの共通の理解が大事。
和歌山市社会福祉協議会の地域づくり事業 1. 地域支えあいサービス（ふれあい食事会） 2. 地域支えあいサロン ※日常のささいな会話でお互い健康が確認ができ、見守り活動にもなった。
子どもたちと一緒にを行う事業の実施。
「集う」「学ぶ」「結ぶ」を合言葉に家庭で楽しんでいる作品を出展いただく文化祭を開催しているが、コロナで中断し再開したが、コロナ前までの状態に近づき目的も垣間見た。広報の工夫が必要。さらには開催場所の課題が想像される。
高齢者対策が急務であり、月に1～2回に渡り地域（お茶会）などを開催し、お互いの生活について語り解決できるよう取り組む。公民館、社会福祉、人権委員会、老人会、民生委員等との連携を密にして取り組む必要がある。
多数の関係者を対象とするには、各団体と連携し協力を受ける必要がある。ふれあいサロンは老人会、食事サービスは民生会、場合により連合自治会とも共に。
年齢に関係なく”孤独感”を解消できる社会の仕組みが地域にあれば、もっと住みやすい社会になる。人と人がふれあい、じっくりと話のできる場を増やしていきたい。ボランティアに頼るのではなく、行政も。
行政相談委員との連携
高齢者一人世帯を対象とした配食サービスにより、一人暮らしの状況を把握することができた。自宅訪問は効果的だと思う。
貴志地区では、2022年11月から社会福祉協議会でサロンを立ち上げ、団体（社会福祉、民生、公民館）が年間、毎月交代で協力している状態で、連絡所2階で楽しいひとときを過ごしています。取り組みは良いです。毎月第3木曜日の午前中に実施しています。だんだん増えてきているように思います。
地域でサロン会を毎月1回地域のボランティアの人（民生委員等）、地区社協の人と共同で協力して開催しています。毎回楽しみにしてくれて「待ち遠しいよ！」や「今後は何をしてくれるの？」など私達もやりがいを感じていますが、やはり財政面が厳しいので、もう少し補助があればと希望します。
地区行事への参加や出前講座、地域絆づくり交流会（以前、市が主催）への参加など。

自由回答
生活支援コーディネーターと協働で地域の社会資源の情報収集を行い、まとめ、公的サービス以外の社会資源の活用につなげ、相談者・利用者の困りごとの解決ができた。
生活支援コーディネーターや在宅医療介護連携推進センターと連携することで課題解決能力が高まり、個別支援や地域福祉活動への取り組みにつながっている。
年末（令和5年）に、突然和歌山バスより3路線のバス運行が、令和6年9月末で廃止になる予定と聞き、地域の自治会等の関係者を集め臨時会議（協議会）を開催し、6団体の意見をまとめ市長宛に要望書を提出したことで廃止は延期された。
学校の補助をする活動で子どもと接し、感謝しあったりしてお互いに顔も言葉も交わしていくなかで、未来の宝を見守ること。学校も行き来してなじんで親密に関わって良かった。
毎年11月3日、愛徳整肢園にて実施される愛徳祭では、地域各種団体がそれぞれの役割を持ち、私達婦人会は焼きとりを担当、けむりで目をこすりながら多く売れました。うれしかったと共に、地域住民とのふれあいが広がり支えあいの取り組みができました。
婦人会の活動の中で、地域の方ともつながりを持つということで皆が取り組みやすい「ラジオ体操」を始めることにしましたが、残念ながら1ヶ所で始めただけで広がってはいないのですが、始めたところはずでに5年以上継続していて、水・土の週2回ですが楽しんで下さっているようで10人あまりですが、時々皆さんと食事も楽しんでいるそうです。なかなかリーダーをつくるのがむずかしいですが、少しでも増やしていけたらと思います。
他団体と共催で開催するイベントの実施
各種団体との連携と実行部隊（活動隊）づくり
・高齢化する地域住民の健康不安に対し、健康教室やフレイル予防等の行事が喜ばれています。 ・地区からバスを出し、日帰りバスツアーをしています。見知っていた方と地区内を出発する手軽さが喜ばれています。
高齢者が多い中「いきいきサロン」等も計画し、その中で福祉のことについて少しではあるが話をして理解をしてもらっている。「いきいきサロン」の中身は催物（例 大正琴、マジック他など色々）を用意し、コーヒーやお茶等を飲みながら楽しんでもらっている。
独居老人への弁当配りは、とても喜ばれて活動に力が入った。また、毎月地域の高齢者が集い体操したり、クイズ、歌を歌ったりの取り組みもみんな元気にした。
連帯感を持つうえで効果的
楽しく毎日を過ごせるようクラブ活動を充実させている。
特にこれといった取り組み、活動はしていませんので、特記事項はありません。ただ会員相互が顔を合わせる事が大切だと思います。
地域見守り協力員の増員。18人から36人に増やした。健康づくりではラジオ体操やウォーキング。友愛活動では家庭訪問や人と人とのつながりを増やす。ボランティアでは小学生の下校時の見守り。
地域見守り隊の増員（2名から4名）は良い方向にいくと思う。
WAKAYAMA つれもて健康体操等、地域包括支援センターによる指導が良い。
老人会の地域見守りが効果的。
自地区で、各種団体が協働で行動する体制ができつつある。ただ参加率から見るとまだ50%程度と考えます。継続向上が課題と考えます。
回覧での情報がうまく伝わっている。集約、回収など各委員の行動が早い。
2ヶ月に1度役員会議を開催しているので情報交換ができています。また、取り決めたことは会員へ回覧を通して通知している。

自由回答
健康体操は続けて 11 年になります。皆と楽しく身体を動かして続けていこうと思います。
もっと自治会を中心に事業を活動しているのが私は良いと思います。しかし、とてもむずかしいです。市、福祉局だけでなく、個人的にも一人でなく、多くの人で参加したいです。
地域では声かけが大事。親しく話しかけてあげること。あたたかい地道な取り組み。大きな声でハッキリ、ゆっくり言ってあげる。むずかしい話はいらぬ。楽しい話に心がけてあげる。
地域住民が「老人クラブ」に入会していただいた場合、今まで知らない人とおつきあいができました。
私達の老人クラブではフライング∞というスポーツに力を入れています。地域が発展するよう老若男女問わず誰でも参加できるスポーツです。障害者でもできます。昨年の敬老の日に和歌山市で第一回四世代交流フライング大会が行われました。優勝したのは足の不自由な高齢者の方々と聞いて感動しています。数多い健常者の強豪にも負けず、優勝の金字塔を勝ち取った方々に心よりおめでとうと伝えたいです。
当老人クラブだが、リーダー不足で困っている。
健康体操、カラオケを定期的に行うこと。ボランティア活動（神社清掃等）を行うこと。
和歌山市が社会福祉の家庭を調査すること。
地域内の道路のゴミひろい。小倉駅のそうじ。
市と市民とのつながりを更に風通しよくする。何事も相談しやすい市であってほしい。
高齢福祉に携わって思いますが、もう少し市民も他人事に思わず、自分や身の回りの方々に協力が必要だと思えます。傍観するのではなく一人一人がわが身に変えて考えていただきたく思いました。
婦人会のほうは小学校、地域とのつながりは少しありますが、老人会はほとんど周りの方はわかりません。
地域の中で週 1 回の健康体操、月 1 回のホットサロン。 ・皆で顔を合わせておしゃべりできる ・身体に良い ・近隣の状況把握
健康体操の取り組みなど気安く参加する。
地域の活動では●や●などで民生委員と一緒に活動でき楽しい。公民館に遊びに来る親子を、あたたかく迎えられています。季節に合った手遊びやふれあい遊び、読み聞かせを楽しみにしてくれます。
1 人住まいの高齢者を 2 ヶ月に 1 度訪問しています。そのたび喜んでいただき、時々声かけもしてくれます。笑顔が増えました。
いろいろとお話をする中で「気持ちが楽になったようです」と言ってくれます。ひとり暮らしの方が多くなってきました。そう言ってくれると嬉しく思います。
高齢者ばかりで話にならない。
公園の清掃、祭り、夜間パトロール、年齢に合った役づくり、1 万人清掃、交通安全の見守りなど役に立てて楽しそう。自分で行動し、人に頼まず進んでやる。夏休み体操の参加者は子どもより高齢者の数が 2 倍で欠席なし。
健康づくりや医療の充実
学校、愛育会、公民館、老人会、子ども見守り隊等の連携や地元小学生との焼き芋大会、田植えおよび稲刈り体験等により、子どもとの交流を深め、また地区文化祭には各種団体との連携により地域全体のつながりを高めることで、地域の福祉他全般に貢献している。
福祉活動のひとつにまったく必要のない事業としていらぬものと思って生活してきた。まったく関係を持ったこともなかった。なぜお金を出してまでやるのかと思って生活してきたが、近くに対象者が出てきた時に窓口があり必要性を感じ出した。

自由回答
NPO 法人「チョイお手伝い」で配車サービス（病院や買い物）をやっています。大変人気があり喜んでいただいています。また運転手や提供車に限度があり、早くライドシェアが普及してくれたらと思います。
高齢者に固定電話の録音機能を勧め、携帯には市が連絡できるようにするなどプライバシーを守りながら対応し、スポーツ（ウォーキング）に参加するようにする。
担い手育成のために「わかやまコンパクト 100 歳大学」を開講しました。卒業した受講生の皆さんは高齢の方ですが、地域の担い手として活動している報告を受けています。「人生は二幕目がおもしろい」と実践されています。
フレイル予防になる活動はしている。特に福祉分野ではないので、よくわからない。
SNS を利用した周知と「明るく楽しい」を前面に出した情報提供。地域への地道なチラシ配り。
宮地区第 18 区「新太田自治会」では常時、今地域で何ができるかについて取り組んでいる。地元の地域自治会の企画・立案に賛同し、仕事・イベント・研修会等にボランティアとして参加し支援している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区児童公園の美化活動。月 2 回の公園内外の清掃、また日常的にチェックしている。</li> <li>・ 町内通学路の道路のゴミ除去活動（特にタバコの吸い殻）。</li> <li>・ 小学校の児童、登下校の見守り活動。</li> </ul>
竹あかりワークショップ
30 年近く幼稚園、小学校、中学校へとおはなし活動で絵本、紙芝居、おはなし、ブックトークなど行なっています。いずれも学校から希望されて行っています。生徒、先生にも喜んでいただいています。子どもたちに本を読んでもらいたい、本好きになってほしいと活動しています。
第 2 層協議体で熱心な方が、福祉に限らず地域の様々な主体を巻き込もうとされています。異業種連携がますます重要になるので、歓迎したい動きだと思います。
清掃活動に参加した人が、今まで何気なしに捨てていたゴミが拾う時に汚れや臭いで気持ちが悪くなったりして驚く。捨てられてた缶詰の缶の中がカエルの家になっており、悪いことをしたと思う人が多くいる。清掃活動に参加したことで気づき、明日からゴミを捨てずにゴミを拾える人に変わっていく姿を見てきた。
緑化、美化、防災、健康増進活動
地域を限定せず、地区単位に進める。
活動的な役員数人で行事を進めた際は、大規模な催しを数回程度開催できた。以後の会議では運営のあり方が問題視された。
公的事業への参加（呼びかけや集まることでのメリットが大きい）
人との交わりを多くする。
地区、団体が一つになり、連合自治会として取り組んできた。
皆ができるだけ集まり話し合い、運動等できる場所をつくる。健康体操・集いの場等。
学校関係者と定期的に情報交換。
地域サロン、子育て交流会
高齢者に関する家庭問題について、地域包括支援センターと連携して高齢者本人の支援を行って解決した。
家庭訪問・高齢者ふれあいサロンなど、対話することで地域の方とのつながりが少しずつでも深まってきているように思う。普段からのあいさつ、声かけ。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まずは発見（課題を抱えた家庭や個人・子ども）</li> <li>・ 課題対応を各専門分野の団体と共用</li> <li>・ 関係団体が専門分野で対応</li> <li>・ 一定の対応が進んだ時期にケース会議</li> <li>・ 足りないところへの再度（新規）の取り組み</li> </ul>

自由回答
これらを役割分担して行っている。
社協だったり、包括支援他の連携だったりはできていると思う。まだ1年あまりの経験なので民生委員としてはできていないと思うが、会長の指示に従ってやっている。
現在、自治会集会所で月2回おとな食堂をやっています。主に高齢者と地域のすべての住民を対象に1食200円、配達は250円です。開始するにあたり、集会所で体操教室に参加している仲間がボランティアとしてすぐ参加してくれて、運営するための人材確保がスムーズにできました。地域で体操などで顔見知りができ、交流ができていたことでうまくいきました。
高齢者サロンを開催したが、出かける場を提供できて、おしゃべりできて楽しかったと言ってもらえた。
健康体操や地域サロンの開催
70歳以上のひとり暮らし家庭への訪問
団体内の連絡活動で情報が得られたり、市に問い合わせすることでスムーズに活動できる。サロンを開催することで、地域が元気になっていくように思える。
防災セミナーの開催、小学校の学習サポート、健康体操・日帰りバスツアーの参加推進
地域見守り協力員として、毎日のように独居高齢者宅を訪問し話し相手になり、色々な情報を与えあったりして参考になった。
「子育てサロン」は横のつながりが広がり、係同士も連携が深まり効果を上げた。“コロナ”で長期ブランクになり、再開のエネルギーは出てきていない。見守り活動や配食サービスはそれなりの効果は見られる。要は問題意識とリーダーの問題。
子育てサロンを月に1回開催し、対象者は0～3歳でオモチャの準備や保育士による体操、遊戯、紙芝居、保健所からは食事・病気等の季節に応じた説明等を行う。母親同士の結びつきが深まった。イチゴ狩りや芋掘り等も計画しているが、地域のボランティアが必要。
70歳以上のひとり暮らし世帯の高齢者の現況調査。大変ですが、色々と話ができたり相談を受けたりして良い取り組みだと思います。
家庭内に入って行くのがとてもむずかしくて困っている。
朝夕の子ども達の見守り、声かけ。高齢者宅訪問、声かけ。
民生委員です。ひとり暮らしの担当ではなかったのですが、近所の方で数日安否を確認できないことが何回もあり、その都度、民生委員の会長に連絡し、会長から行政に連絡。結果、施設に入所されひと安心しました。離れて暮らすご息女も安心されたと思います。
周りの方々に意見を聞くこと。連携が必要な他団体の消極的な考えを納得させる人脈づくりを構成すること。当民生団体は災害時の対応・対策に力を入れたいが、協力を得られないことを踏まえて。
活動をしていく上で大切だと思うのは、色々な情報収集と各機関との情報交換は必要だと思います。地域の人との結びつきを深めるために助け合いや交流活動を盛んにすること、生活する上で誰もが利用しやすいものとするのが、とても大切だと思います。
・夏まつり等の行事 ・防災訓練の実施
高齢者ひとり暮らし宅への訪問、声かけ
・ひとり暮らしや介護が必要で気になる人を頻繁に見守ることは役に立っていると思います。 ・介護施設と連携を深め、緊急時の避難方法について話し合ったが、施設側および自分にとって有意義な時間でした。
日々の安否確認が心を開いてくれました。

自由回答
地区のひとり暮らし高齢者への食事会。日頃1人で食事をしている人にとって大勢の人と一緒に話をしながら食事をするのは楽しいそうです。次回の食事会を希望する声も聞いたりします。
和歌山市つれもて体操を自治会で行い、約1年半になります。最初は体操だけでしたが、皆さんに押され各月くらいに、おでん会やバグーゲーム、ミニ夏祭り、ヨガ、餅つき他に広がり、皆さんの絆が強くなったように見えます。お互いの顔を知ること、防災にも役立つように思っています。これからも続けていきたいです。
地域包括支援センターの方には大変お世話になって助かっています。民生児童委員として困り事や相談等、一緒に前向きになっていただいで解決の糸口になります。
道で高齢者やその家族と会った時に少し話をすることで、何かあった時に話やすくなると思い、なるべく声がけするようにしています。話を聞くだけで安心されたりするので、なるべく話を上手に聞けたらと思っています。ささやかですがその程度です。
認知症の夫のことで困っている方に支援センターの紹介をして大変喜ばれました。
ママのほっと広場は、参加費無料で子育て中の皆さんが楽しく集まれるので、孤立しがちな若いお母さんたちのためには大変良いです。
一団団で行動をするよりも、各種団体が協力しながら活動することが地域の方にも理解していただける。また、興味も持ってくれる。
どんな時でも笑顔で挨拶。
地域の事業所で何をしている事業なのか、見学を通じてその事業所の理解を得ることができた。良い体験ができた。
近隣の空き家が老朽化して崩れかかっており、屋根瓦が落下寸前で道路に落ちれば必ずけが人が出ます。有功中学校の生徒も通学路として通っています。何度も市役所（空き家対策）に連絡しましたが、ほとんど進展がなく失望しています。
70歳以上のひとり暮らしの人達のために「おたのしみ会」を毎月催しているの、孤立することなく友達ができ、横のつながりが強化されています。
自分の所属している民生の地域外、仕事上で持病のある高齢者ひとり暮らしの生活困窮者と関わらなければならない機会があった。その方を生活支援センターへ連れて行き、色々相談させていただいた。最終、その包括センターの関わりである介護施設へ入所して苦しかったたであろう生活環境から抜け出せ良かった。
地域の方や身近な方から連絡や相談があり、来てほしいと言われて伺ったところ認知症があるように感じただため、地域包括支援センターに連絡を取り来ていただきました。その後、施設に入られたとセンターより連絡をいただきました。効果的な取り組みだったと思います。
地域住民のための安全性等を考えると、地域の各種団体との情報を密にする。地域住民個々の理解も必要である。
住民からの問い合わせがあったことを、できるだけ早めに処理することで信頼してもらえるところから始めるのが良いと思っています。
高齢の人が多くなってきているので、地域包括支援センターを利用する機会が多くなりました。皆が簡単に地域包括支援センターを理解して活用してほしいです。
とても小さなことですが、委員になってから知らない人にでも地域の人に挨拶や会釈を積極的にしていると、皆さんの役に立てるようがんばれるようになりました。
年に1回、高齢者訪問をする際に、お話をしっかり聞けること。なかなか訪問できずにいて、1年経つと居なくなっていること（死亡?）があります。活動するにもなかなかできずにいます。

自由回答
普段生活している時間内での福祉の視点を持つこと。困っている人を見つけるセンサー。
9月にひとり暮らし世帯の調査を行ったが、悩みを直接聞いて良かった。
まちづくりは人づくりと言います。担当地区にも高齢者は大勢おられますが、元気なのは女性ばかりで時間を持て余しています。地域活性化のために「朝起きて今日は何をしようか？」と悩んでいる方々ばかりなので、ここを何とか解決したいと日々考えています。
活性化するうえで、人＝人の会話を日常で行うことが第一歩と思われ、「配食」での結びつき等が大切と考える。
民生委員をしながら自治会の役員となっている。
この間はコロナ禍でもあり、活動に制限があったため積極的に活動に取り組めなかったこともあり、効果的な活動は望めませんでした。
虐待や登校拒否を地域、近所、市役所、学校関係は隠すことなく民生委員に教えてほしいと長年思っていました。私からの願いです。
結果は出ていないが、活動前の準備が活動を効果的に支えることがあるため、何ができるか、何をやろうとしているか、そのためのノウハウは各人が構築すべき。
民生委員から地域支援包括支援センター、そして市へと何事も連携ということが大切だと思いました。
自治会員が地区住民の個人情報詳しく把握しており、色々な情報交換をしてもらえるため支援を進めやすく感じました。これからも自治会との密な連絡は必要かと思います。
訪問して顔を見ながらのお話。
支援者の話をとにかく聞き寄り添う。最初は、距離を感じていてもあきらめずに寄り添います。民生委員という立場では、関係機関へつなぐというのが役目であると言われてますが、そこで終わるのではなく地域の仲間としてその方が望むことで自分自身ができることは積極的に取り組みます。最初は民生委員として出会いますが、一人の人間として向き合いたいと常日頃から思っています。
配食サービスにおいて対面の手渡しで安否確認ができ、喜んでくださった方々が多かったので信頼関係がより深まった。
直接、何度も会って話すこと。
1. 見守り活動で小学校・中学校の学生とのコミュニケーションが取れて、若い人の考え方なども勉強になっていると感じています。 2. ひとり暮らしの方々とのコミュニケーションで顔を合わせると明るく挨拶を交わされるようになり、活動が楽しくなっている。
重度の認知症の方の相談を地域包括支援センターにし、速やかに対応していただき、問題解決することができた。
地域で健康体操を週1回行っています。メンバーは6名で、体操以外に日頃のうっぶんや感じたことのおしゃべりに花が咲き、1時間があっという間で楽しいのですが、リーダーの交代ができないのが悩みです。
70歳以上のひとり暮らしの方のお宅訪問は、どのような方がいらっしゃるのかを確認することができ、良かったと思う。
高齢化に対する問題、南海トラフ対策、空き家問題、取り組まなければならない問題は多い。多くの発信方法はあるが、民生委員として一番は、対面して伝える・聞くことが大切に思う。
地域交流事業を定期的に開催しています。かなりの効果があります。
他の自治会の方々との交流で、意見交換をすることが大切だと感じました。登校時の見守りのおかげで、子ども達は安心して登校できるので、本当に朝早くからありがたいと感じています。

自由回答
地域担当の方々や知人と出会ったら、声をかけ世間話をするように心がけています。また、高齢者の方々とは、会話する場所をつくり過ごす時間を楽しんでいます。
他地域の団体、他の団体などとの連携や情報交換が役に立った。
困りごとを抱えた人への支援を効果的に推進したら良いと思う。
近所の方々に、まずは挨拶、声かけ、家族構成を知ってお話していければと思っています。周りの意見を聞きながら勉強していきたいと思います。
毎月1回、訪問したいと努力していた時、ほとんどインターホン対応だった人が出てきてくれたことはうれしかったことです。
普通救命講習会に参加して、自分自身に身についたと思います。これからも、どんどん参加したいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準語、敬語をできるだけ使わず、和歌山のことばで会話することを心がけた。</li> <li>・地元出身の母や祖父母の人脈を利用した。</li> </ul>
自治会、民生委員が協力して防災訓練を行って、住民の意識向上があったと思います。
70歳以上のひとり世帯にレトルトのおかずやご飯を届けたのは、お互いに顔も認識できて良かったです。
ふれあい食事サービスで、ひとり暮らしの高齢者に1食分を届けて大変喜んでもらった。気にかけてもらっていること、話をしたいと言う気持ちが伝わってきた。
各団体との情報共有および共に参加できること。
民生委員 PR カードを各家庭に配布したことで、電話での相談などがあった。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年補導委員会の総会で、地区の小中高校の先生や生徒の父兄から話を聞く。</li> <li>・民生委員・児童委員の定例会に市役所福祉課の方や民児協の方を招いてレクチャーを受ける。</li> <li>・10月に70歳以上の独居老人訪問、一斉調査</li> <li>・和歌山市主催の全体研修会</li> <li>・地域包括支援センターの方を招いて定例会での勉強会</li> </ul>
きしゅう君の防犯メールで情報をいただいたことは早くて効果的でした（高齢者の迷子について）。地域の中では限りがあるので、今後も活用を広げていけたら良いと思います。
青少年の非行防止（夜店、祭りの際）。小学校の先生やPTAの方々にもご協力いただき実施。相互の連携も深まり、子ども達の見守り効果も大です。
地域の人からの相談で悩んだ時、会長や民生委員間で話し合っ解決できたこと。
地域の方々とは外で会えばあいさつをして、高齢者には体調など聞いたりしています。声かけはとても大切です。顔見知りになると、話を聞いてもらえたりします。
70歳以上独居高齢者の状況調査をさせていただいて、実際にその住所に住まれているかいないかを知ることができ、またデイサービスに行かれているか、訪問介護を受けられているのか、子どもが近くにいるのかなどがわかり、また元気な人であれば色々話をしてもらえ、情報を得ることができて良かった。
まだ活動を始めて期間が経っていないので、これから効果的だったと実感できる取り組みを実践したいと思います。
子どもの下校の見守り。
高齢者訪問に初めて筆談のコピーをいただきました。自身の名前や今回の訪問の目的など、とても役立ちスムーズに訪問できました。
日常のあいさつを心がけている。
一人一人に心配りが大切だと思いました。

自由回答
コロナで活動が少なくなりましたが、以前のように地域でのお祭りやイベントに住民が参加する機会が増えると、お互いの顔や名前を知ることができて良いと思います。
高齢者を対象とした食事会
日頃から一人一人とのつながりを持ち、話を聞いていくことが大切だと思います。その上で困りごとや悩みも支援につなぐことができます。
「高齢者向け（ひとり暮らし）緊急通報システム」を紹介し、好評を得た。
毎日の高齢者への安否確認などを通じて、地域の状況などを把握できることが良いと思います。
独居の方への訪問は少し大変でしたが、相手の方も少し喜んでくれていたようなので、取り組みとしては良かったと思います。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動と平衡して活動している中で情報が聞けたりしたこと。</li> <li>・困ったことは、認知症を発症すると会話が進まず、相手との話し合いができないこと。成年後見人制度があっても生活細部にわたって相談などができないことや、社会に未熟な方が使われているなどの問題が多いこと。</li> </ul>
民生と自治会の連携により、住民に何かあった時に効果的に活動可能となる。
気になる方々と顔なじみになり、世間話をして相手との距離を近づけていきました。
防犯のため（自宅）につけていたカメラが警察に役に立ったことが数件ありました（問8の答えには合っていないかもですが）。
民生委員は自治会に所属し、運動会や避難訓練、老人会（有楽会）の春秋の「集い」にも共に活動することにおいて密接に関わったのが効果的だった。
他の団体にも所属していますが、行動の目的が違くと異なる視点で物事を把握できるので、とても参考になります。
私の地域は東・西があり、公民館を一緒に使用しています。独居高齢者宅の排水口から一週間以上水が流れていると電話があり、自治会長と連絡を取りすみやかに向かいました。亡くなっていましたが、自治会長もすぐに行動してくれ、警察に連絡して早い発見となりました。家族も喜んでお礼を伝えに来てくれました。
民生委員のなり手不足の昨今ですが、各自治会会長会において、地区の民児協の現状を聞いていただき、その後少しずつではあるが、なり手の情報が入ってきます。
小学校、中学校との情報交換
独居高齢者の見守り等では、ケアハウス等の情報、例えばヤクルト販売員の安否確認情報が非常に役に立った。
地域の自治会、会長等と年1回の懇談会
担当地域のひとり暮らしの方への訪問の際、対話する中で困っていることがわかる。支援が必要か本人が望んでいるのか確認しながらつなげている。
きれいな花の絵葉書や写真などを配りながら、ひとり暮らしの高齢者のところへあいさつに出向き、この人は大丈夫な人だと覚えてもらっています。
ひとり暮らしの人を訪問して、世間話をするのが喜ばれる。コロナ前に食事会等に参加されていた人が、外出をあまりされなくなった。
地区団体で各種が横の連携がもっと必要であり、そのトップである連合自治会がまとめることを望まれます。
日頃の地域の皆様との関わりが大事だと思います。
ブロックで協力して、子育て広場を月1回開催することで子育て中の方と話をすることができる。

自由回答
活動をするにあたり、会話を求められることが多い。それだけ孤独を感じているのだと思います。
1年にたった1回ですが、地区で75歳以上の独居高齢者にお弁当の配食をしています。地区の自治会と取り組んでいますが、留守宅も多くすべての方々には行き届きませんが、元気な高齢者が多いのだと理解できました。
独居高齢者の家庭訪問は対応が様々であったため、時間もかかり大変だったが、高齢者の生活の様子がよくわかった。
民生委員で独居高齢者を訪問し、直に顔合わせをして健康面や困っていること等を聞いている。その際に生活困窮や介護の必要性などを知ることができるので、訪問し直に話を聞くことが大変効果的となっている。
コロナ前までは地域内を5ヶ所にわけて集まっていたが、歌、コント、地域学習、民生のお仕事の説明などを行い、2022年からお弁当の配布を、地域の社協・自治会員たちの協力により実施している。他団体との意思の疎通が図れていると思う。
活動にはお金が必要になります。初期の立ち上げに助成金があれば活力になります。
シニアエクササイズの会が活動の中で一番の核になっている。コロナ前までは70～80名で、現在は50名ほどの参加で、現在13年目の期間となる。普段の問題がこの中で起こっている。(例)認知症・安否確認・ご近所トラブル・ゴミ出し問題等、解決できない問題もあるが、結構対処できている。
ふれあい食事会(お弁当配布)を自治会館で実施し、楽しくお話できた。
民生委員として、ひとり暮らし高齢者(身寄りの方もいない)の相談にのり、その支援者の方の不安感を軽減することができた。今後も寄り添う支援ができればと思う。
70歳以上の方で、1人世帯の方が多くなっています。健康な時は買い物にも行けませんが、足が不自由になれば、移動販売車等が回ってくれたらスーパーに遠い方々も利用できると思います。
実際に地域の人の声を聞き、困りごとに対し、実施できる方向への導きを人のつながりをもって実行する。
70才以上の一人ぐらしの家を訪問していくにあたり、色々悩み事の相談など、話され、色々な施設の説明などを理解してもらえた時の笑顔が今後も、話し合いを、大事にしていきたいと思います。
未就園児対象のちびっこ運動会は同じ月齢のお母さん達のつながりの場になっても良い。復活を願っています。子育て支援の強化を望みます
身近な連絡事の地域情報を(写真付)の情報誌を発行する
特におひとり住まいの方は、時々訪問して、体調をうかがい、調子が悪い場合は、包括センターに連絡して保健師さんに来ていただく等が良いかと思う。
訪問活動が大切
地区社協と協働して行なっている。食事サービス、配食、月/回の喫茶サロン
ひとり暮らしの高齢者の様子を見守りする上で、近所の人の情報交換や、日頃からの声かけの大切さを大事にすることの重要性を感じます。

問9 地域福祉を推進するにあたり、具体的なご意見やご提案などがありましたら、自由にお書きください。

自由回答
私のグループは和歌山シニアエクササイズの体操を主体としたグループです。コロナ発生後、ボランティア活動を中止してから活動はやっていません。グループの平均年齢は 86 歳です。現在は、私たちの健康と体力を維持するため活動している状態です。高齢者は、健康な生活を維持するために、前向きに体力をつけることが大切だと思います。今後ともよろしくご指導をお願いいたします。
地域福祉は、ほぼ高齢者中心になりがちです。若者との交流など考えていただければ良いと思います。
各地区ごとに活動を見ていくのも 1 つの方法ですが、例えば 1 つの地区に限らず、複数の地区で活動を行っている人もいます。また、県内や近畿などのエリアも様々なため、そういったエリアで活動している団体もあると思います。これらの団体の活動もひろっていったらよいのにと感じました。
地区の各種団体の連携ができています。六十谷の水問題の時に地区役員の行動がすばらしく、高齢者にはとてもありがたかった。小学校低学年にコマまわしやお手玉を教えたり、とてもよろこんでくれた。
・子育て支援拠点としては、子育て世代（若い）転勤族が多い問 2 の設問で、どこに所属しているのかわからないなど書く時にわからなかったと質問がありました。 ・子育て世代と高齢者とのつながりで、どういう取り組みがあるか教えていただければ幸いです。
当老人会も赤字のため、参加者 80 人の研修会を中止にした。目先の補助金不足と将来的な人口減による活動低下は覚悟しておかなければならない。以下は（条例がなければ）の話。全自治会に福祉募金の実施を促す条例制定。城北地区では歳末福祉募金（？）と称して募金活動し、翌年 9 月に 75 歳以上に梅干しを買って配っている。4 月に子ども日福祉募金を追加してもよい。募金の時と品物を配る時の 2 度つながりができる。
地域福祉課の皆さんとの連携でアドバイスをいただき、進めていただきたいと思います。
高齢化が進み、担い手不足と若い人達は仕事を持っているので、なかなか活動につながりにくいです。
個団体が他団体や地域とつながるのには限界があるように感じるので、市・関係機関が間に入ってつないでもらったり、提案してもらえると助かります。
私の地域はバスもなく不便です。試験的に走らせたバスも利用者が少ないと廃止になりました。利用したくても利用できなかった等、もう少し聞き取り調査をしてほしかったです。身近で孤独死があり、集いで連絡を取るようにしているのですが不安を口にします。役ができないと自治会を脱退する人もいます。
活動する上では予算が足りない時もあり、ボランティアでありながら年間 1200 円の会費を集めて活動しています。高齢化にもなり、新しい人を年に一度募集しますが、なかなか集まらないです。
高齢者の健康と仲間づくりを目的に、市のつれもて体操を続けています。何年かが経過しましたが、効果はあると思います。新しい人に来ていただくのがむずかしいです。
地域の高齢化、ひとり暮らし世帯、空き家の急増など地域の課題は増えていると感じる。担い手の養成が急務であり、学習や共同の取り組みへの参加を呼びかけていくことが求められているが、日常生活に追われている。
移動支援の助けあいシステムを構築していきたいと考えています。市としての考えを教えていただく場をつくってほしいです。
0～2 歳の室内環境が整った 3 世帯家族が過ごせる室内場所や施設をもう少し増やしてほしいです。
今後は世代間交流も深め、地区の子どもと昔あそびを通して、ふれあいの場を開設したいと思います。
社協とのつながり開催等あるが、年間でもう少し多くても良いと思う。
今後の災害に際して、もっと防災啓蒙活動が必要ではないかと思っています。
和歌山県社協のシニアリーダーカレッジに参加させてもらっていますが、和歌山市からも学習や補助関係等の情報がほしいです。

自由回答
<p>どんどんと人が変わっていく中で、昔のままでいいところは続け、しにくいところは変えていかねばと思います。</p>
<p>ハコモノ行政、不明確な補助金体質の行政、横のつながりがない縦割り行政を改善すべき。議席を減らし、職員とサービスを充実させる努力を。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターの15圏域と連動した取り組みをすればより良い効果が得られると思います。</li> <li>・地域ごとのワーキンググループをつくり、福祉計画を検討し具体策を策定したらどうかと思います。</li> </ul>
<p>ほとんど意識していないこともあり、参加していない情報が得られるなら参加協力できるし、したい。</p>
<p>文化施設や公共のホールなどで開催されている事業へ招待するなど、日常から少し離れた時間を提供するなど、サポートする人達へのことを推進してはと考えています。</p>
<p>私は「つどいの家有功」健康マージャンを毎週3回、月曜日、火曜日、土曜日に必ず行っています。欠員数が多くなってくると「ニュース和歌山」等で募集して、常時14～15人で開催していますが、市高齢者福祉課の窓口に、健康マージャン（つどいの家有功）を行っている则表示していただけたらと思います（新聞を見るまでここでマージャンを開催しているのを、全然知らなかったと言う人が多くいますので）。</p>
<p>南海地震やそれに伴う津波や、特に和歌山市は海拔が低いことから各地域に避難タワー（被災後の生活もできる設備もある）の建設の促進（基準を決定して早急に）。浸水対策の推進。特に水害時の避難協力ビルの協定促進と各地区の所在地と収容人数の一覧表の作成と家庭配布。※各地域、自治体毎の避難場所の周知徹底と避難時の備品の内容等も。</p>
<p>高齢になり身体の不自由、買い物や病院への交通の不便。ひとり暮らしが多くなる中、頼る人がいないという。良い方法があれば、1人で移動できる（セリオ）メーカーの名前など団体に講習を受けたり、買うための補助金をつけるなど。</p>
<p>交通手段があまりないので行動範囲がせまくなる。</p>
<p>医療機関を受診する時の交通手段がタクシーになるので費用がかかりすぎる。時に日赤、医大行き。</p>
<p>四箇郷地域は交通機関がないので、市内に住んでいますが、まるで姨捨山のような感じです。交通機関など整えてほしいと住民は思っています。前回バスが通りましたが一部でしかなかったのが、四箇郷全体を回ってほしいとのことでした。</p>
<p>隣近所の住民とのコミュニケーションが大事なので、まず挨拶から始めて親しくなっていけたら良いと思います。</p>
<p>関われる側のニーズに合っていない取り組みでは、効果が期待できない非効率な取り組みになってしまいます。どういう取り組みをするか決める場で、当事者からの意見を反映させたり、当事者自身がメンバーに加わることが、効果的な取り組みには不可欠だと思います。</p>
<p>モルックを通して市民の健康、地域住民の交流を行っていますが、和歌山市を通して積極的に学校、公民館、自治会、老人会など交流できるよう協力をお願いしたいと思います。</p>
<p>各地域の各種団体との連携</p>
<p>観光まちづくりで買い物難民などにならないために、商店街や市場などの活性化に取り組んでいますが、組合や団体業者などの利権や色々なもめごとに関わりたくないため行政は逃げるばかりで困っています。</p>
<p>代表者との交流の場があれば良い。</p>
<p>接点を持つ機会を考慮してほしい。</p>

## 自由回答

市立図書館とは情報交換をし、視覚障がい者へのより良いサービス（例 対面朗読など）について積極的に共に取り組んでいきたい。地域福祉の推進は一人一人の無関心さをなくす取り組みが大事。その根幹の部分は行政が音頭を取りすすめ、福祉に関心のある人を増やしてほしい。福祉人材の発掘・拡大のために。そうすれば色々な支援が充実するよう市民も団体事業者が取り組めるのでは。大がかりなフェスなどでも良いので、障害者との交流もコロナ後ならできるのでは。「福祉に関心の高い市民が多い和歌山市」になったらどんな人も暮らしやすくなると思います。

共同住宅の移住者との会話、コミュニティに欠ける。昔の井戸端会議がなくなった。コロナの関係かもしれない。

しゃかのこし公園の便所改修計画を提示していただきたい。この意見は NPO しゃかのこし理事としての意見です。現在、文化振興課にて取り組み中です。公園のすべてに水洗トイレ（便座）の推進をしていただきたい。

高齢者地域福祉課では、どんな地域になればいいと考えておられますか？人と人がつながり助け合える地域になってほしいですか？コミュニティはどんどんなくなっています。地域出前講座などで住民に福祉の話をしてほしい。

私は活動拠点と居住地が別の地域ですので、活動場所の地域のことはまったくわかりません。ただ、地域包括の方が時々、活動場所に訪問して下さり、情報をいただき有意義と感じております。参加者は情報入手できますが、こういう場に出てこられない高齢者に対する取り組みも期待したところです。

個の社会になっているので、もっと地域のつながりを啓発できるような啓蒙活動を自治会からも PR してほしいと思います。

地域福祉を推進するのであれば、もっと情報がほしいです。

集合住宅が多い地域では、個人情報保護のもとに管理会社から住人の情報を得ることが不可能です。民生委員をしていますが、担当地域の対象者と直接会う機会がない限り、突然の電話に驚くことがあります。危険を感じたことはありませんが、未知の人と一人で対応するのにストレスがあります。

高齢者や子育て世代の交流や、見守り、協力できる地域活動を増やしていけたら良いと思います。

活動を多くの人に知ってもらえるようにする。

行政と地域がもっと連携強化できる施策が必要。①予算の UP ②スタッフの強化（短期間での移動は弱体化する）他

これはやはり、各地区では連合自治会で取り組んではどうかと思います。

各種、情報の共有がほしい。

市・関係機関が積極的に取り組んでいただいたことに感謝申し上げます。引き続いて地域支えあいサービス等の支援策の充実を工夫して下さいますようお願い申し上げます。特に補助金・助成金の増額を。

共働きの家が多いため、行事などで人を集めるのに大変苦労をする。会合の始まる時間は十分に気にしている。

地域の独自性に任せるものと、市全体で統一性を求めるものを具体的に明示してほしい。

- ・自治会の意識、創造力の向上を望む。従来通りの活動のみの自治会や意識の低い自治会が多い。
- ・現代社会は自己主張・多様化と考えます。お互いを支え合う社会を目指すことの大変さを感じます。しかし少人数でも意欲のある方が立ち上がれば。行政や団体はそれらの支援が必要。

※どちらとも言えない質問が多い。自分なりに前提、条件をつけて答えました。

高齢者対策が必要である。

自由回答
支援を必要とする人をどうつないで良いのかむずかしい。理由として心身、経済的、生活環境等の安定があり、人生そのものである。「人生とは心ひとつの置きどころ」で、その人にとっての正解は見つけにくい。
活発に動くべきである。
支所が中心となって地域の団体が連携することが必要だと感じます。
空き家を活用した住民の憩いの場をつくることはできないか。
所属は公民館ですので、質問の内容は福祉に関するものが多かったので答えるのがむずかしかったです。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報にネックになっており、実態把握ができない。</li> <li>・もっとデータを自由に公開して効率的な活動をしたい。</li> <li>・このような手紙のアンケートは時代遅れそのもの。事務経費の無駄づかいそのもの。</li> </ul>
和歌山市内小学校の通信より。放課後の運動場開放について、学校アンケートに希望の意見をいただきました。本校ではありませんが、過去には痛ましい事故が起きたこともあり、実施は見送らせていただきたいと思います。※登下校時の見守り隊活動はどの学校も受けれていると思いますが、同様に運動場開放見守り隊が実現できないもののでしょうか。
ヤングケアラーの支援や補助。
高齢者福祉については、色々なことをやるべきと思いますが、以前の市議会議員選挙では、議員の立候補者の9割が高齢者福祉を言っているのですが、市の予算が少ないことで福祉活動をやろうと思っても予算がないとのことですが、これからはもう少し福祉に予算をまわしてほしいと思います。
地域の困りごとや地域にどんな特技を持った人がいるかなど、地域資源を把握して地域の仲間とつながり、色々な団体とも一緒になって取り組んでいけば多様な組織ともさらに強くつながり、地域の課題解決に向けた支援づくりに一歩ずつ前進していけると思います。
地域住民が参加する形でのワークショップを開催してほしい。
関係機関や住民等が、①顔が見える関係、②相互理解、③情報共有がいかにできるかがポイントになると思います。①、②、③のベースができれば、連携・協働が始まり地域福祉の推進につながるものと考えています。
上記のような地域交通の課題は今後も各地で発生し、移動難民者が増えると予想される。行政側には担当部局だけでなく（教育、福祉市民環境等）、市全体で「皆でバス乗ろう」運動を実施していただきたい。
独居の方や孤立している住人他に、どう接するかはその部署の方でないかと踏み込めない。震災訓練、実際に起こっても支え合うことはできる。これからの心配は買物に行く手段、交通手段他、もっと便利性を一番に考えるべきだと思う。
福祉に関する相談窓口の充実
婦人会とは別なのですが、地域で生協病院が始めた「フードバンク」に初回から関わっています。1回目は50人を対象に物品を準備していたのですが、昨年12月の7回目は300人以上の方が小雨の中来られるようになりました。準備していた物もほとんどなくなり、皆様が困っている様子が想像できます。一度見学に来ていただければと思います。社協の方には協力いただいておりますが、もっと市の方の支援をいただきたいと思うので、実際の様子を体験していただきたいです。次回は5月18日（土）午後2時から行いますのでよろしく願いいたします。
今年度から子ども食堂等に取り組もうと思っています。ご相談したいと思っています。
近隣の人で元気に生活している人でもヘルパーが来ていますが、もっと正確に調査してほしいと思います（ヘルパーの使いすぎだと思っています）。

自由回答
1.地域福祉に関わる市職員と市民の交流の場を設ける。 2.地域の課題解決を官民一体で取り組むシステムづくりを推進する。
三田地区では社会福祉協議会を中心に活動。公民館としては直接の活動はしていません。したがってこのアンケートは公民館長の判断のみで記入しました。
以前、民生委員をしていた経験から、その方にもよりますが、声かけやもうひと押しが足りず引きこもる方もいらっしゃいます。複数の方からの声かけや、あとひと押しで外へ出かけられるきっかけになるようです。可能な限りの声かけで「気にかけてもらえている」と感じてもらえたらつながるのではと思います。
まずは和歌山市の福祉に従事する担当者（地域包括支援センター等）が、各地域の各種団体との勉強会（懇談会）等を積極的に持ち意識向上を図ること。
アンケートの内容が多く、字が小さくて見づらく回答できない。高齢者のことを考えてほしい。
各単位自治会で住民が接触、参加できる行事を企画実行できる行事を実施できれば良い。
・独居老人の見守り ・災害時の助け合いをどうがんばれば良いか（隣近所の声かけ、小グループで行動）
地域の老人クラブの会長を務めさせていただいてますが、クラブ補助を受けるためには市中央の組織に入らなくてははいけなく、また負担金が市の補助金の2割も必要なため地域単位での活動はしにくい。
地域福祉の推進なんて大それたことはわかりませんが、老人クラブの活動についてもより積極的に進めるためには資金も必要とします。ついては市からの補助金を倍増していただき、交付申請、精算手続を簡素化していただきたいです。目が悪く、字が思うように書けない人が多いなか、一般と同様な手続きは考慮してほしいです。特にお願いします。
知識や経験をいかして地域の諸団体と共同し、豊かな生活を送れるよう取り組む。
女性長生き社会である今日、女性がもっともっと活躍できるよう行政がリードすべき。
市からの情報発信を増やす。
福祉という言葉は奥が深く、どこまでが福祉なのかつかみにくい。福祉の先端に行く県や市、社協の福祉に対する取り組み事例を一般市民の方々に紹介する。そして福祉の全体像を把握し、より具体的な活動に進めるべきと考えます。
行政と住民とをつなぐ地域のリーダー育成が重要と思います。
自宅から出てこない高齢者をいかに外に出すかではないか。
ひとり暮らしの高齢者の孤独を解決するためにも、小規模でも良いので各地域に集会所をつくってほしい。
とてもむずかしいです。私の個人的意見だけではなく、皆で考えたいです。
地域福祉にはどのような取り組みがあるのか。
・地域住民が自治会や老人クラブに入会することが大事なことと思います。 ・私は老人クラブの会長をしていますが、市から活動について補助金をいただいていることが大変良いです。これによって住民のつながりができています。
パソコン操作の経験がある地元公務員を退職された方々が、これからの地域リーダーとしてお願いしたい。私達の当老人クラブも私が最後となっている。解散目前である。
住民が地域活動に参加しやすい環境づくりが必要であると思います。特に男性は定年後に自宅に閉じこもる傾向があると思います。
高齢のため、体力の低下、筋肉量の減少を感じ外出するのがおっくうになる（気がすすまず、面倒）今日この頃です。病気になる前に予防に心がけ、体操等に参加して楽しく余生を送りたいと思います。
地域包括支援センターがあまり協力してくれない。

## 自由回答

ますます高齢者が増えていく社会で、交通や買い物等が不便な地区への配慮はされていると思うが、まだまだこれから困る地区は増えていくと思われるので、若い方の力と一緒に生活が豊かになっていければと思います。自然が多い和歌山ならではの魅力をいかした持続できる政策を期待しています。

この頃は「民生委員を知らない、何もしてくれない」というような声が多く聞かされました。どうなのでしょう？私が知らないだけかもしれません。

若い人達をもっと市民活動に参加できないものか？ボランティアの意識がまったくない。

お金が必要となる行事は家庭の都合で無言になる。デイケアでの昼食や見学を無料で勤めるが一度目だけで行かない。最近、お昼のカラオケも勤めたりしているが、恥ずかしいとの理由で行きたがらない。歌わなくても聞くだけで良いと参加を促している。中には身振り手振りが歌手のようで楽しいと参加してくれている人もいます。※夫が役員でもこれらがあることを妻に話さない人もいます。妻がいないと用事など自分が不自由になるからである。

地域福祉を推進するあたり、地域での住民どうしのつながりの強化と日常の困り事を地域で支えあう活動の充実を併せた取り組みが大切、重要であると思う。

老人クラブの会員数は減少しています。地域福祉活動はきびしい状況です。

どんな人を救うか、必要があるかはわからない。面倒なことが多くあり、自力でやれることをどう助けるかが先決のことと思う。あまり頼るばかりにならないような助け方をしてほしい。頭でっかちになった取り組みは必要ないし、やってほしくない。

当 NPO では大人の秘密基地をつくり、毎日数名（多い時は 10 人）集い井戸端会議をしています。困っている人・困っている事態、色々ないきた情報が入って NPO の活動の助けになっています。また 2～3 ヶ月毎に食事会を行い、地区の絆づくり交流を行っています。

地域福祉を推進するにあたり、幅広いジャンルがあります。高齢者が担い手となって、子ども達（児童から高等学校の学生まで）の育成・勉強を教えるのではなく、社会的マナーについてアドバイスができる居場所、サロン事業ができれば不登校等解消するのではと思います。

今まで地域福祉という視点での活動は意識が薄いものでした。今後は視点を広げて行きたいと思います。

文化活動をしている団体なので、地域福祉にはほとんど関わっていない。高齢者施設への出前講座の経験くらいです。

地域福祉の観点では活動できていません。地域包括支援センターとはつながりがありますので、できることは協働したく思います。

体制づくりは重要だと思うが、まず基本のキとして市民何人かが人権感覚をもつことが必要だと考えます。制度が充実しても、それを利用しやすい環境になっていないのが問題ではないでしょうか。

地域コミュニティの大切さを周知せねばならないが限りがある。現状の生活苦では一緒に活動してゆくには困難なことが多すぎる。市、関係機関が重点的に強いリーダーシップを発揮して、市長に団体事業社等に積極的な参加を呼びかける。「第 5 次和歌山市地域福祉計画」の策定作業よろしく、期待しております。

- ・各種団体に委員（メンバー）として参加しているが、役員ではないので、進んで活動できていない（1 人では進んでできない）。
- ・取り組むテーマを決めて、地区全体で誰もが参加できて活動できるようなことが必要かと思っている。

連携可能な団体や人との名簿があると動きやすい。

図書館でも活動していますが、他に子どもの集まる場所など、希望があれば計画します。老人ホームで行ったこともあります。大人の会でもできると思います。

自由回答
担い手の高齢化、減少が著しくなっているように感じます。福祉に限らず、普段のまちづくりについても行政任せにしない住民主体の取り組みが増えることを期待したいです。
高齢者が増えたため、バス等の乗り物もなく困っております。ひきこもりの高齢者が増えています。
・ボランティアポイント、健康づくりポイントの導入。活動参加者にポイントを付与する。 ・旧態依然とした任意団体への交付金制度の見直し改革。活動に値しない団体にも助成金を機械的に配布している。事業提案制度に変えるべき。上記いずれも団体、住民のボトムアップの変革に資する。限られた資源・資産の有効活用を要望します。
民生委員の高齢者への訪問援助をお願いしたい。
福祉の各担当者が集い、住民にどの担当者がどんな時に相談を受けて、どんな活動をしたのか、またしているのか具体的な行動等の内容を聞くような説明会的な会合があっても良い。どんな状況で、何を、どの担当者に相談するのがベストなのか、具体例がないと相談する内容も見えてこない。
老人クラブが地域の福祉に関わるのは大変むずかしいと思います。成功事例や具体的方策について県、市、老連等を通じて紹介してほしい。
福祉を受けたい人は多いが、協力して推進してくれる人は少ない。
行政主導にて各団体、事業所との会合、情報交換の場を設けてほしい（個人ではできない）。
連合自治会は婦人会、老人会、子ども会等の活動を把握して支援、指導する。
地区、社協、民生児童委員、連合自治会が一体となって取り組んでいきたい。
自治会役員と定期的に話し合い。
ひとり暮らしの方や子育て世代が集まることのできる場を多くつくりたいと思っています。
今の時代は「向こう2軒両隣」ということが死語になりつつあり、地域社会では密接な関係が希薄化しているのが現状で、悪質な訪問販売等の影響で個人宅を訪問するのも懐疑的に思われむずかしい状況となっている。市のほうで民生委員・児童委員の存在について啓発活動に注力してほしいと思う。
地域包括支援センターへの連絡（つなげること）と、すばやく対応してくださるのでうれしい。各専門機関へも気軽に相談できると助かります。
地域の各種団体の連携を強めてゆく。そのためのサポートを行政が積極的に進める。
民生委員の仕事を地域の人達にもっと伝えていく必要があると思います。民生委員の活動がどのように地域の人達に役立つかということをもっと発信していく必要があると思います。
地域において声かけや挨拶など人と人とのつながりを深めて、相談しやすい状況を整える。
生活支援者、高齢者のひとり暮らしの人数が多すぎるので何とかしてほしい。少ない担当者に比べ5倍ぐらいの人数差があると思う。
大きな地域より、小さな自治会単位等への支援のほうが住民の関心も深まり、主体的な行動につながりやすいのではと思います。
市、関係機関がもっと積極的に啓発活動に取り組んでほしい。
子ども見守り隊への参加
サロンを開催するにあたって、もう少し予算があれば良いと思う。
ひとり住まいの高齢者が増え、催物を計画しても足が弱く参加できない。在宅でできる催しを考えているが、良い案が浮かばない。活動はごく限られた人のみとなっている。家庭訪問を主に取り組んでいる。将来の活動に不安がある。
少子高齢化の進展にともない、高齢者のひとり住まいが増えていると思われるが、そのような人達の交流の場（食事会等）をもっと増やしていただければ良いと思う。

自由回答
向こう三軒両隣との連携が大切。個人情報保護の名のもと、他に干渉しなくなると実体把握はむずかしくなり、その中では自助共助はむずかしくなる。公助に委ねることが多くなる。地域包括支援センターの働きはすばらしい。大いに評価する。
高齢者に対して買い物や病院までの送迎を日時を決め乗合ボランティアとして行う。また病院との予約やシステムの連動も行い、地域一般住民が自家用車で日時を交代しながら送迎するのはどうだろうか。小学生は親の送迎が多いのが疑問である。
協働事業の担い手不足が叫ばれている中で「プログラム E」「プログラム F」にもっと力を注ぐべきではないか。
フットワークの軽さ。「またか」ではなく、すぐに行動、確認していただける地域福祉をお願いします。
福祉内容を知らない人、調べ方を知らない人に対して窓口や連絡先の普及促進（ガス水道広告の磁石マグネットは？）道理のない方やわがままな方を取捨選択ができるマニュアルまたは法的改正（ルール、罰則なくして良き地域社会や人間育成の源なし）
地域福祉の研修などの際、実例をもとにした研修内容にしてほしい。
地域福祉推進の主体である地域住民が、地域社会で求められている支援に気づき、住民相互で支援活動を行う意義に気づいていかなければならない。地域の特性にあわせて、どのような地域福祉を推進していくかが問われている。住民誰もが個性と人格を尊重されながら、各意思に基づいて社会活動に参加することを可能にする背景を整えていく必要がある。
自治会（町内会）活動の充実。地域住民にきめ細かい地域福祉を実現するためには、行政・その他から自治会に積極的にアプローチし、支援（情報・連絡、教育・指導、金銭補助）して自治会を活用し、この活動の拡充を企てるべき。地域福祉推進の取り組みの現状は、やや総花的でいずれも中途半端である。
防災について、もう少し地区別での明確でわかりやすく（高齢者や子どもにも）、意識づける発信をしていけたらと思う。
各地区の自治会活動に福祉活動の要素をもう少し組み入れることはいかかでしょうか。
自治会単位でできれば良いと思います。自治会のカラーを出して、住民同士が顔を知り前に進む、費用の面も大変です。無料でできる行事は、市のほうで開示していただき、利用できればと思います。住民が顔を知ることによって大きく発展していくと思います。日常の思いやりから災害時の思いやりへとつながればと思います。
避難行動要援護者名簿をいただくのですが、自治会長にも見せられない秘密扱いとなることで、自分だけ知って良いものか疑問に思います。情報共有していただきたいです。
民生委員の後継者選びが大変です。
所属自治会の充実
和歌山市内の病院でも、毎日赤ちゃんが生まれています。それなのに若い人が増えずに、高齢化が進むのは、実家が和歌山にあっても他府県に出て行ってそこに住みついてしまうからだと思います。高齢者への福祉も大切ですが、自分の子どもが他府県に出て帰って来ない、さみしい高齢者を増やさないために、企業誘致をして「働ける和歌山」をつくらないといけないと思います。
持続することが大切。始めることの覚悟かつ必要かと。この「覚悟」を和らげてくれるのは、国ではないでしょうか。乳児、幼児、児童、子どもが朗らかな人になってもらえるように。受け皿がないといけない。
どのような福祉サービスがあるのか、もっと積極的に伝えるべき。
高齢化が進行している世の中で、高齢者が何を望んでいるのか。自分が高齢者の身になって、より良い暮らしができるような福祉を考えてほしい。

## 自由回答

和歌山市が取り組んでいる地域福祉は今の現状、仕方のないことかもしれませんが、高齢者への割合が大きすぎると思います。私は、保健所のこんにちは赤ちゃん訪問員として生後2～4ヶ月の赤ちゃん宅を訪問し、産後の母親や赤ちゃんのフォローを15年ほど行ってきました。最近は出産できる個人の産婦人科は減ってきて、出産できる病院への負担が大きいうで、出産前後の母子への病院でのフォローも手薄になってきています。実際、母乳の授乳の仕方がわからない初産の母親や赤ちゃんの沐浴指導もしてもらえなかったり、日々、母親から不安や心配をたくさん聞きます。市長や知事は移住を促進していますが、移住者が和歌山に根づき、家庭を持ち子どもを育てていくには、もっともっと子どもや母親にやさしい和歌山市でないといけないと思います。実際、他の市町村のほうが子育て支援が充実しているから転居するという母親もいます。もっと危機感をもって子育て支援に重点を置くべきだと思います。私1人にできることは小さいことですが、ファミリーサポートセンターのスタッフ会員もしています。ヘルプしてくる母親は、精神的にも体力的にも限界に近い方が多いです。本当に少子化を何とかしようと真剣に考え取り組まないで、子どものいない和歌山市になってしまいます。実際にコロナ前より出生数は半減しています。

地域の安全安心の福祉に大きく関わっています。何卒、空き家の撤去のほどよろしくお願いします（グループマップのストリートビューでも確認できます）。

私の地区では、毎月3世代交流を目的とした「共育おもしろ運動会」という行事を開催しています。3つの小学校の児童と保護者の方々、長寿会の方々の参加で盛り上がっています。このような行事をすることで学校とのつながりも強くなり、知りあいも増え、スタッフの団結力も強くなり良いと思います。

地域自治会、各種団体が行政と福祉に関することで情報を共有したものを、各家庭に発信するにはどうすれば良いのかを考えても、やはり最終は各家庭、各個人になると思うので、身近な自治会で仕組みをつくり、各種団体がサポートして行くという何かが必要な気がします（災害、防災のことなどもあるため）。

専門機関を交え、意見交換をする場を設ける。

個人情報取り扱いや、市民からの意見の多い中、いつも地域福祉に尽力していただきありがとうございます。

高齢化のため、親切にしてあげたくても個人情報があり困っています。前に進みません。

買い物などが不便であるために、介護が必要になってくる環境を整えることで自立して生活していける。令和元年より生活環境が悪化している。そこの改善を求める。

地域福祉を推進することはとても重要で、関係機関との連携を起こすことは不可欠ですが、民生委員活動をしている方は、仕事を持っていたり家事、他のボランティアの所用に大変忙しくされていることが多いです。積極的な取り組みまで行かなくて、担当区域の見守り、対応で手がいっぱいの人が多いです。

（ネットワークの悪さが課題）

情報共有のやり方が昔ながらで、なかなかわかりづらいです。地域とのつながりがあるかと聞かれると、まったくと言ってないですし、またわざわざ訪ねに行くのも双方において負担にもなります。時代が進み、スマホの時代。工夫をしてみても良いと思います。LINEではなく、グループで共有できるようにしたり、専門ラジオ（インターネットラジオ）を開放して匿名で話ができるようにするなど、色々各地域で発信して知り合っていく方法を築いたら良いと思います。

高齢化が進み外に出ている人も少なく、町の様子がわかりにくい。お互いに干渉することなく、訪問しても迷惑がられることもあるので悩むことがある。たまに、話し相手に喜んでもらえるのが、うれしい。

連携、連帯。話し合いやすい場の提供。顔見知り、顔なじみになれる機会を増やすこと。

そもそも、このような計画があったことを認識していない方が多いのではないのでしょうか？中身がむずかしくて日常的に意識しておくにはレベルが高すぎて、抽象的すぎると思います。このアンケートの質問に答えるのも真面目に考えたら難儀しました。

## 自由回答

<p>レモンの丘で公園の清掃等を行っているが、参加者が偏りがちで関心を持つ人が関われるような方法を公的に掲示・発信する必要性を感じる。</p>
<p>コロナ禍の期間、地域の団体が関わることなく「市」が直接対応された。「市」職員も退職後の再雇用など増加している。地域福祉に「市」が直接対応できる可能性は多分にある。地域は高齢者同士で対応は困難。地域の団体へ支給される経費も必要なしとなる。</p>
<p>和歌山市が中心となって、コンパクトシティの実現を目指す。行政サービスの限界点を市民に示して、理解を得ていく方向性が良い。歴史的史跡や文化はつくれないものから残し、保存は当然。</p>
<p>地域巡回バスの充実。シニアカーのレンタルを充実させて高齢者の足を確保し、生きがいづくりを確立させる。</p>
<p>民生委員について。皆忙しい中、貴重な時間を割いて訪問など地域の方のために活動しています。なり手不足はこれから益々ひどくなると思われまます。自分も今の状態で誰かに民生委員をやりませんかとは言えません。3年に1度とは言え和歌山城ホールでの会。永年退職者の名前の読み上げ、表彰はあって当然かと思いますが、一人一人の名前の読み上げは本当に時間の無駄だと思います。そうすればもっと短時間で終了できて経費削減できます。研修も本当に活動に役立つものをしていただきたいです。なり手不足改善法を考えていかないといけないと思います。</p>
<p>民生の和歌山城ホール等を使った講演会は、DVD等にして各地域で民教の会議時に学習会等を行えば費用も削減できるし、民生委員の負担も減るのではないのでしょうか。また会長会など他県への県外研修等（新人研修）を3年に1回などにすれば費用も負担も減少すると思います。余ったお金はもっと有効に使うようにしてほしいと思います。</p>
<p>地域には多くの団体がありますので、連携が重要であると思いますが現段階では、協働できていないのが事実であると感じています。福祉のことであったり、子どものことであったり一団体では難しい活動がたくさんありますので、ぜひ協力し合える環境が望ましいと思います。団体の長の会議は時々あるようですが、他会員の意見も届きにくく、また決定事項や内容についても他会員には届いていないように感じます。コロナも消息してきている中で、できるだけ活動、ふれあい食事会や子ども食堂等、新しい形ででも実施できることを摸索できれば良いと思います。地域のことは地域だけに丸投げするのではなく、予算も含め市役所内の各部署との協力を望みます。</p>
<p>色々な関係団体、住民からの積極的な意見をいただくことが、より良い社会への第一歩だと思う。</p>
<p>高齢者宅に訪問すると、足腰への不安を持っておられる方が多く、地域バスはありがたく思われているようです。ただ、そのバス停に行くまでが大変な方も多く、もう少しきめ細かく回っていただけると良いと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携がうまく機能しないので、これから起こりうる大きな災害時をとっても心配している。自治会、婦人会、老人会、子ども会その他以外、市が先頭に立った組織（自主的なボランティア会員等）、災害時に動ける組織が必要だと思う。</li> <li>・民生委員に関しては、もっと子どもに目を向けた活動が必要だと思う。地域で子どもを見守るよう活動したい。</li> <li>・年に2回も大きな会場を貸し切りで大会をする必要があるのか疑問。その金額を地域の子ども食堂等の開催にあてたらどうかと思う。</li> </ul>
<p>福祉活動を進めるにあたり、住民の方々の協力が必要なことも大事であるが、各福祉団体と協力して実のある活動を進めていきたい（特に今まではあまり話し合いのできていない団体の方々と活動の進め方などを話し合いたい）。</p>
<p>自治会等との連携を密にするため、相互の情報を開示し合い、定期的な会合を持つ機会を増やす。</p>

自由回答
高齢者社会がよりいっそう進むと考えられるので、高齢者の経験や知識がいかせる場がもっとあれば良いと思う。
色々な情報があり、色々良いことをして下さっているが、それを使い切れていない。優先順序をしっかりとって、皆が安心して暮らせるようにしてほしい。今はとりあえず、水害・台風・地震の個別避難計画の作成を行う。理想の形ではなく、皆が共通の答えとなるようなものを考える。5月21日に行われた阪本真由美氏の講演をぜひ参考にしてほしい。
福祉事業として町の住民がすぐ相談できる場、つどいのカフェを設置する。
子どもや高齢者との交流で、両方にとても良い機会だと感じています。
地域福祉を推進するにあたり、個人的に地域の方と集える場所づくりをしています。ボランティアで色々工夫をしていますが、運営する上で大変なことも多いです（資金面等）。何かアドバイスはありますか？
空き家、空き地が増え、地域住民の高齢化が進む中、なかなかむずかしいと思います。
異性に対しての活動のむずかしさ。民生委員としてどこまで手を差し伸べるか、判断のむずかしさ。
全体的に市がもっと地域のつながりをしたら良いと思う。
コロナ禍で行事や外出の制限で、なかなか人とのつながりがむずかしい時期での民生委員となり、コロナ以前の活動に戻っていただき、その経験を積んでいければと思っています。
市役所福祉局との会話、交流、相互報告の機会を増やすべきと考える。
アンケートに答えるに当たり、日常の地域福祉活動の取り組みなどがあまりなされていないことに気づきました。高齢化が進む地域なので、これからのことを考えると福祉について真剣に取り組むべきと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難行動要支援者の把握。完全に把握できているのは、民生委員ではないかと思う。輪番制の自治会役員では把握が困難。</li> <li>・総合相談窓口の開設（万事屋的な窓口）。病院の総合窓口のように、そこで聞けば病院内のことを教えてもらえるような窓口。相談する側としては便利である。</li> </ul>
市の担当から情報提供、啓発等の広報活動について各種団体との一層の連携を望みます。
福祉行政がどこで何をしているのかを、より一般の人に知ってもらえるようなわかりやすいPRを行う。
福祉に携わってくれたり、協力してくれる職員をもっと増やさないといけないと思います。
若い方に積極的に参加してもらおうのが大切になってくると思うが、どのようにして、つながりを持っていけるのか、何か事例を紹介してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近では近隣社会の希薄化や少子高齢化の時代である上に、今後ますます加速していくことから、幼児期や小中学生の頃から「助け合い精神」が自然と身についていくようにすることも大切では？</li> <li>・また、芸能人のような有名人に「地域の中での助け合いの実例」の講演をしてもらおうと、広く一般の人にも参加して興味を持ってもらえるのでは？</li> </ul>
災害時に支援が必要な人を支える取り組みを進めるべきだと思います。もっと自治会を中心に、やはり近所（班）できめ細かく話し合いをしていくべきだと思います。急な時に民生だと離れているため遅れてしまいます。市が中心となり自治会を動かして、電源を切る（火事を出さない）など守るべきことを一人一人に知らせ、訓練することも大事です。紀南では、津波の訓練もきちんとしていると聞いています。紀北もきめ細かい訓練をもっとするべきです。
市民一人一人がもっと地域に関心を持つことも大事だと思う。

自由回答
<p>地域福祉の推進を考えた時、民生委員・児童委員の活動なくして成り立たないと考えている。しかしながら、なり手不足が現実のものとなり、また、なり手が見つかったとしても、高齢化が進み、1期、2期で退任せざるを得ない状況も出てきているのが現実である。任期の延長も取りざたされているが、ただ1期先延ばしするようなものでは、抜本的な解決策とはなり得ない。行政的な支援策も必要であり、国段階においても法的な改正も必要ではないかと思う。</p>
<p>日頃から地域の方々と交流し、つながりをつくる心がけが大切だと感じます。</p>
<p>訪問について訪問対象者の背景といいますか、家族関係（エコマップ）をつけていただければ話に入りやすいのでは。初回は職員同伴で、引き継ぎを実施すれば信頼関係もつきやすいと感じながら初訪問を実施しました（関係機関との連携もつきやすいのでは）。研修は専門職、心理士などの人との関わり方を学べるような題目を希望します。</p>
<p>個人のプライバシーにてむずかしいことが多い。</p>
<p>些細なことでも、その方の気持ちを考え実行することです。</p>
<p>過去25年程以前には、独居高齢者を近所の数人で見守る活動があった。しかし、それも断ち切れになってしまった。常々「あの制度が続いていれば良かった」と思っている。地域活動の根幹は”向こう三軒両隣”である。</p>
<p>最近、町内会を脱会する人が増え、近所に住んでいても疎遠になり孤独になっています。これからは、免許証を返納する人も多くなります。日々の生活や買い物など、人の助けが必要になってくると思うので、隣近所ともっと交流できるように個々が前向きな気持ちになることが必要だと思います。</p>
<p>①行政機関（担当者）の役割増強を望む。地域の各種団体（自治会、老人会など）の背後に留まっている感がある。 ②地域の高齢化が進行し、安全確保、見守り強化が必要。 ③福祉に関する地域行政機関の活動PR、制度の活用PRを一層強化したい。</p>
<p>民生委員になってコロナが流行し、ほぼ活動していなのでアンケートに協力できるようなことができていません。個人情報にうるさい時代だったり、決めごとが多いので、昔の日本のような関わりはむずかしいと思います。隣人との関わりがなくても困らない人が多い気がします。</p>
<p>地域の交通手段が不便なので、高齢者や子育ての人は大変だと思います。バスなどの交通を望みます。</p>
<p>間近にせまっている災害については、住民の意識は元より準備できる物資は予算もあるが、スピードをもって用意しておくべきとは思う。</p>
<p>それぞれの役割をもって皆さんは活動されていると思いますが、個人的にこれ以上活動内容を増やしてほしくありません。地域福祉も大変大事なことです。民生委員の仕組み、人選などをもう少し考えてほしいです。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見人制度をもっと検討してほしい。</li> <li>・今回のアンケートも漠然としていて答えにくかった。</li> <li>・真剣になればなるほどルールがあって、結局前に進めないことが多くあった。</li> </ul>
<p>近隣の交流を深めることにより、福祉の推進につながると思います。</p>
<p>初めての民生委員・児童委員の活動なので、わかりにくいことばかりですので、もっと研修会等を増やしてほしいです。</p>
<p>民生委員と自治会が密接に関わり、行事を通じて人との交流を活発にすることが大切。住民がお互いに知り合うことから助け合いが始まると思う。</p>

自由回答
今回のアンケートでも問われていましたが、団体もしくは施設の目的をよく理解していないことが多いので、業際的な活動や人材交流は積極的に行うことができれば、効果的な活動や連絡協業が可能だと思います。
小学校教育に地域福祉等を加える。
戸別訪問を行っている事業者と情報共有できれば、非常に効果的に活動できると思われま。
力の強い団体が必要ではないでしょうか。
市の福祉部等のそれぞれの課が、どのようなことをしていただけるのかの理解をして、連携できるような交流が必要かと思ひます。
高齢者の夫婦に対しては見落とされていることもある。自発的に相談できる窓口をわかりやすく掲示してほしい。困った時にどこへ相談したら良いか、各家庭に保存版のパンフレット等を配布してアピールしてほしい。
市役所や福祉関係で相談があれば、個々に窓口へ連絡するのではなく、一括した窓口を一ヶ所に設けてほしい。
地域の色々なところに、例えば道の少し広くなった歩道などにきちんと座れるところがいくつかあって(日差しを遮る屋根が少しあればベスト)、高齢者が集える場があれば良いと思ひます。皆さんはあまり遠くには行けないので。地域の公民館で催しなども良いのですが、そこにすらなかなか歩いて行けない人もいます。ほんの近くなら、知りあいと話せて良いみたいです。
地域福祉の事業内容がはっきりわからない。住民とあまり関係ないように思ひ。
地域包括支援センターの人員を増やすこと。生活保護課(ケアマネージャー)の人員を増やすこと。職員の皆さんが、精神を病むことがないように負担が集中しないことを望みます。福祉はマンパワーしかないです。児童相談所も大変。民生に傾いた意見ですいません。
和歌山市が委託している市社協の活動が全地区に周知して、積極的な活動を広めてほしい。
私の活動地域には、とても大きなお屋敷が数軒ありますが、とても古いアパートも何軒かあります。日本中どこにいてもそうだと思いますが、貧富の差を実感します。若い頃からがんばったのか?親から裕福だったのか?生活保護の若い人々も複数います。親は?と思ったり、仕事をすれば良いのにも思ったりします。いつの時代も皆平等とはいかない。不公平ですが、それぞれに生きていて幸福と実感できるように近くで力になればと思ひます。
官民一体となつてほしいが、むずかしい。守秘義務ばかりで情報がおりてこないのが困る。
各団体との連携を図り、地域を盛り上げる努力が必要である。防災訓練にも力を入れてほしい。
地域福祉の推進。防犯・防災、地域の安全・安心等は、これらを進めるには●が必要だと思ひ。まず「つながり」づくりをどうするかを考えるほうが良いと思ひ。
今後も自治会館を利用し、みんなが気軽に集える場を設けていきたい。それに対し、福祉の方も積極的に支援してほしい。先日、社協の方から上記の催しを開くにあたり、お知らせしたところ注意を受け、間違っているのかと戸惑った。
仕事をしているので思うように回れず心苦しいのですが、少しでも地域の方達に近づけるようにがんばります。
年齢を重ねると、周りのコミュニケーションが段々と取りづらくなってきます。デイケアなど利用できる方は良いのですが、躊躇されている方(まだまだ身体は元気だからと思ひている方)は老人大学や地域の老人クラブに参加できるように勧誘のお知らせを数多くしてあげることが良いと思ひます。
居場所づくりを充実し、お話が聞けるようコミュニケーションをとる。または、訪問してお話を聞き、困りごとを聞き取る。近所に困りごとはないかアンテナをはり、教えてもらひ。

### 自由回答

小さい単位として、近隣の一人高齢者の様子を気にかけて、高齢者の困り事に寄りそうようにする。

高齢が進むにあたり、みんなが参加出来る楽しいイベントをしてほしい！

未就園児対象のちびっこ運動会は同じ月齢のお母さん達のつながりの場になっても良い。復活を願っています。子育て支援の強化を望みます

もっと市の情報内容をもっと判りやすく市報以外で判りやすくする

物価上昇の世の中であって、今回介護報酬が引き下げられたのは、社会の流れに反しているのではないのでしょうか。

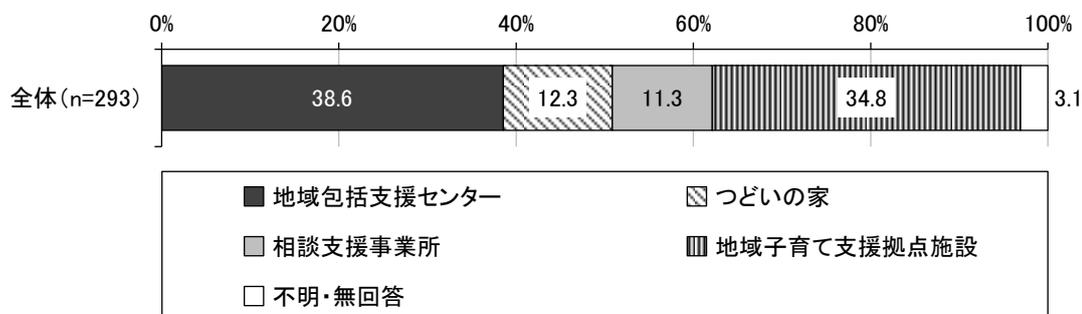
悩みや困り事を抱えた人が、それを解決するための方法、相談できる関係機関、等々。もっと身近に簡単にできるように、公的に周知徹底して欲しい。

公民館、コミセン、自治会館等、身近なところでいろんな情報を発信したり、皆が寄り合って、コミュニケーションを取れる場を設ける事が孤立を防ぐ対策にもなるのではないかと思います。

### Ⅲ 利用者アンケート調査結果

問1 利用された場所はどちらですか。(〇は1つ)

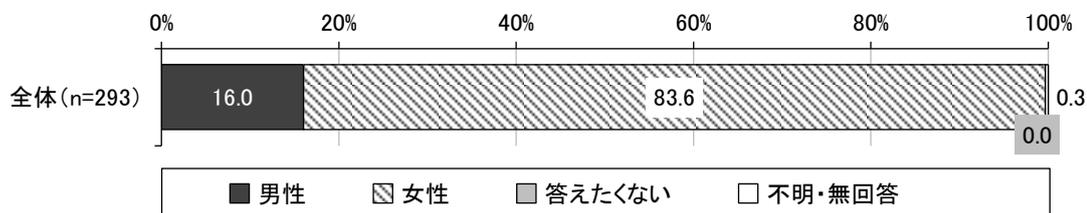
「地域包括支援センター」が38.6%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点施設」が34.8%、「つどいの家」が12.3%となっています。



#### 1 あなた（利用者）自身について

問2 性別はどちらですか。(〇は1つ)

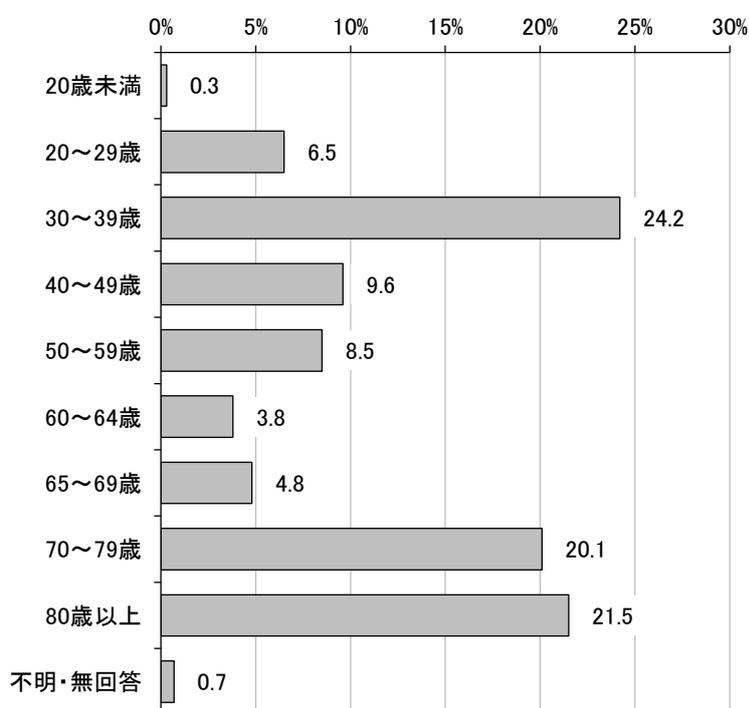
「女性」が83.6%と最も高く、次いで「男性」が16.0%となっています。



問3 年齢について教えてください。(〇は1つ)

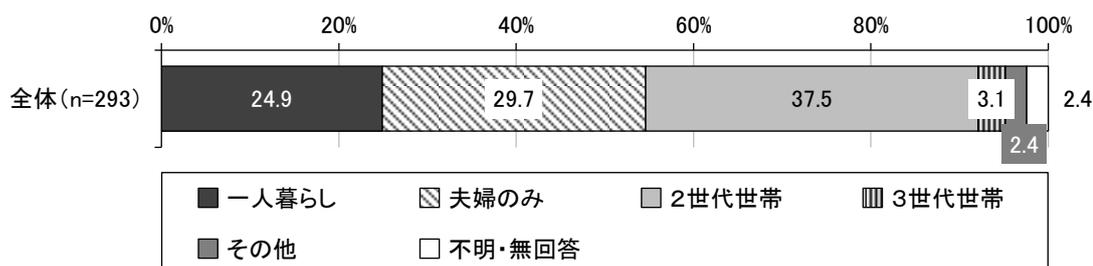
「30～39歳」が24.2%と最も高く、次いで「80歳以上」が21.5%、「70～79歳」が20.1%となっています。

全体(n=293)



問4 家族構成について教えてください。(〇は1つ)

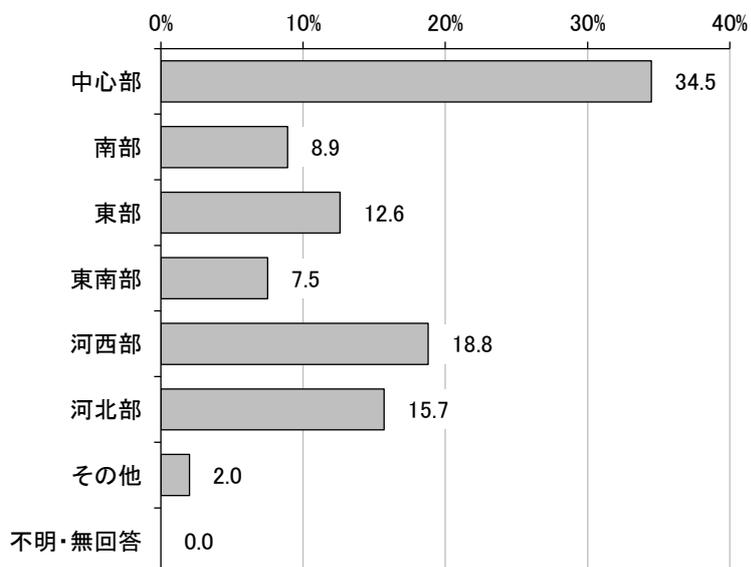
「2世代世帯」が37.5%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が29.7%、「一人暮らし」が24.9%となっています。



問5 どのエリアにお住まいですか。(〇は1つ)

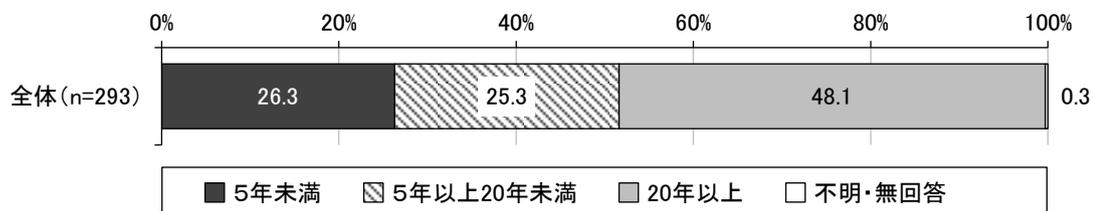
「中心部」が34.5%と最も高く、次いで「河西部」が18.8%、「河北部」が15.7%となっています。

全体(n=293)



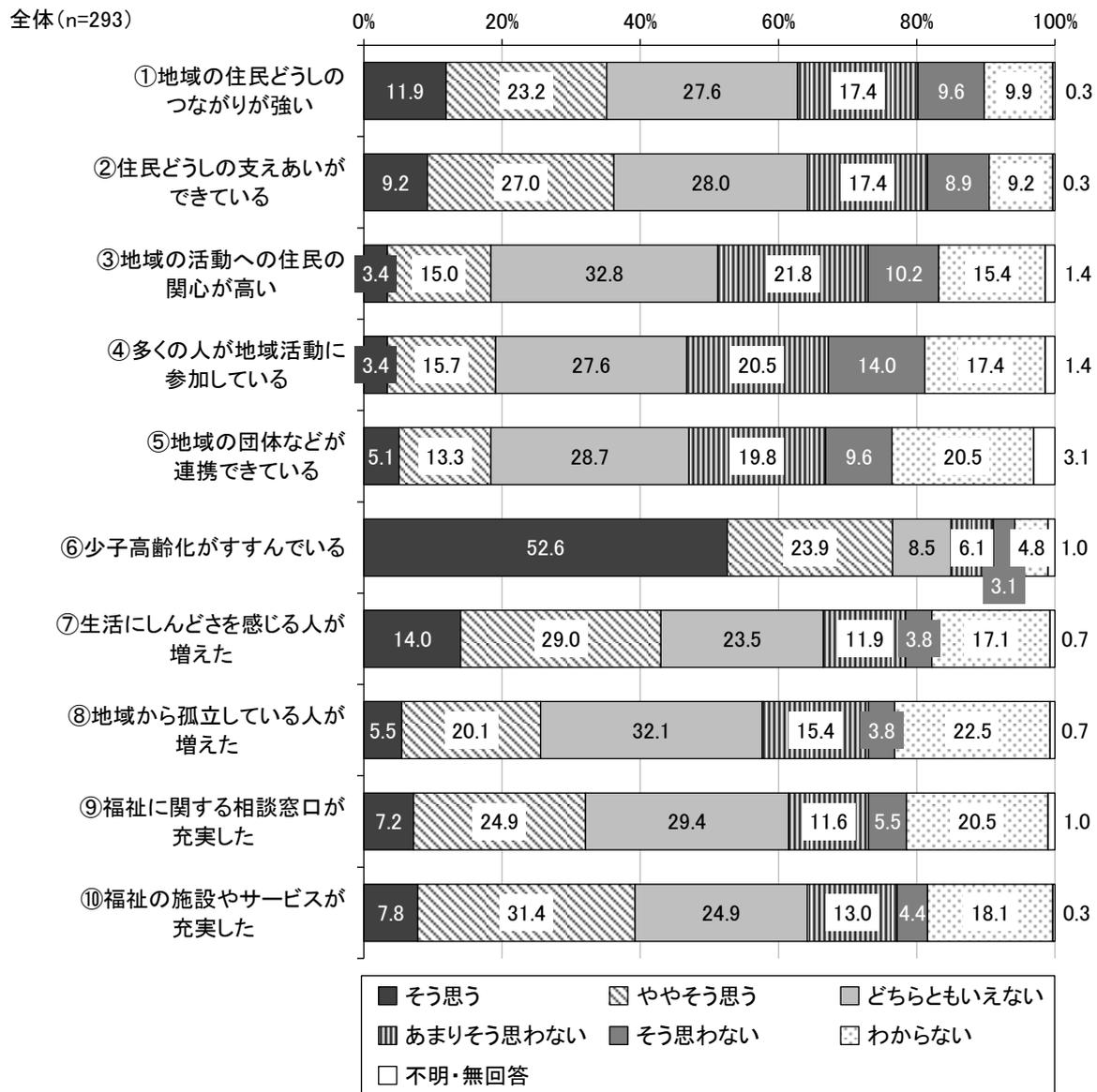
問6 お住まいのエリアに通算で何年お住まいですか。(〇は1つ)

「20年以上」が48.1%と最も高く、次いで「5年未満」が26.3%、「5年以上20年未満」が25.3%となっています。



問7 お住まいのエリアの状況を、どのように感じていますか。(それぞれ〇は1つ)

〔⑥少子高齢化がすすんでいる〕では、『そう思う』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)が7割台と他の項目と比べて高くなっています。

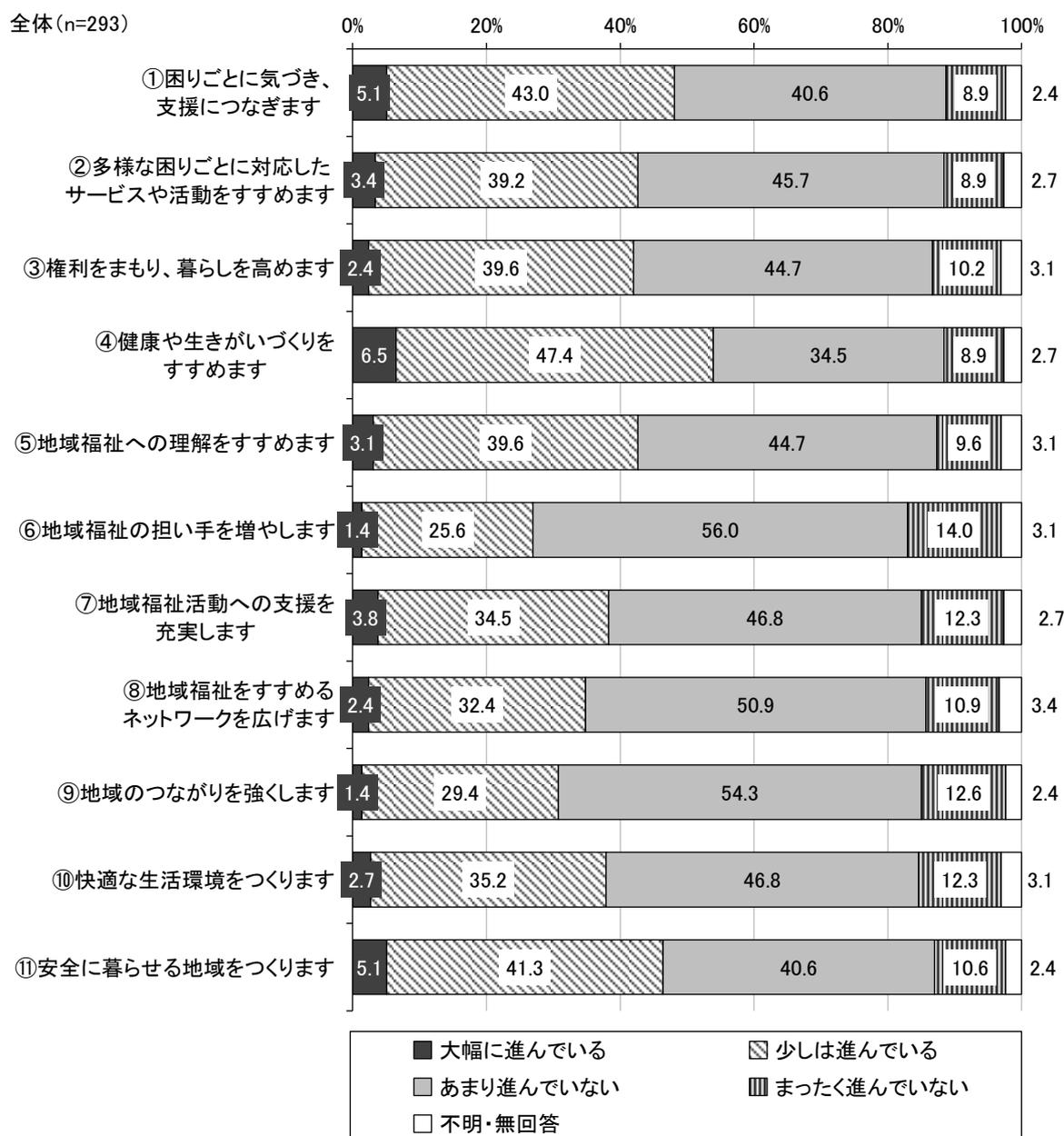


## 2 「和歌山市地域福祉計画」について

問8 「第4次和歌山市地域福祉計画」では、地域福祉を推進していくために11の柱をたて、それらを市民、団体、事業者、市・関係者等が役割を分担しながら協働して進めていくことが書かれています。これらの11の取り組みの進み具合について、あなたはどのように思いますか。

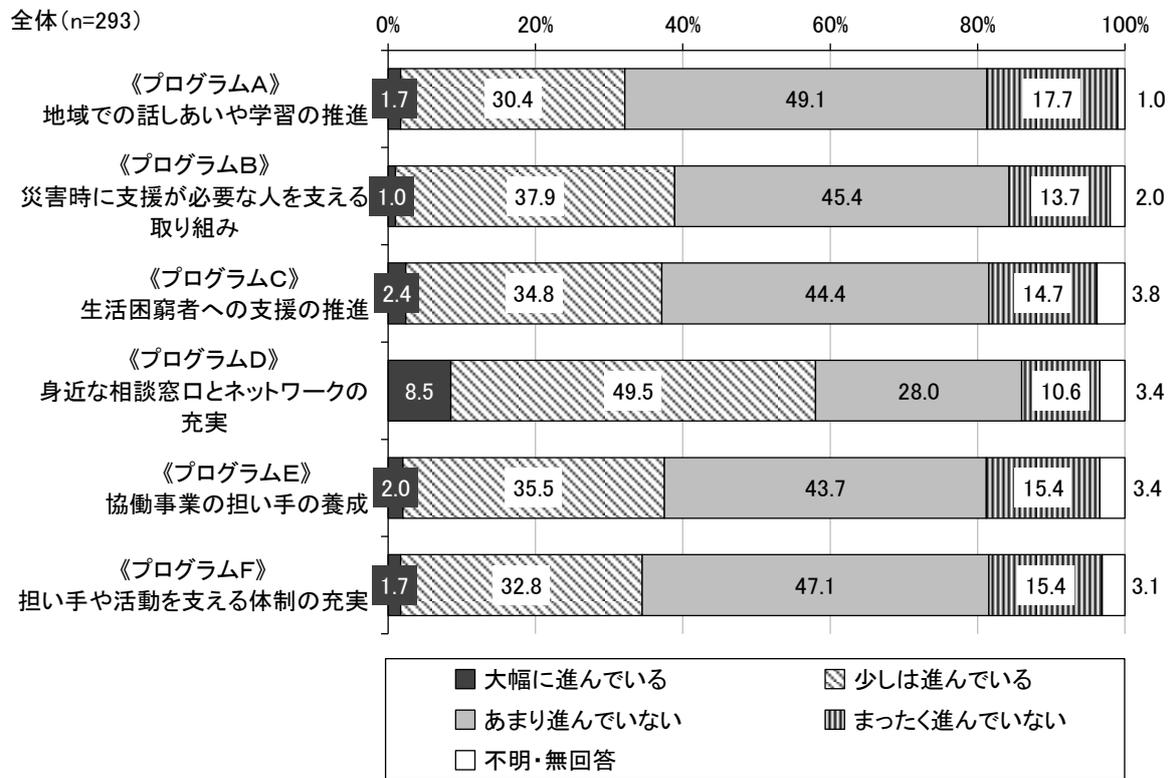
11（それぞれ〇は1つ）

〔①困りごとに気づき、支援につながります〕〔④健康や生きがいづくりをすすめます〕〔⑩安全に暮らせる地域をつくります〕では「少しは進んでいる」、それ以外の項目では「あまり進んでいない」が最も高くなっています。



問9 現計画では、地域福祉の推進について、特に次のA～Fのプログラムを先導的に取り組む事項として設定し、市民、団体、事業者等にも協働を呼びかけています。先導的に取り組む事項の進み具合について、あなたはどのように思っていますか。（それぞれ〇は1つ）

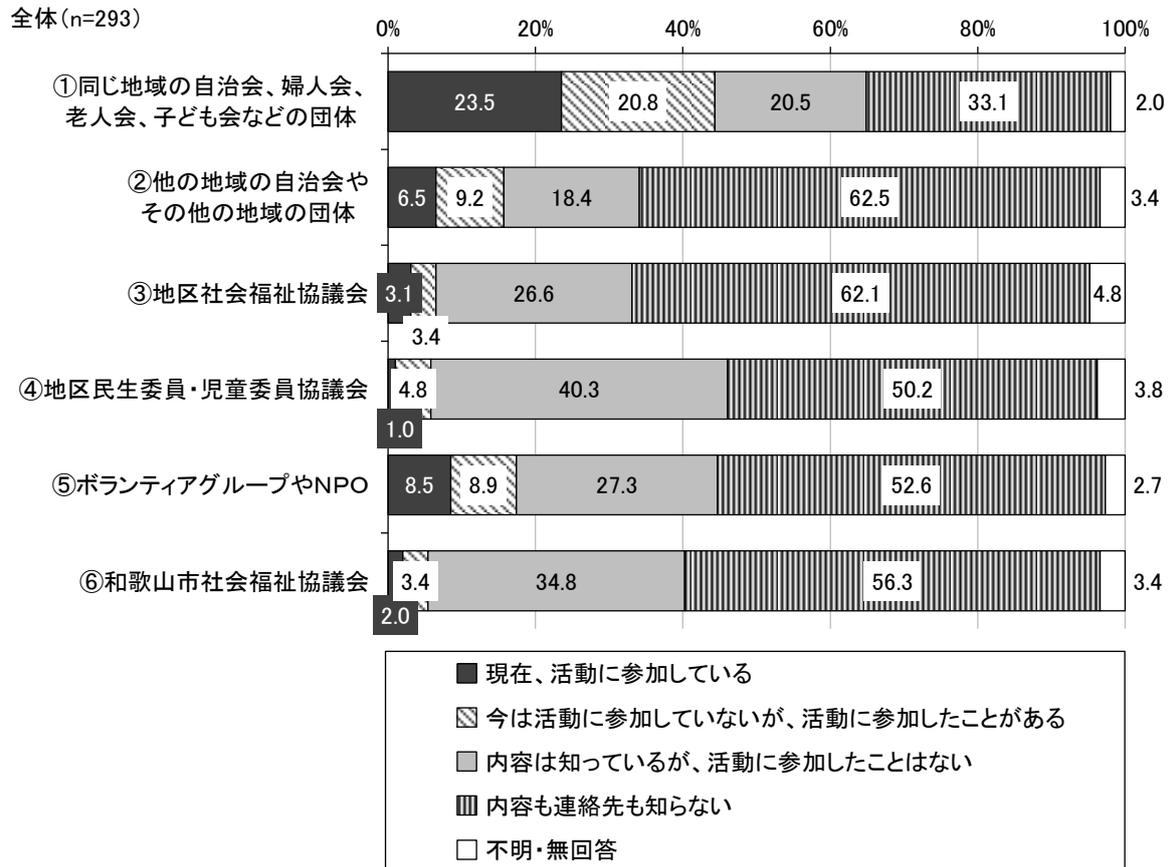
〔《プログラムD》身近な相談窓口とネットワークの充実〕を除く、すべての項目で「あまり進んでいない」が最も高くなっています。



問 10 現計画では、市全体の地域福祉を推進していくための取り組みを市民、団体、事業者、市・関係者が役割分担しながら協働して展開していくことになっています。

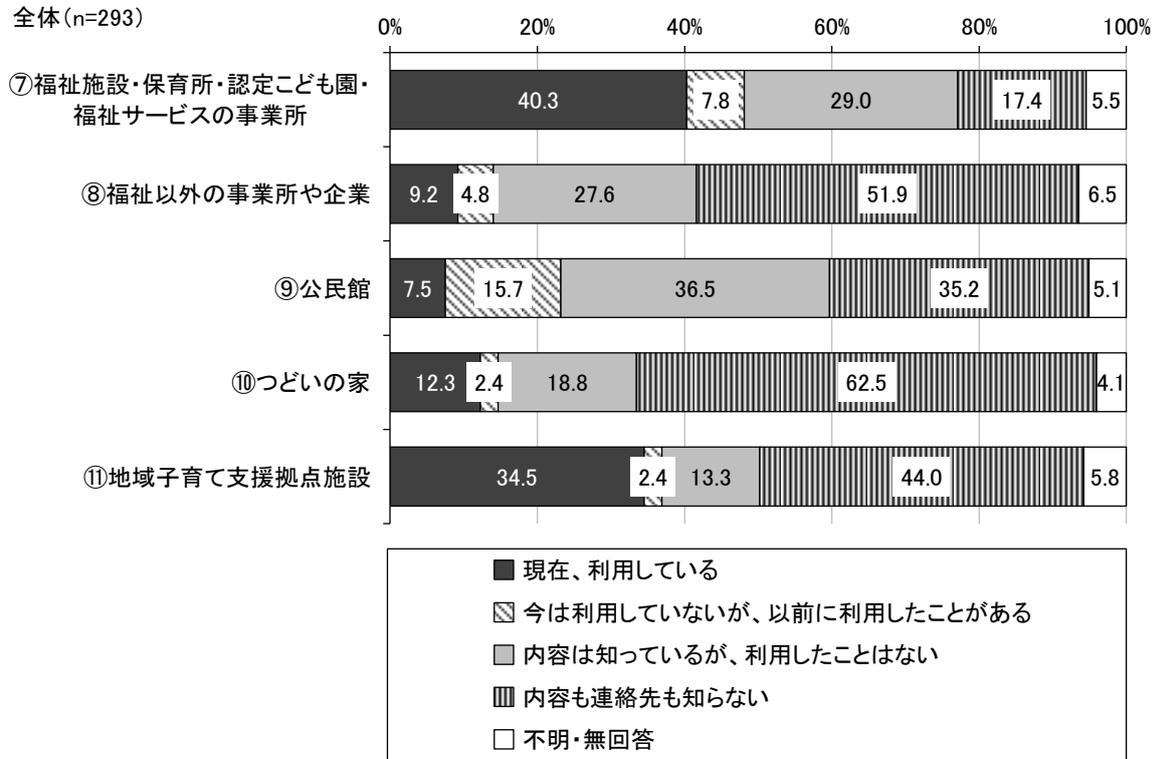
(1) どのような団体の活動に参加していますか。(それぞれ〇は1つ)

すべての項目で「内容も連絡先も知らない」が最も高くなっています。また、〔①同じ地域の自治会、婦人会、老人会、子ども会などの団体〕では「現在、活動に参加している」「今は活動に参加していないが、活動に参加したことがある」が他の項目と比べて高くなっています。



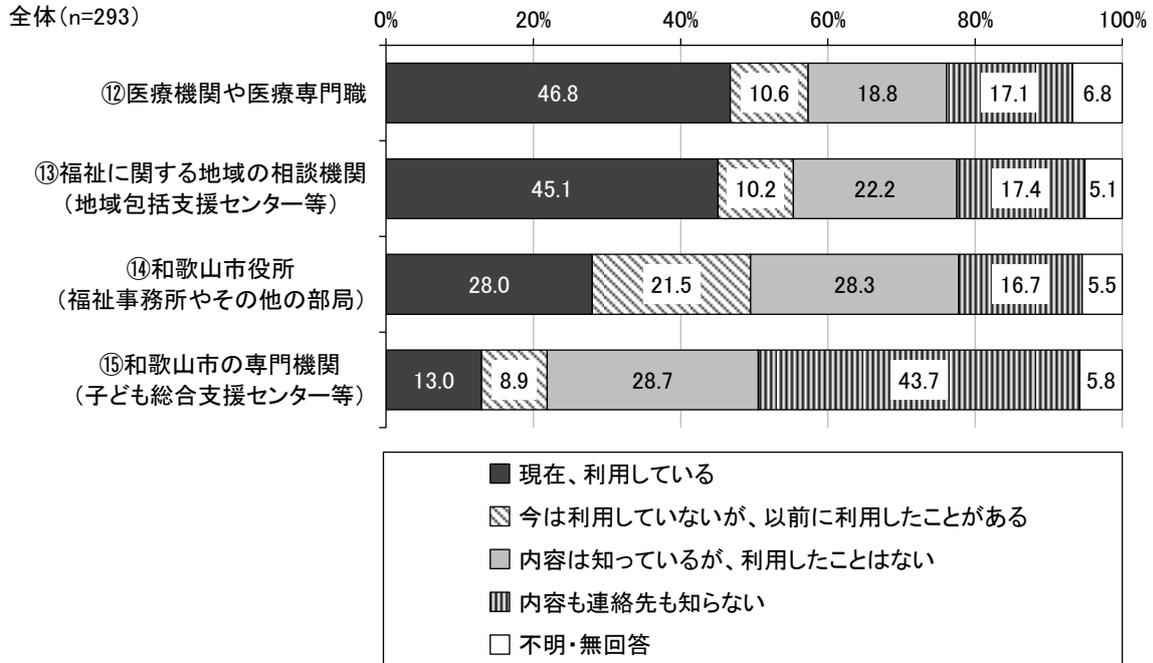
(2) どのような事業所・施設等を利用していますか。(それぞれ〇は1つ)

〔⑦福祉施設・保育所・認定子ども園・福祉サービスの事業所〕〔⑪地域子育て支援拠点施設〕では「現在、利用している」、〔⑧福祉以外の事業所や企業〕〔⑩つどいの家〕では「内容も連絡先も知らない」、〔⑨公民館〕では「内容は知っているが、利用したことはない」が最も高くなっています。



(3) どのような市・関係機関等を相談窓口として利用していますか。(それぞれ〇は1つ)

〔⑫医療機関や医療専門職〕〔⑬福祉に関する地域の相談機関（地域包括支援センター等）〕では「現在、利用している」、〔⑭和歌山市役所（福祉事務所やその他の部局）〕では「内容は知っているが、利用したことはない」、〔⑮和歌山市の専門機関（子ども総合支援センター等）〕では「内容も連絡先も知らない」が最も高くなっています。

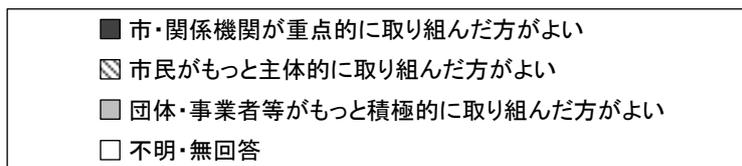
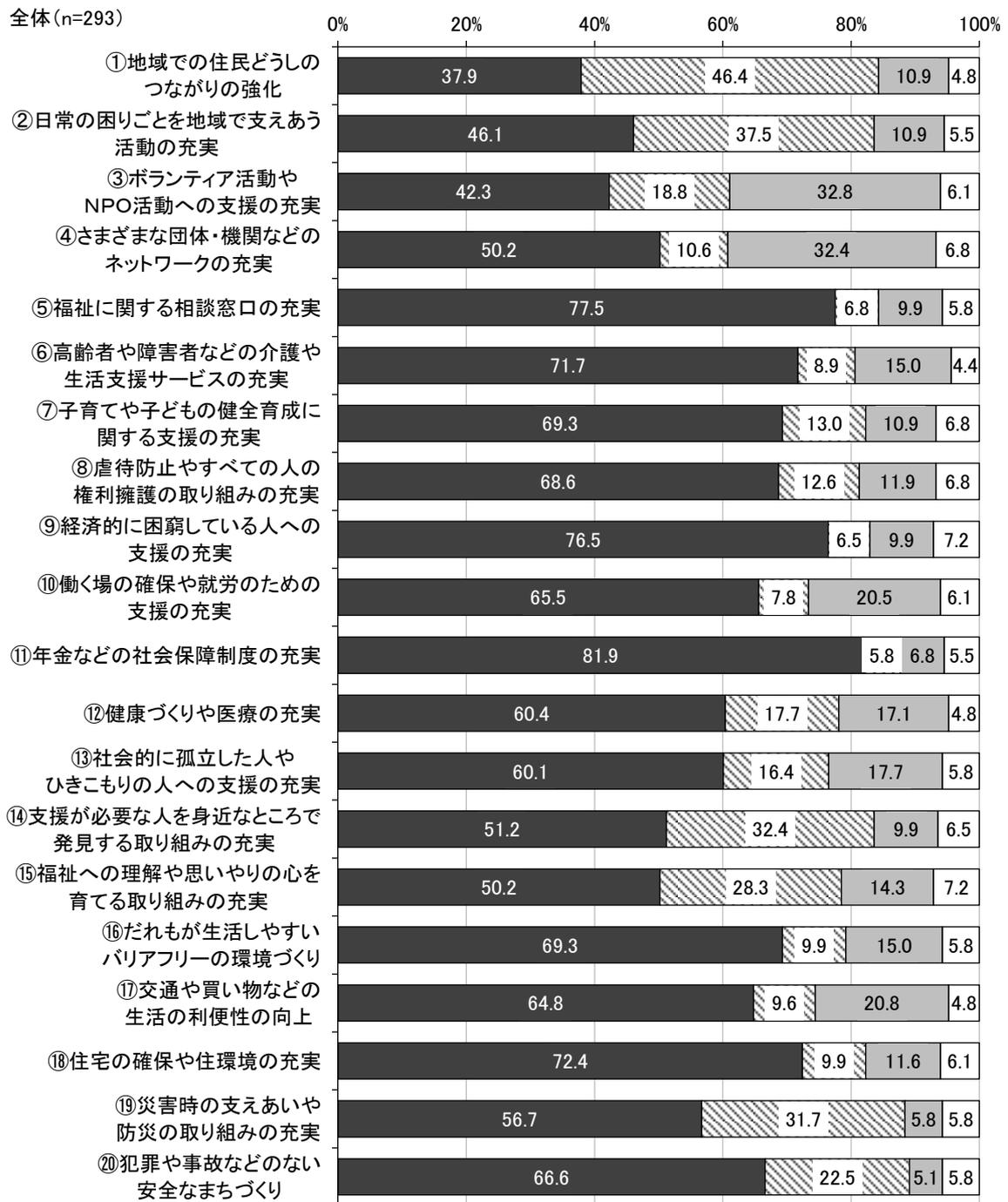


問 10 の設問で①～⑮の項目以外の場合は、下記にお答え下さい。

※回答はありませんでした。

問 11 地域福祉を推進するため、次の①～⑳についてどのように取り組んだほうがよいと思いますか。(それぞれ○は1つ)

〔①地域での住民どうしのつながりの強化〕を除く、すべての項目で「市・関係機関が重点的に取り組んだ方がよい」が最も高くなっています。



### 3 その他について

問 12 地域福祉を推進するにあたり、具体的なお意見やご提案などがありましたら、自由にお書きください。

自由回答
アンケートに答えていましたが、今実際に何をされていて、という情報が分からないので、答られないと判断し、回答をやめました。市の取り組みは市民に届いているとお思いでしょうか。私は子育て支援に関わる仕事をしておりますが、皆さん口々に言われるのは「知らなかった」という言葉です。知っている方は「面倒だから利用しない」か「仕方なく利用する」のどちらかである印象をうけます。お願いしたいことは、伝えたい世代・対象に取り組みの情報が届いているのか、届いていないと考えられるなら、「届けるために」やり方を変えてください。市が前向きに取り組んでくださるなら、市民は情報を広げるために応援します。どうか、今の現行のままでない、新しい情報の伝え方をお願い致します。
2ヶ月前に他県から引越して来ました。ゴミの集積所について市のHPに「近くの方に聞いて」と記載があり、市役所でも同様の案内をされましたが、近くの方とも面識もなく困りました。回覧板も何の案内もなく突然届き問合せ先も不明で何ヶ所も問合せをした結果、不要という結論に達しました。もう少しわかりやすく案内していただくと助かります。
子育て支援について、子供とピクニックしたり室外あそびができる広場がもう少しあると嬉しい。最近広い公園が増えてきて嬉しいので、このままいろいろと子供の遊べる場所が充実すると有難いです。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子連れで遊びに行ける施設等を増やしてほしい。</li> <li>・子育て関連の施設やイベント等の情報がもっと目につくようにしてほしい。予約等を気軽にできるようにしてほしい（電話だけでなくインターネット予約など）。予約の枠が少ない。</li> <li>・詳しくは電話で問い合わせ、ではなく、HP等にも情報をのせてほしい（子育て系に限らず）。</li> <li>・3歳以下の保育園料金が安い？人によるけど仕事に復帰する時期悩む（そもそも保育園入れない含めて）</li> </ul>
いそがしいです。このようなアンケートは不要です。
老人の買物支援
地域福祉を推進するにあたり、市民特に老人（自分も含めて）には、知識がなさすぎる。今は包括センターがたよります。くわしく話してくれます。周りには、包括センターも知らない人がいる。手軽に知るには、もっとテレビを利用したら？家から出にくい人でもテレビで勉強できそう？NHK和歌山①も気をつけて見えています。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全てに於いて、広報活動が不足していると感じる⇒どんな時、どこへ相談すべきか判らない（医療は判る）⇒例えば医院に相談窓口一覧などを掲げてはどうか？</li> <li>・高齢者の足が不足している（買物、通院、遊び）⇒巡回バス、タクシーの充実を望む（緑化センター、風土記の丘など、交通機関が無くて行けない）</li> <li>・バリアフリーと言うが公道が凸凹でシニアカー、自転車での走行が危険な所が多い。歩道のかなり深い凹は埋めて欲しい。</li> </ul>
福祉の推進については高齢者が地域に多くなり、若い世帯が極度に少ないのが現状。公園そうじやその他役割を決めて運営してもらう事は非常に大事ではありますが5年先、10年先を考えると難しくなる項目が増えるのではと思います。そうすると顔を合わせる事が少なくなったり地域の繋がりもうすくなつての悪循環。協力はしていきたいが働かないといけないし…。地域包括センターさんは本当に身近な存在で心強いです。病院や学校発信の気軽な場を設けて下さったら参加しやすいのではないのでしょうか。健康セミナー（血管年齢や肌年齢の測定）やなつかしの学校給食を楽しむとか

自由回答
車に乗れなくなった時の買物や通院の交通手段が心配です
もっと啓蒙活動する必要があると思います。せっかくの活動を知らない人も多く、SNSとかニュース和歌山とか市報だけでなく、いろいろなメディアへの宣伝はできないのでしょうか？
そもそもこのアンケートについて、説明がややこしく、本当に市民の声を集めたいのかな？全部適当に「できている」に丸をしてほしいから、こんな文章にしているのかな？と思いました。アンケートに限らずですが、知らない人がどんどん取り残されていく仕組みができあがっているように感じられるのが残念でなりません。QRコードなども私たちには便利ですが、紙での媒体、見目麗しいのも大切ですが、字が大きく、何を伝えたいのかわかりやすい資料、本当に困っている方に届く案内についても考えていってほしいです。お役所仕事でもんね。しかたないですね。おつかれませす
このアンケートの内容が理解しにくい。
地震があった時にどうすべきか、教えて欲しい
ネットワークが出来ないのでこまっています
特にありませんが、質問の内容を理解しやすい文章をお願いします。
地域の人々の結びつきを深める交流を盛んにする。公園等の活用
◎市役所、連絡所等での出張福祉の相談会が必要。 ◎連絡所の充実。会議室が2階が多い。高齢者には利用しにくい。特にスリッパの利用、事故につながる。2階は、すべて土足で利用できるようにしてほしい。
永穂地区交通機関がなく不便です。何とかして下さい！！
高齢の為、買い物に行くのに困っています。バス等何かして欲しいです。買い物難民です。
ベビー用品のリユース事業（兵庫県高砂市）と同様の取組が和歌山市でもあれば子育て世帯にとっては助かると思います。内容は1世帯につき4点1年以内（申請すればもう1年）レンタルできます。レンタルするベビーカーやチャイルドシートはゴミ処理場にて再利用可能なものを点検等して貸出ししているそうです。 利用者のメリット：子育ての初期投資が抑えられる。帰省先でレンタルできると荷物が減る（帰省するハードルが下がる）
老人のデイサービスが色々な場所にあるように、子供の室内での遊び場所を色々な場所につくってほしいです。例）公民館などの1室におもちゃを置いて、いつでも遊びに行ける場所にするなど
問に対して理解できない事が多い。「和歌山市地域福祉計画」の事も知りませんでした。
気軽に相談・提案できるような窓口があることを、もっと周知できればいいと思います。（利用の簡易化も含めて）
公園が新しい場所と古いところで遊具が違いすぎていて古いところは使える状態でないところが多いです。また、手入れをしてほしいと提案しましたが何も変わっていません。道路に関しても自転車と歩行者がよく使用する場所では、交通量が多いので危険です。分離帯を整備できるならしてほしいですし、段差があるところはベビーカーが使いづらいです。（車いすも）
正直、進んでいるか、いないかの問いには「分からない」と回答したかった。自分のアンテナが低いのか、情報を知らない。情報を知らないということは「進んでいない」と思う
子どもが体調不良の際に支援してくれる団体や個人を探しています。（例えば病児保育の施設や自宅で看病ができる人など）また、行政の支援制度を利用したいと申請してから実際の利用まで半年以上もかかったことがあります。場当たりの窓口の対応の改善、申請から利用までのスピード感を求めています。
家の近くの道が、ガタガタなので、ベビーカーが行きにくい道が多いです。車がたくさん通るので仕方がないのですが、もう少し、ベビーカーで行きやすい道の方がうれしいです。

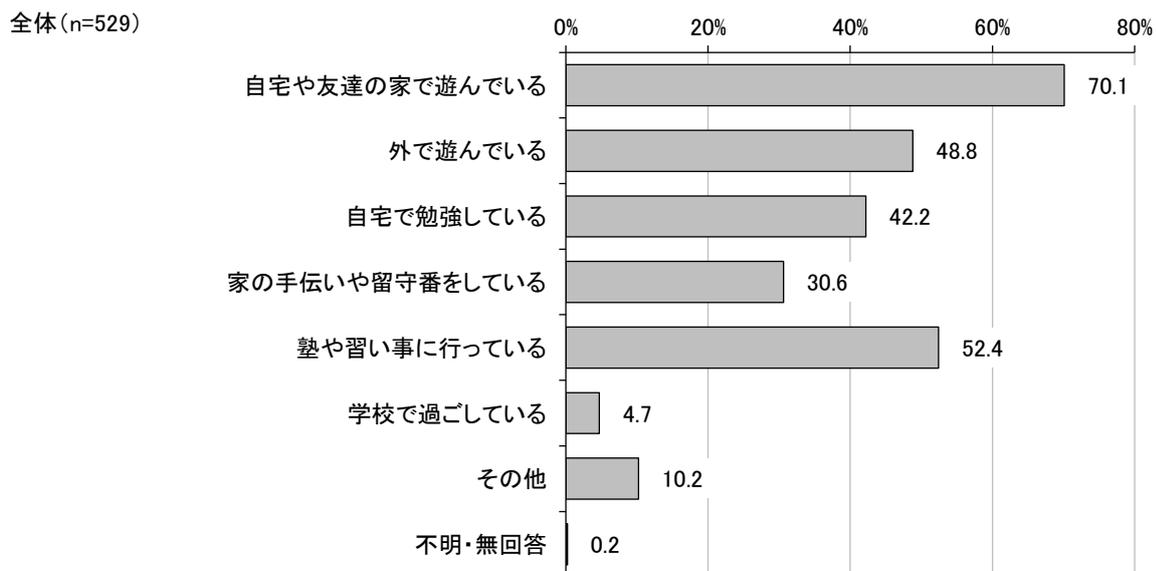
自由回答
公民館での市の体操教室に参加していますが、指導の先生のおかげで気軽に体操でき地域の公民館なので歳をとっても家から歩いて行けるので「いいなあ」と感じています。公民館の活動内容を増やして頂ければ…地域の親睦になるのではと思っています。
元気で積極的な高齢者は自分で何でも見つけて明るく暮らしています。ただ、消極的なお年寄りはいきたくても行けず、家で引きこもっている人も多いと思います。民生委員さんだけに頼らず、子供の見守り隊があるように、地域で、そのような人を選び、一人でも多く、家の近くで皆と集って楽しく過ごせる場所があればと思います。孤独で寂しいお年寄りも多い事に留めてほしいと思います。食事会もありますが、遠くて行けない人の為、小さな単位で行う方法もあると思います。
不登校児童に関する地域での居場所がまだまだ和歌山は少ないと感じています。いろいろな選択肢があれば良いと思います。
地域・事業者・市民すべてがバランスよく様々な問題にとりくめるよう、行政がリードしていただきたい。
昨年、和歌山県へ引っ越して来ました。子どもも産まれたばかりで、とても不安でしたが、子どもの予防接種の券の事で聞きたい事があった時、市役所へ電話した所、とても親切に教えて頂きました。小児科の場所も分かりやすく教えて頂きました。子どもの事なのでとても助かりました。本当に感謝しています。
食品添加物の危険性を伝え、有機食材や無添加のお店を増やしてほしい。（健康促進のため）エネルギーのある若者達が積極的に活動できる場や支援を増やしてほしい。
自治会のトップが高齢化している。若い人たちに自治会のメリットが感じられません。地域で災害対策の講習や、子ども向けの講習があれば参加してみたい。自治体が行っている活動を知る機会が少ないので、公式ラインを使うなど、今の若い世代でも情報を手軽に入手できるようにしてほしいです。
自治会が地域住民の直近の状況を把握してくれている地区に住んでいる。その点では安心しているが、災害がおこったときの対処までは、配慮ができていない。このことは、個人として不安におもっていて、地域としても助け合いができる用意が必要と思っている。
地域の人々の結びつきは大切ですが、なかなか住民の交流の場が少なく、参加される方は参加、されない方はまったくしない現状だと思っています。
行政機関がもっと広報すべき？
現在住んでいる地域はありがたいことに一部の方々の力で成り立っています。しかしそれほどのくらい続けられるの分かりません。災害が起こった時などどうなるかととても不安です。若い人の中には自治会へ入らない人もいるのが現状です。できればもう少し行政の方でも声かけなどできないかと思います。コミュニケーションがとりにくい昨今ですが、「おはよう！」「こんにちは！」が言える地域でありたいと願っています。今は通りに出れば声かけをしてもらえます。ありがたいです。
福祉にたよりたくなる人は表面には出てきません。やはり、地域の取り組みにもう少し力を入れてくれたらと思います。私自身は家族、友達にも恵まれていて今のところ孤独感はかんじられませんが、一人になり家からでられなくなった時には…と思います。
福祉、医療、警察の連携を密に取り、市民の協同参加による昔ながらの協同体の再構築を目指した行政の活動を望みます。
ひとりひとりのできること、できないこと、やりたいこと、やりたくないことなどに合わせた支援の制度をつくってほしい。夢や目標をかなえられるよう、支援してほしい。（経済的な問題や、人種、性別、学歴などにかかわらず、障害の有無にかかわらず）。相談窓口のネットワークの充実。

## IV 小学生児童アンケート調査結果

### I ふだんの生活について

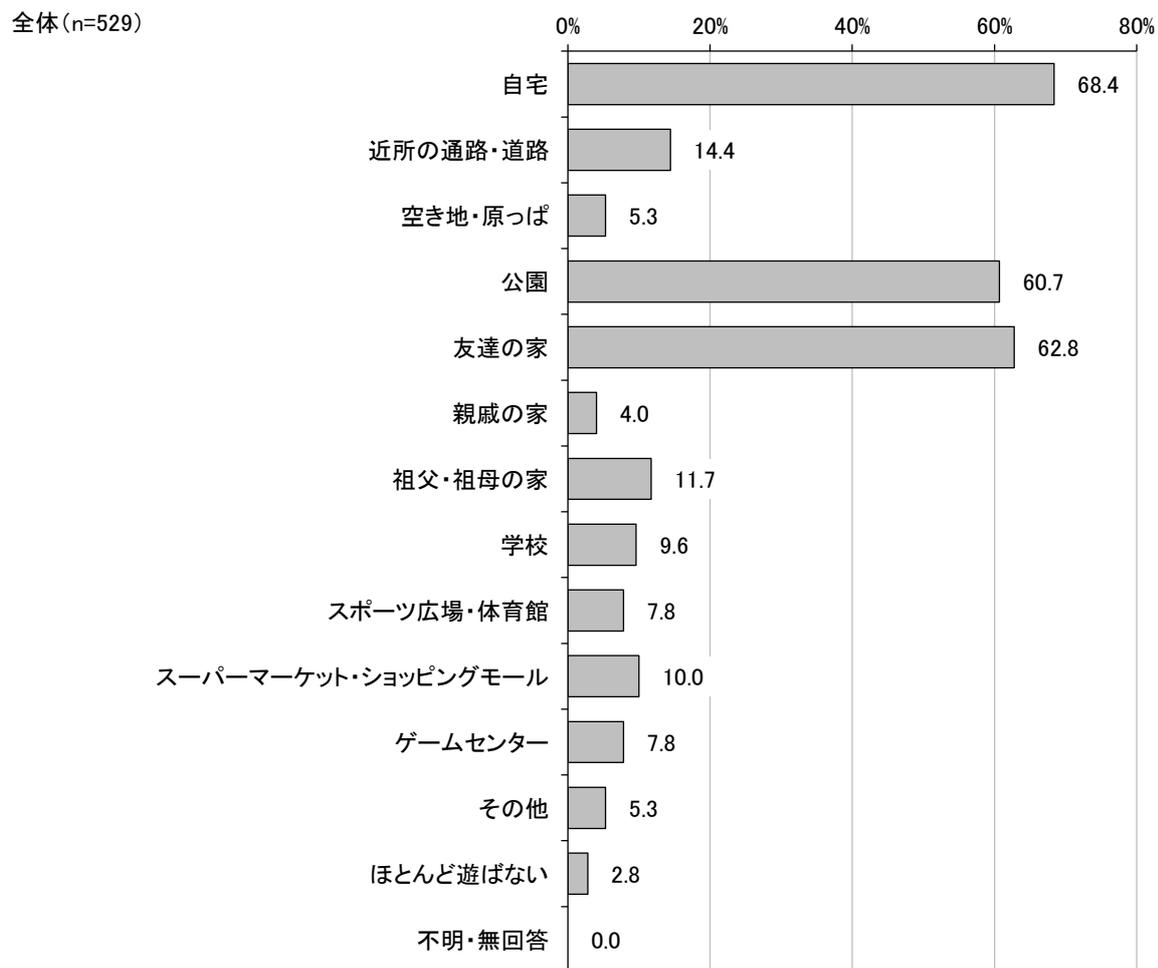
問1 あなたは放課後、何をして過ごすことが多いですか。(〇はいくつでも)

「自宅や友達の家で遊んでいる」が70.1%と最も高く、次いで「塾や習い事に行っている」が52.4%、「外で遊んでいる」が48.8%となっています。



問2 あなたは、どこで遊ぶことが多いですか。(〇はいくつでも)

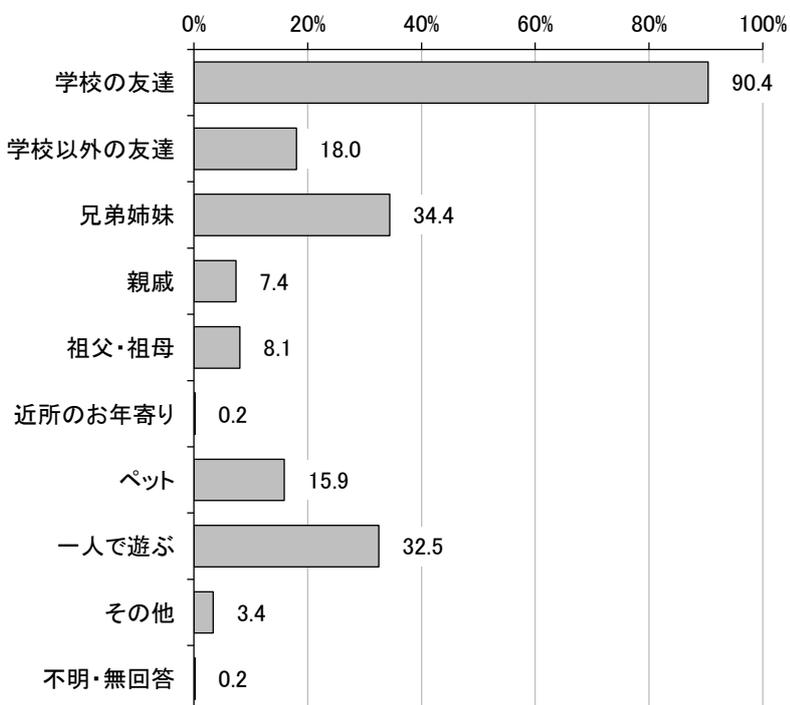
「自宅」が68.4%と最も高く、次いで「友達の家」が62.8%、「公園」が60.7%となっています。



問3 あなたは、主にだれと遊ぶことが多いですか。(〇はいくつでも)

「学校の友達」が90.4%と最も高く、次いで「兄弟姉妹」が34.4%、「一人で遊ぶ」が32.5%となっています。

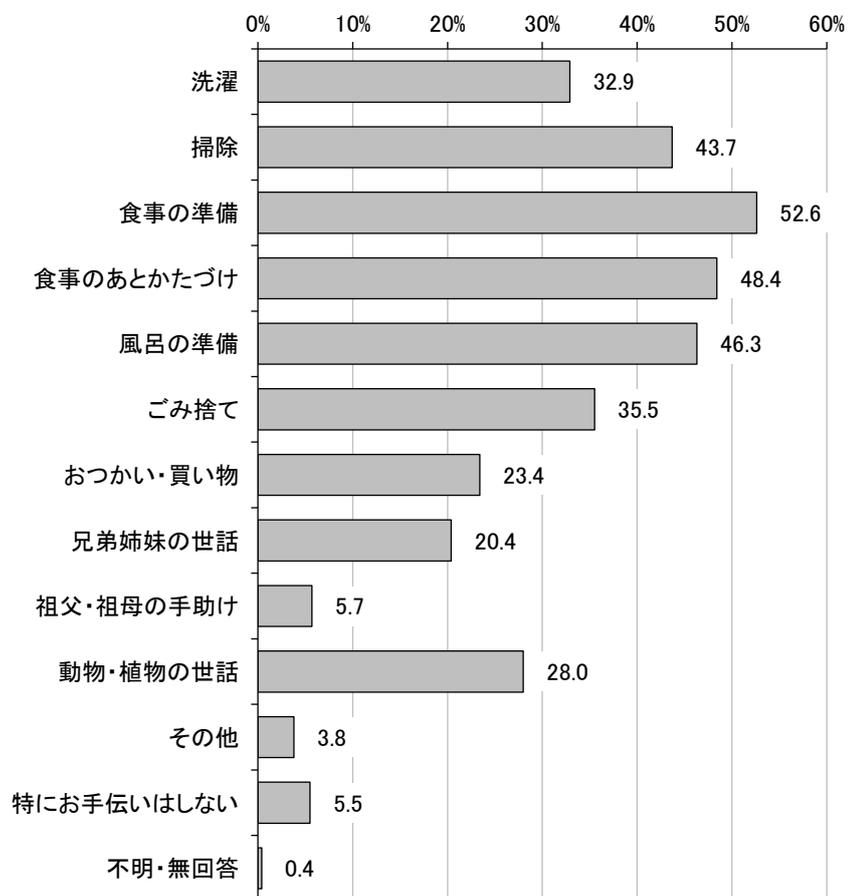
全体(n=529)



問4 あなたは、家でどのようなお手伝いをしていますか。(〇はいくつでも)

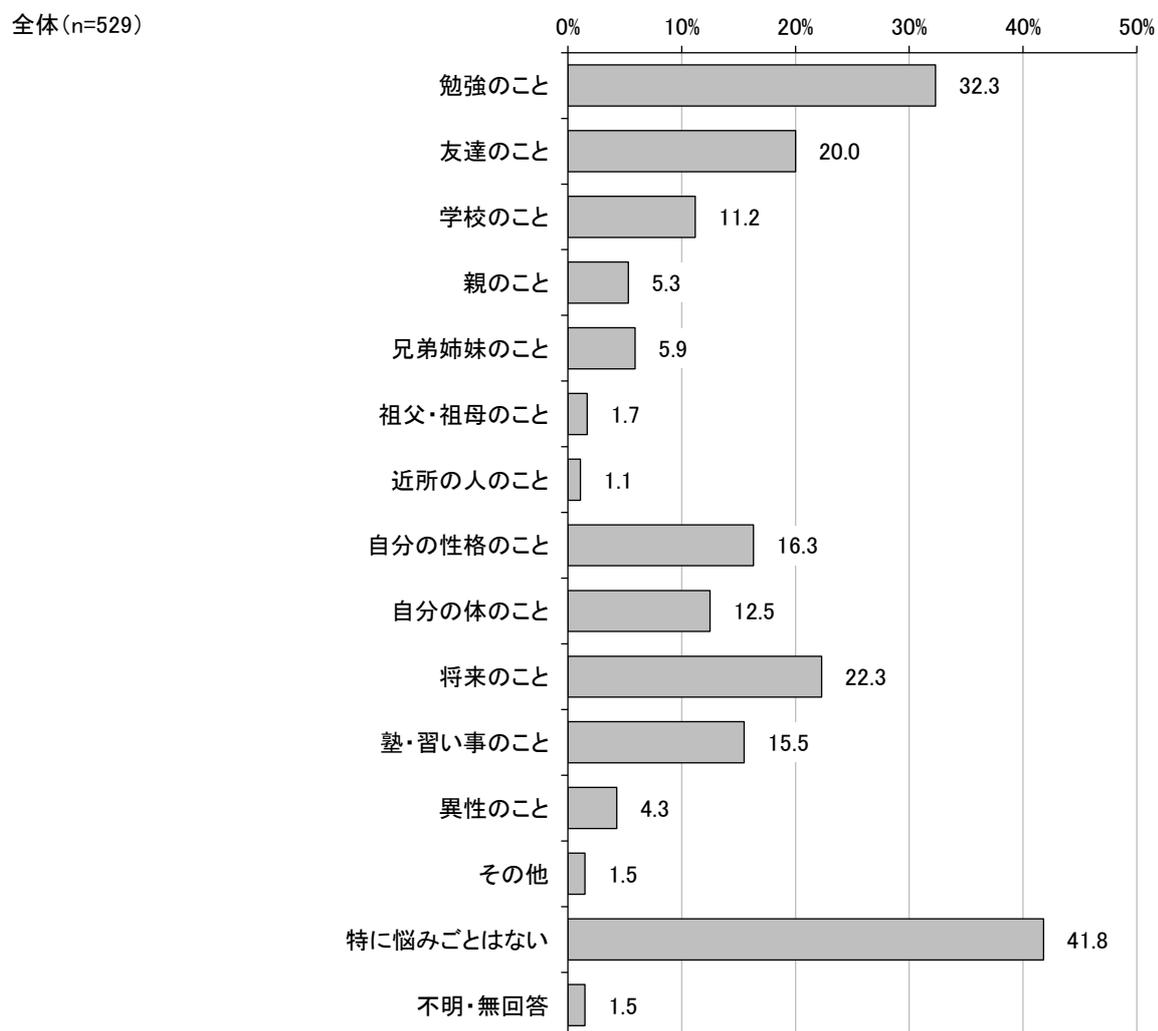
「食事の準備」が52.6%と最も高く、次いで「食事のあとかたづけ」が48.4%、「風呂の準備」が46.3%となっています。

全体(n=529)



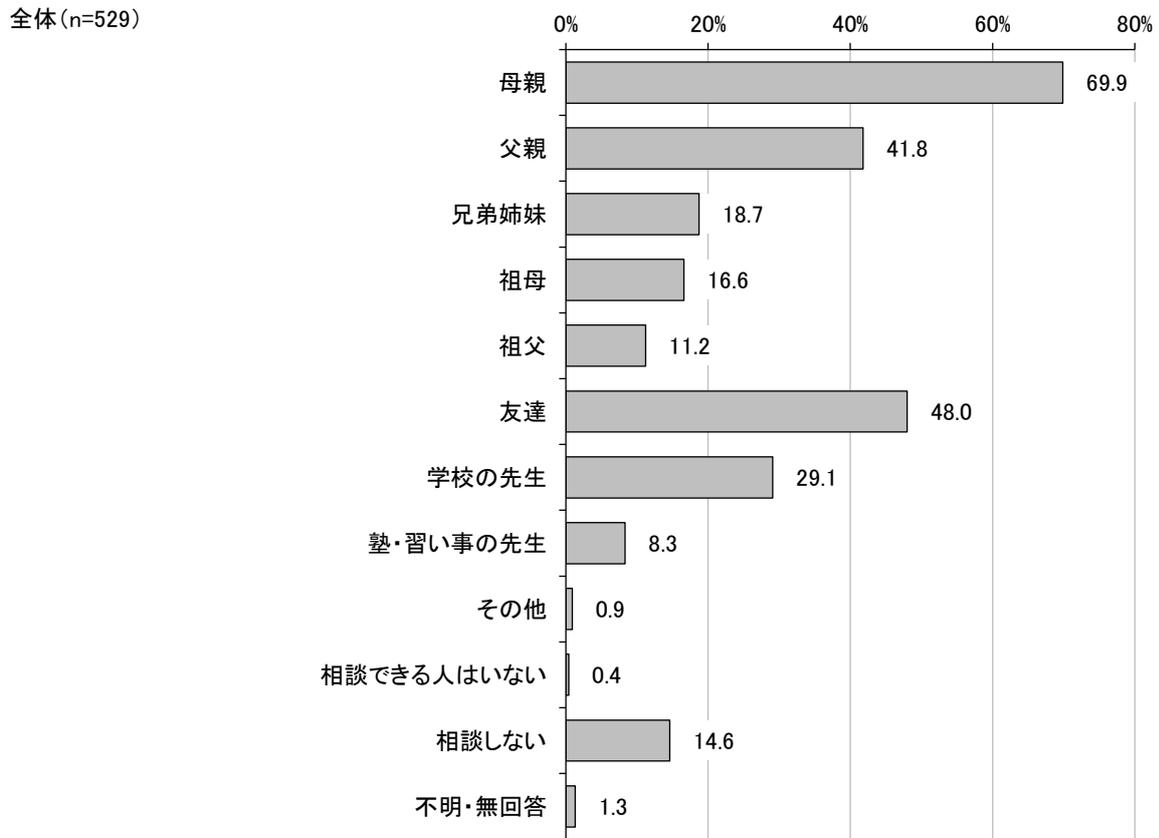
問5 あなたは、最近どのような悩みをもっていますか。(〇はいくつでも)

「特に悩みごとはない」が41.8%と最も高く、次いで「勉強のこと」が32.3%、「将来のこと」が22.3%となっています。



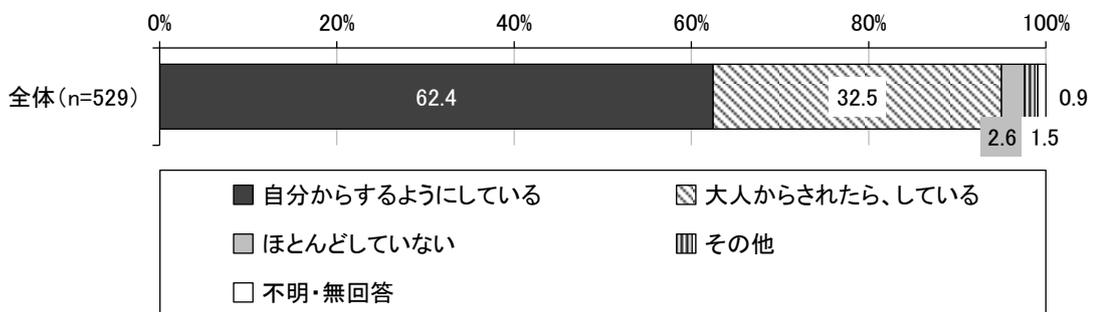
問6 あなたは、悩みがある場合、主にだれに相談しますか。(〇はいくつでも)

「母親」が69.9%と最も高く、次いで「友達」が48.0%、「父親」が41.8%となっています。



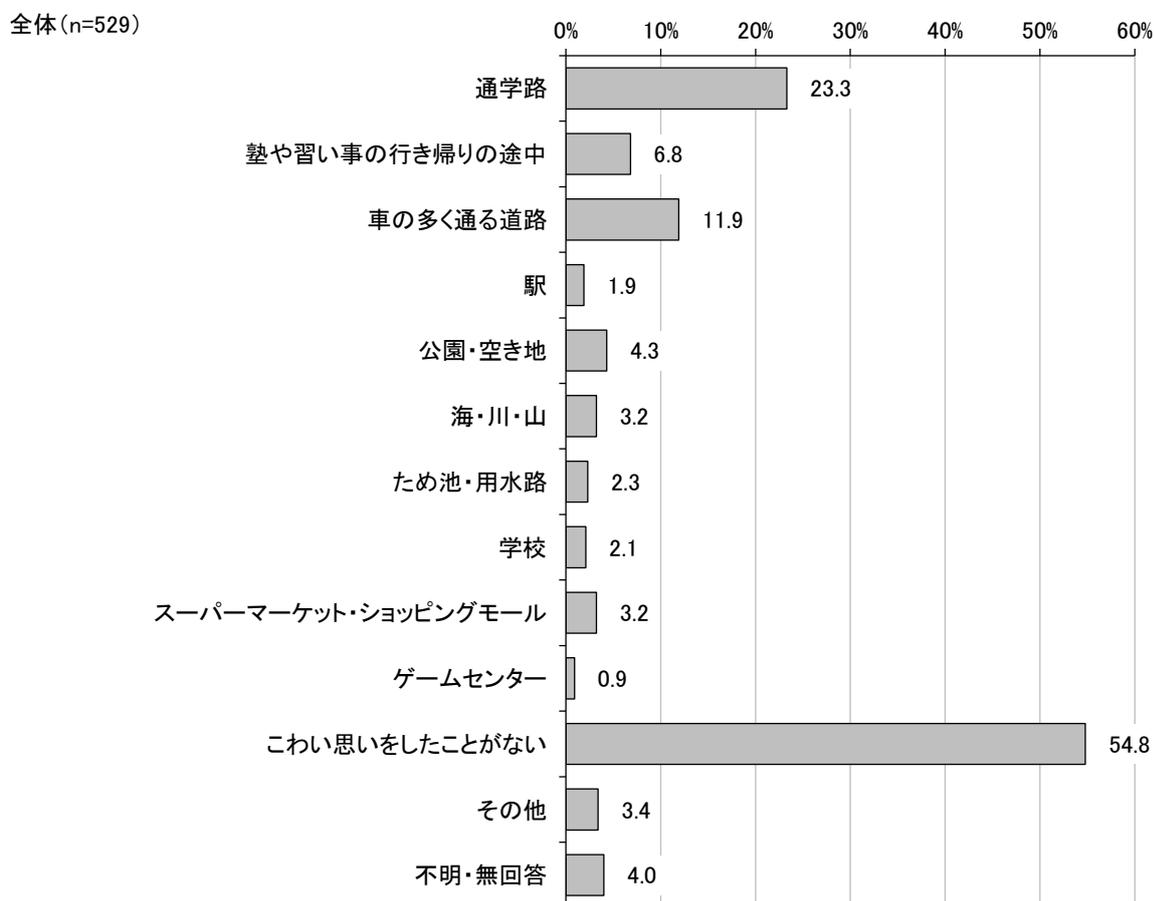
問7 あなたは、近所の大人の人たちと出会ったとき、あいさつをするように心がけていますか。(〇は1つ)

「自分からするようになっている」が62.4%と最も高く、次いで「大人からされたら、している」が32.5%、「ほとんどしていない」が2.6%となっています。



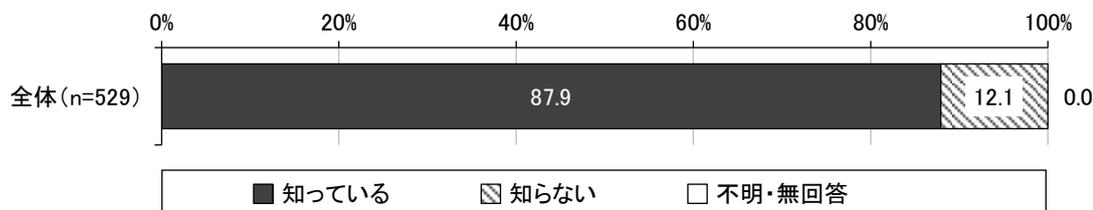
問8 あなたは、事故（交通事故や水の事故など）にあいそうになったり、不審な人物を見かけたりするなど、こわい思いをしたことがありますか。あった場合、それはどのような場所でしたか。（〇はいくつでも）

「こわい思いをしたことがない」が54.8%と最も高く、次いで「通学路」が23.3%、「車の多く通る道路」が11.9%となっています。



問9 あなたは、近所の「きしゅう君の家」を知っていますか。（〇は1つ）

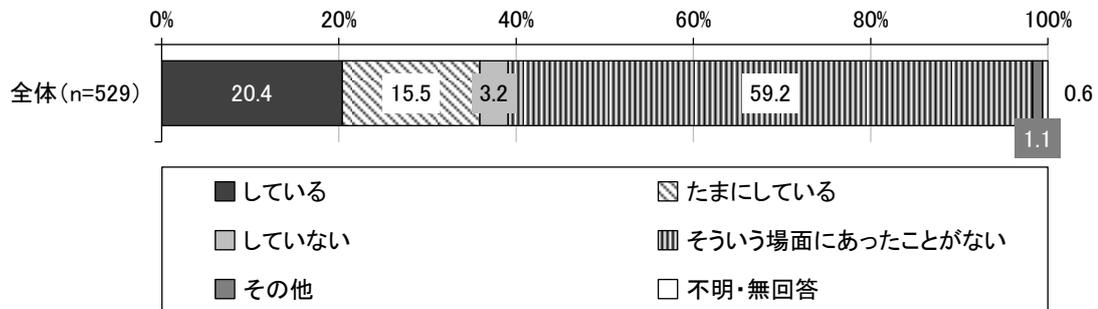
「知っている」が87.9%と、「知らない」の12.1%を上回っています。



## 2 他の人との助け合いや支え合いについて

問10 あなたは、バスや電車、階段などで、高齢者の方や障害者の方に席をゆずったり、荷物を持つなどの行為をしたことがありますか。(〇は1つ)

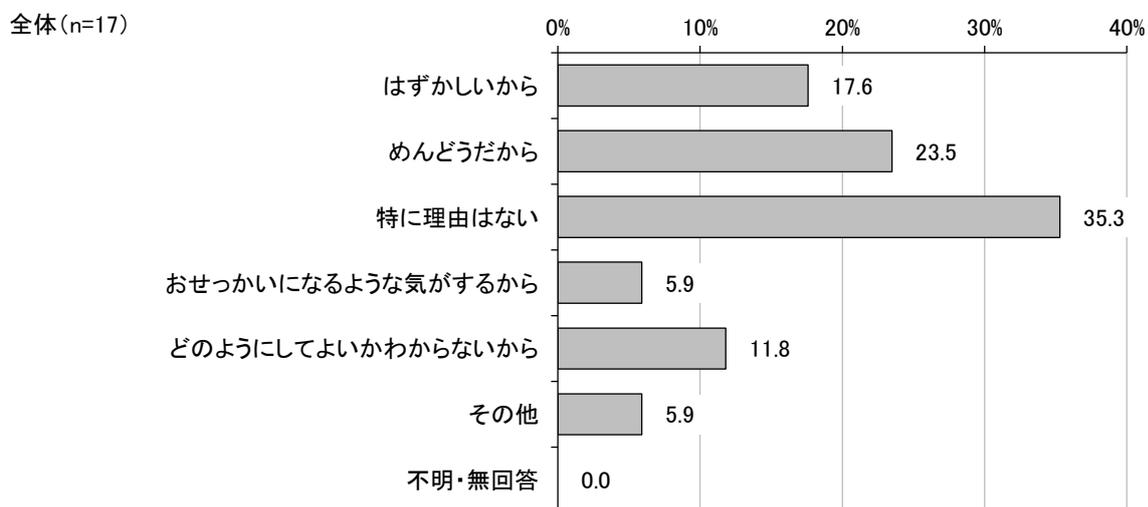
「そういう場面にあったことがない」が59.2%と最も高く、次いで「している」が20.4%、「たまにしている」が15.5%、「たまにしている」が15.5%となっています。



問10で「していない」を選んだ方

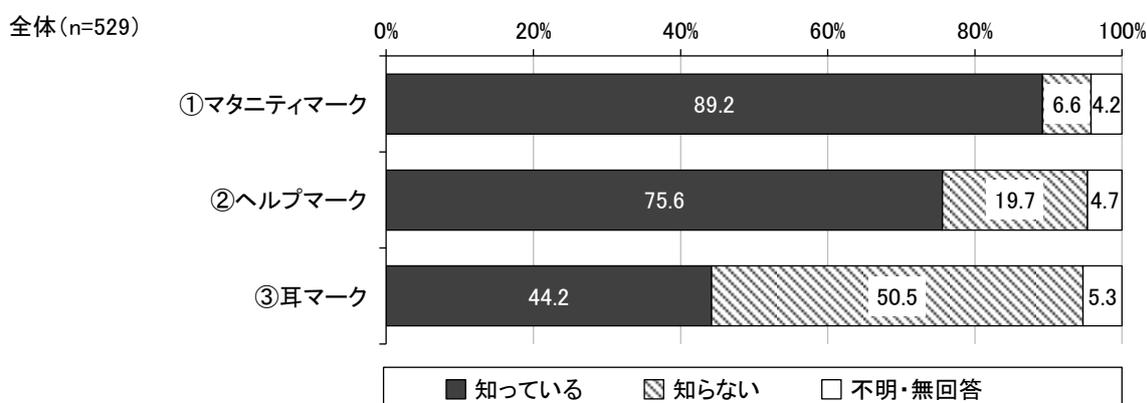
問11 バスや電車、階段などで、高齢者の方や障害者の方に席をゆずったり、荷物を持つなどの行為をしていない理由は何ですか。(〇は1つ)

「特に理由はない」が35.3%と最も高く、次いで「めんどうだから」が23.5%、「はずかしいから」が17.6%となっています。



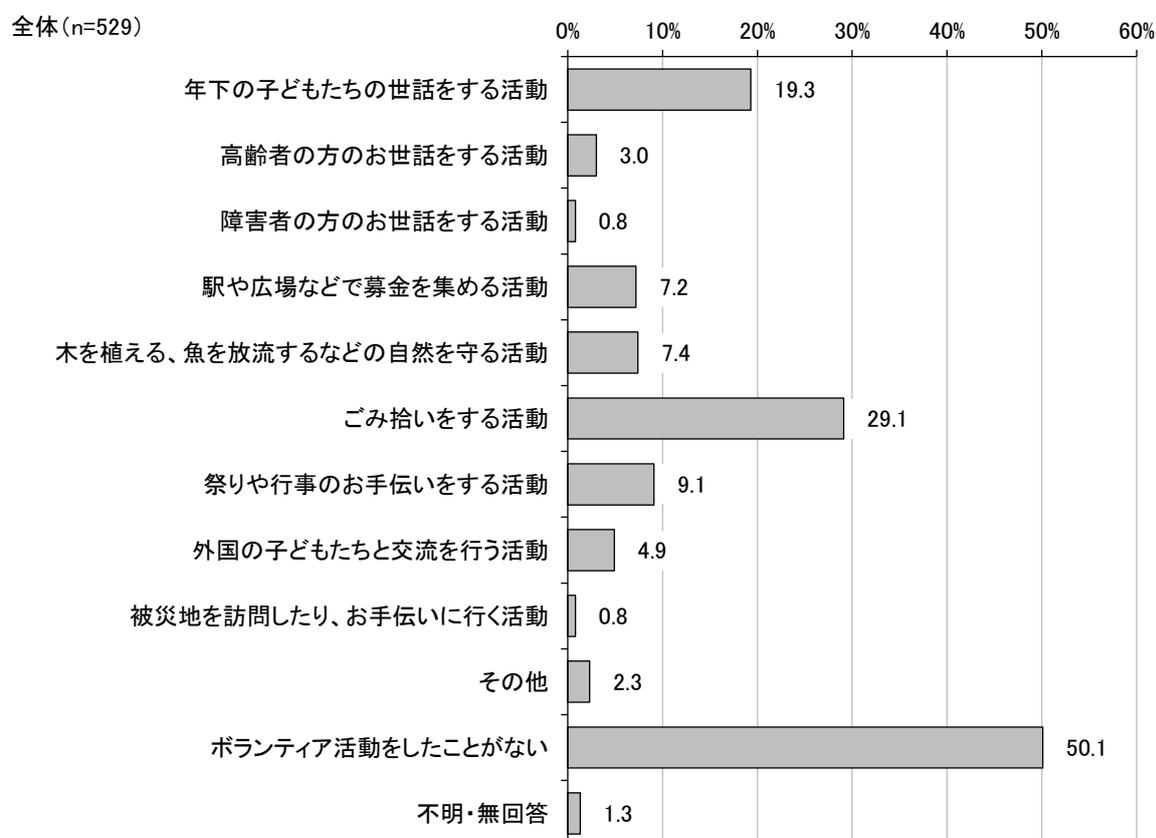
問 12 あなたは、下にあるマークを知っていますか。(それぞれ○は1つ)

〔①マタニティマーク〕〔②ヘルプマーク〕では「知っている」が7割以上、〔③耳マーク〕では「知らない」が5割台となっています。



問 13 あなたは、どのようなボランティア活動をしたことがありますか。(○はいくつでも)

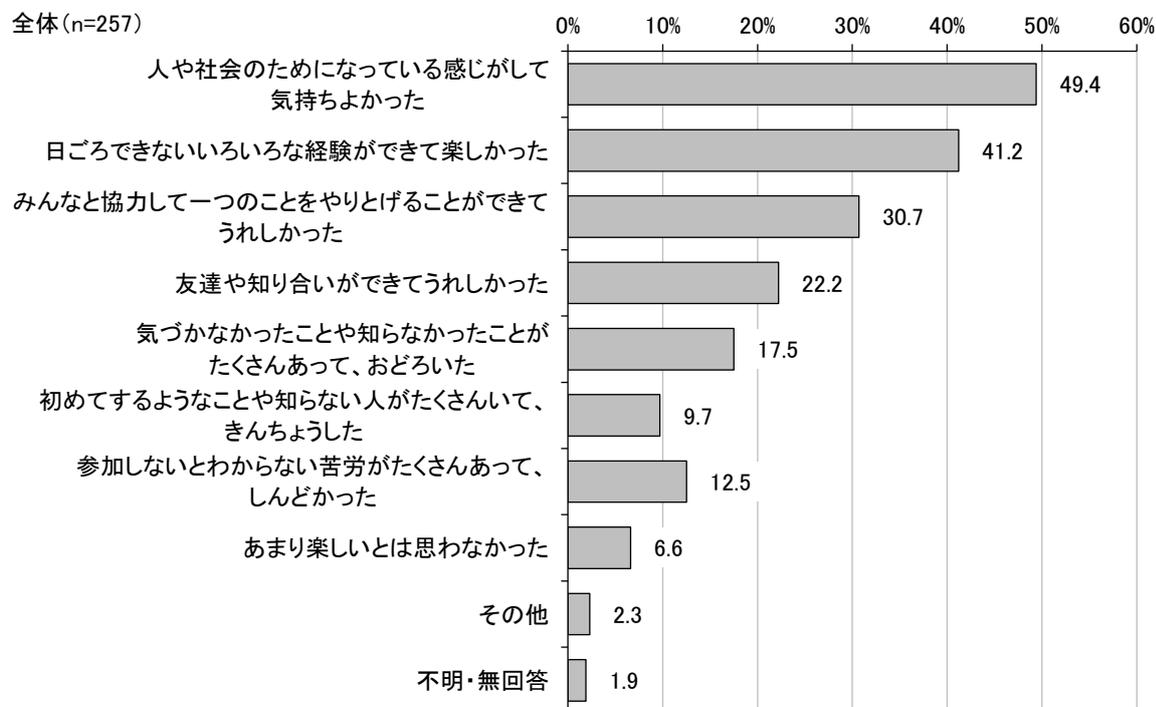
「ボランティア活動をしたことがない」が50.1%と最も高く、次いで「ごみ拾いをする活動」が29.1%、「年下の子どもたちの世話をする活動」が19.3%となっています。



問 13 で「ボランティア活動をしたことがない」以外を選んだ方

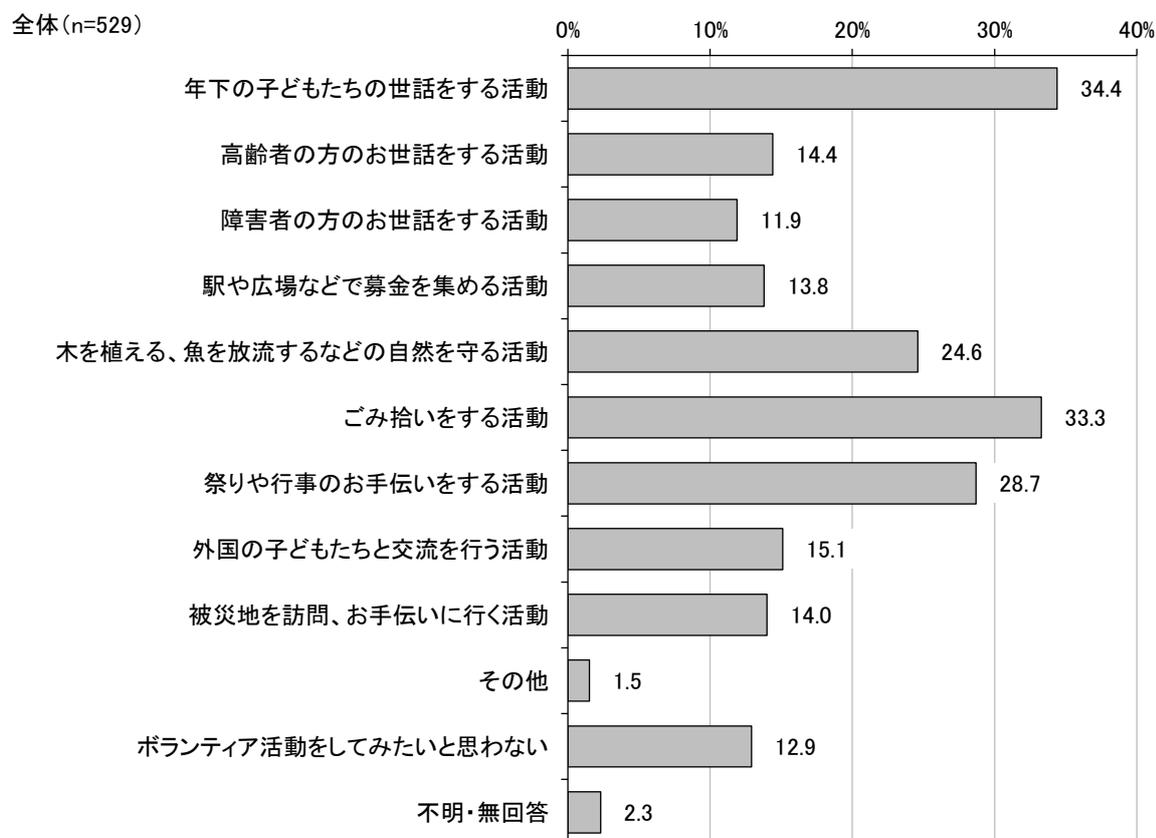
問 14 ボランティア活動をしたとき、どんな気持ちになりましたか。(〇はいくつでも)

「人や社会のためになっている感じがして気持ちよかった」が 49.4%と最も高く、次いで「日ごろできないいろいろな経験ができて楽しかった」が 41.2%、「みんなと協力して一つのことをやりとげることができてうれしかった」が 30.7%となっています。



問 15 あなたは、今後どのようなボランティア活動をしてみたいですか。(〇はいくつでも)

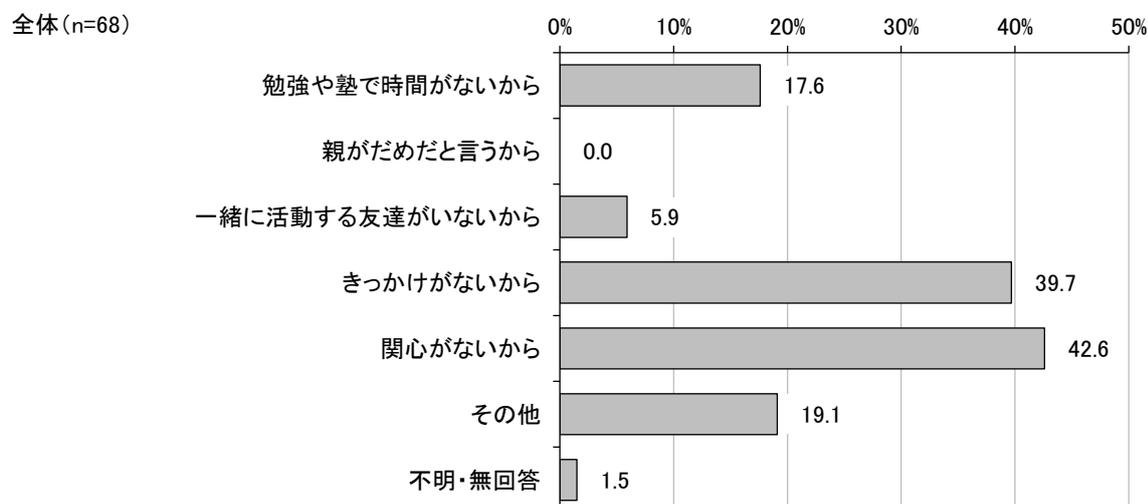
「年下の子どもたちの世話をする活動」が34.4%と最も高く、次いで「ごみ拾いをする活動」が33.3%、「祭りや行事のお手伝いをする活動」が28.7%となっています。



問 15 で「ボランティア活動をしてみたいと思わない」を選んだ方

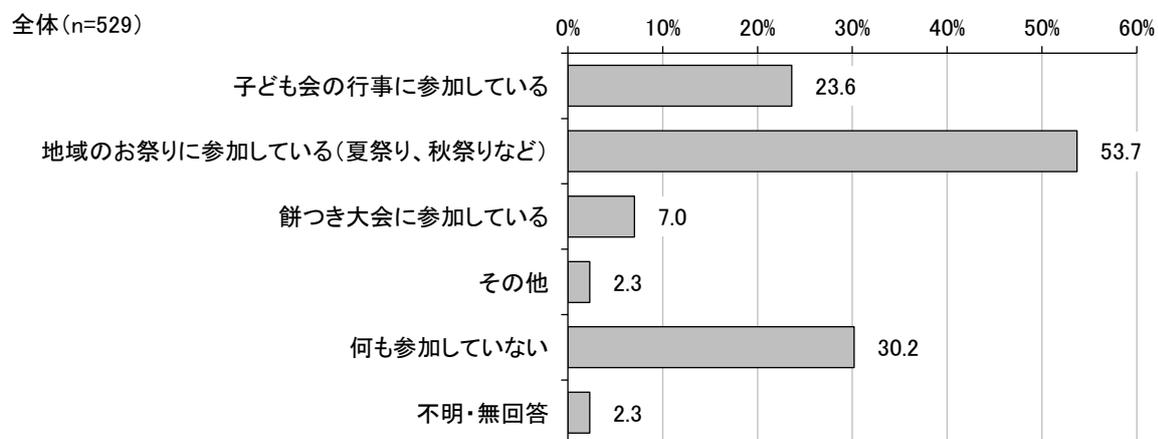
問 16 ボランティア活動をしてみたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「関心がないから」が42.6%と最も高く、次いで「きっかけがないから」が39.7%、「勉強や塾で時間がないから」が17.6%となっています。



問 17 地域での子ども会やお祭りなどの行事に参加していますか。(〇はいくつでも)

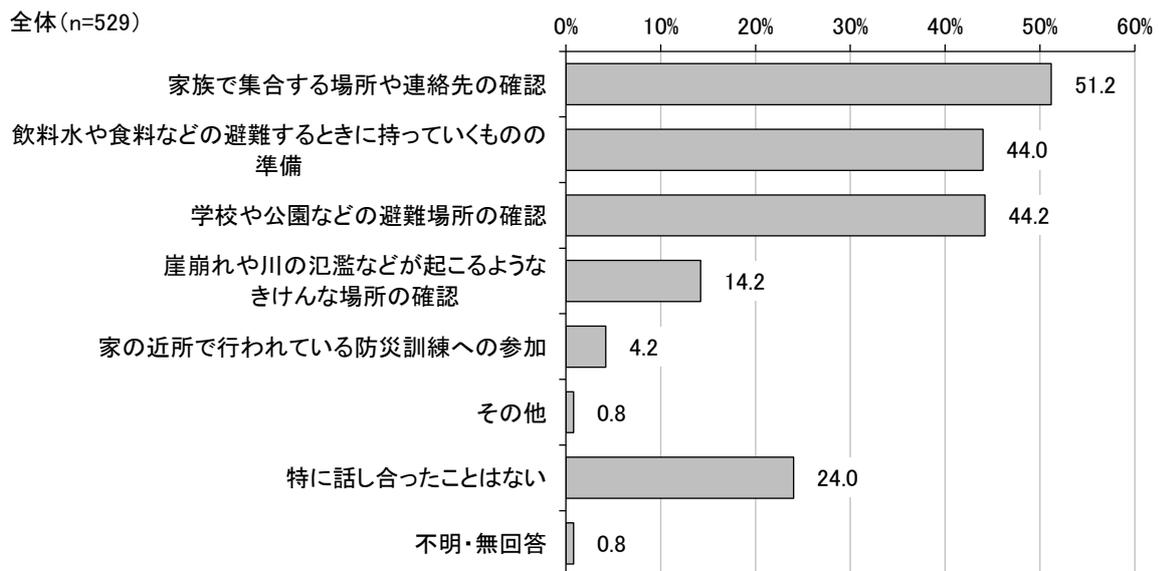
「地域のお祭りに参加している(夏祭り、秋祭りなど)」が 53.7%と最も高く、次いで「何も参加していない」が 30.2%、「子ども会の行事に参加している」が 23.6%となっています。



### 3 防災について

問 18 あなたは、防災について、家族で話し合ったことはありますか。あった場合、どのような内容ですか。(〇はいくつでも)

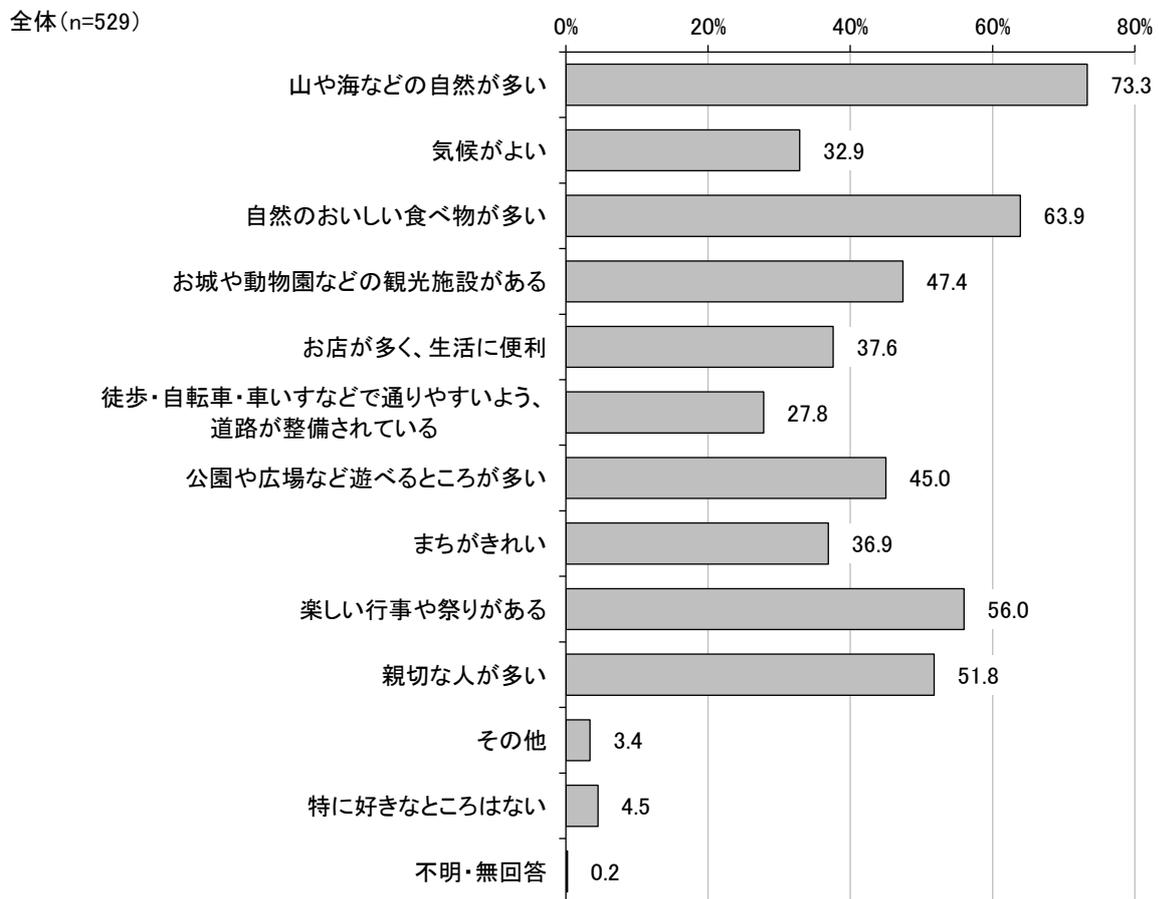
「家族で集合する場所や連絡先の確認」が 51.2%と最も高く、次いで「学校や公園などの避難場所の確認」が 44.2%、「飲料水や食料などの避難するときに持っていくものの準備」が 44.0%となっています。



## 4 和歌山市について

問 19 あなたは、和歌山市のどのようなところが好きですか。(〇はいくつでも)

「山や海などの自然が多い」が 73.3%と最も高く、次いで「自然のおいしい食べ物が多い」が 63.9%、「楽しい行事や祭りがある」が 56.0%となっています。



問 20 あなたの住んでいる地域のすべての人が、今よりもっと幸せに生活するためには、これからどんなことをしていったらよいと思いますか。あなたの考えを自由に書いてください。

自由回答
ゴミを減らす。挨拶する。
みんなで助け合い
ポイ捨てがないようにゴミ箱やポスターを設置する
地域の人と協力しながら生活する。
もっと地域の人たちと交流を増やす
ボランティア
ゴミひろい
ポイ捨てをしている人がいたらとめる
地域の人とあう時間を増やす
誰かにあったら挨拶をする
<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている人がいたらすぐに助ける。</li> <li>・お互い協力しあって何事にも全力で、取り組んでいく。</li> <li>・和歌山県だけでも、ゴミを捨てることをやめる。</li> </ul>
大人も子供も遊べる場所
ボランティアじゃなくても人助けをしたいです
楽しい活動
みんな楽しいことなどができるまち
もっと楽しいイベントをふやす
お互いに助け合って過ごしたら幸せに過ごせる
みかんなどの果物を美味しくする。温泉地を増やす
道路などを整備してほしいです
交通ルールを守る。
みんなで協力して助け合う
お金が少ない人がいるからやすく
ゴミ拾いをする
お店を増やす、行事を増やす。
自然と触れ合えるような行事を行ったり 緑を増やして心を落ち着かせられる場所を作って欲しい イオンモールなどのショッピングモールを増やして欲しい
もっと街などの道を整備したり便利な暮らしができるようにお店やこうえんをふやしてほしい
もっとみんなが楽しめそうな活動をしたほうがいいと思います。例えばみんなが好きそうな遊びや世界中ではやっていることをすればいいと僕はおもいました。
今のままでいいと思います
もっとみんなにあいさつする
自由にする
ゴミ拾いやボランティア活動や災害募金を行い街を平和にする
まつりをふやす
楽しい施設増やしたり。すると良いと思います

自由回答
公園やお店を増やしたり道を整備して車や自転車バイクの人が走りやすいようにしてほしいです
いべんとをふやす
みんなが取り組みそうなイベントを増やしていく
優しくしあえる
困っている人がいたら、声をかけてあげたり、手伝ってあげたりする
ゴミひろい
みんなが楽しく過ごせるように
小さい子供でも参加できること
みんなが平等にする
みんなが公平に街を歩いたりするために障害者用に点字ブロックなどを街に設置する
交流すること
ポイ捨てをする人がいるのでいろんなところにゴミ箱を置く
たまに、ガタガタしている歩道があるから整備したら車いすに乗っている人も通りやすくなると思います。
これからも色々な行事でみんなと交流すればよい
色々な人がボランティア活動に参加して交流したら良いと思う
地域で集まれる会を増やしたらいいとおもいます
町を綺麗にする活動
高齢者の人が住んでいる場所を確認して、避難などの手伝い。
悪いこととかをしなければいい
世界の人と交流のイベントがあったらいいと思います。
信号の青の時間を長くしてほしい
地域の人たちが参加できるイベントを増やす
ゴミ拾い
喧嘩やいじめをなくす
犯罪のない和歌山市がいい
SDGs に、取り組むと良い
子供から大人まで楽しめる行事を作ると良いと思う。
海のゴミや自然のゴミを拾えば気持ちよく過ごせると思いました
地域のゴミをすべて拾う
外国の人と話す交流
誰にでも親切にする
一人一人協力し合う
・自然を残す。・地域の人との交流。
子供から大人まで、もっと住みやすくしたい。
これから頑張ります
犯罪者などの人たちがいなくなり、ゴミ拾いや人と関わる時間を増やしたら幸せになれると考えた
高齢者のひとが楽しめる施設をふやしたり、スポーツ教室や色々な教室を増やすといいとおもいました
生き物が嫌いな人は生き物のいいところ教えると生き物が嫌いにならないと思います
車にのっている人の中で、最近マナーが悪い人が増えてきている。改めてルールを知ってほしい。
体が良くなる、電子機械を使えばいいと思います。この街から、病気を消したいです！

自由回答
近所の人みんなでたのしく遊ぶ
ゴミを減らす
お金を配ること。
十分幸せだと思う
平和に生きる
自分から笑って挨拶したら返してくれるからそれを和歌山市の当たり前にする。当たり前になったら日本中にこの当たり前を広げる
周りの人のことを考える
全て人を親切にするとみんながえがおになるから親切にする
公園の雑草を取ってほしい
優しくする
みんなでたすけあう
高齢者関係なく楽しいことをすればいいと思います
ボランティア活動
まつりとかを増やす
挨拶をする
高齢者や障害者でも楽しめる行事を作る
みんなで工夫すればいいと思います！
愛想良くきれいなまちにする
もっとボランティア活動を進める
みんなが集まれるボランティアなどをもっと増やす
子どもたちが楽しく過ごせるように、きれいな公園を増やしたらいいと思う。
ボランティアに参加する人を増やせばいいと思う
ポイ捨てをしている人に注意して落ちているゴミを拾う
私達の住んでいるところらへんは、道路がガタガタなので、整備してほしいです。
ごみを道とかに捨てないようにする。
困っていたら助け合ったり、毎日元気よく挨拶をしたら、今よりも幸せに生活できるとおもいます。
地域の人達全員で楽しめるような行事を作る。
お年寄りの人たちに施設を多くしたら良いと思います。
何もしなくてもいいと思います
公務員を増やす
もっとみんなで助け合ったりすれば、小さい子から高齢者のみんなが住みやすいところになるとおもいます。
お年寄りや病気持ちの人に優しくしていく地域にしていきたいとおもいました
町を綺麗にしてゴミを減らす
楽しいイベントを沢山企画する
みんなが楽しめるように公園をもっとつくってください
ごみをすてないこと
ゴミ拾いをする
和歌山市のきれいな環境を保つこと
日頃から挨拶をすること。

自由回答
みんなで支え合い協力すること
助け合う
川を綺麗にし、ゴミも拾い、暮らしやすい地域にしたい！！
ポイ捨てをしない
助け合い
もっと子どもたちが気軽に行けるショッピングモールなどがほしい。もっと写真スポットがほしい
他県の人々ともっと交流していけたら他県の色々なアイデアを参考にさせてもらってより良い生活に出来ると思います
ゴミ拾いなどをしてきれいにする。
みんなが、平等に暮らしたいです。
自然と触れ合う場所を増やしたり、公園を増やしたりする。
道をもっと整備して事故が起こらないようにすればいいと思う。
公園を増やしてほしいです。
山などの道を積極的に整えて欲しいです
屋台を増やす
健康に過ごすこと
もっと街をきれいにしたいなと思いました
知らなかったマークが合ったから今度調べようと思った
挨拶を自分からしようと思えるようになりました
知らないマークがいくつかあったので今度調べようと思いました
耳が不自由な方のマークを初めて見ました。これから席を譲る事を心がけていければなと思います。
私も子供だけど高齢者の方たちのお世話を手伝ったり、できることだけでもやろうと思った。
公園でボール遊びができる広場を作る。
ボランティアに少し興味をもちました。障害を持っている人に親切にできるようになりたいです。
祭りなどをもうちょっと増やす
公園を増やしたらいいと思います
これからもボランティア活動をする。
ボールや一輪車を使える公園、走っても滑りにくい公園などを、増やして行ってほしいです。
段差をなくしてほしいです。
大きいお店お一つ作ったらいいと思う。そのお店に洋服、食料品、家庭用品などがあれば、幸せになりそう。
障害者の方のマークなどをもっと広めたらいいと思う。
楽しいボランティア活動をする。
自然を守りながら、自然を活用した遊ぶ場所を作る
ボランティア活動をたくさんしていく
もっと道路を整理したほうが良いと思う
差別がなくいい気持ちで過ごせるようになるといいかなと思います
一人ひとりを大事にする。
体が不自由な人には人には声をかけたりする
子供が遊べる公園を増やす

自由回答
ボランティアをする
他の学校との活動をしてみたい
地域のための活動に参加したりする
ボランティア活動をする
自分の、望むものだけど、カードショップを増やしてほしい
みんなが楽しめる行事やお祭りを増やす 実験系や職業についての体験教室を増やす
ボールあそびができるところをふやしてほしい
お店を多くしたり子どもたちが楽しく遊べるところを多くしたり夏祭りなどを増やしたり空いている土地があればモールなど、飲食店も増やしたり、道路を設備したりしてほしい
ゴミ捨て場の場所を多くすれば、ポイ捨てがなくなると思うし、私の大好きな和歌山市がきれいになると思います。
今プラスチックで海のいきものがゴミを食べてしまったりして死んでしまったりしているのでゴミはちゃんとゴミ箱やゴミ袋にいれるなどをしてほしいし、自分もちゃんと気をつけようと思いました。
電車やバスなどでは障害がある人や高齢者の人に椅子場所をゆずったりして、みんなで助け合って生活することでみんなが今よりももっともっと幸せになるんじゃないかな？と思いました 他にもみんなが今よりももっともっと幸せに生活できるように2ヶ月に一度とかに自分たちがすんでる周辺をきれいにする活動をすればみんながきれいなまちに住めて今よりももっともっと幸せに生活できるんじゃないかな？と考えました。みんなが幸せに住めるような活動に参加してみたいなと思います！
普段からみんな挨拶をするとういと思う
正直自分の家(打越町)の小さい道路がもう少し整備してほしいと思いました。ちょっと危ないかなと思ったのでご意見のところに書きました。他にもひかり幼稚園の前の道路も幼稚園児にしては危ないかなと思います。話が異なるのですが、先日友達の家に行って、5時10分ぐらいに帰りました。帰ってる途中にエバグリーン(ヒロ HIRO)のところら辺で不審な人に追われまして、怖いと思ったので、人通りの多い秋葉山近くのファミリーマートに行きました。すると少し眺めてそのままどっか行きました。一応報告しようと思ったので書きました。自分的に防犯カメラをもう少しつけていただければなと思いました。長文失礼しました。
地域の全員が優しいので助け合ったりもっと交流するとよいと思います
私はこの街での生活に満足にしています
周りに子供が遊べる場所が小さい公園と友達の家しかないから子供と遊んだりゲームを買ったり出来る場所をもっと増やすべきだと思う。例えばゲームセンターやクレーンゲーム、ボーリング等の施設を作ればいいと思う。そうすれば子供も増えて和歌山の人口減少の改善にもつながるのでいいと思う。
WAKAYAMACITY の2階にお店を増やしてほしい。
どんどんみんながボランティア活動に自分から参加して、色々な人との関わりを多くする。
ゴミを捨てない。
住んでいる近くをきれいにする
公園は色んな人が使う場所でもあるのでトイレはきれいで、あまり気にならない匂いにしてほしいです。無茶振りなこと申し訳ございません。
もっと大きな遊園地を作る
ボランティアとか困っている人を助けたりしたら地域のすべての人が幸せになると思います
助け合いをする
みんなで助け合い仲良くする

自由回答
一人、一人が地域のことを考えてこうどうする
祭りなど楽しい行事を増やす
いままでより子供といっしょに遊べるような施設を空き地に作る。費用は税金やクラウドファンディングにより稼ぐ。こどもがいない大人には他の異性と喋れるようなところを作る。
挨拶やボランティア活動に取り組むようにする
手伝いをする。
もっとみんなが暮らしやすくなるような制度を作ればいいと思う。
近くに公園があるのですが、近所の人に迷惑がかかるのでボール遊びができないし、小さい子が多いので自由に遊ぶことができません。広い公園が近くにあればいいなと思います。
高齢者の人でもできる仕事を増やすと幸せに心配もせず過ごせると思う
生き物がたくさんいる場所川とか「山以外」。あと川遊びができる場所。
ユニバーサルデザインの商品などを増やす活動。
公園や広場などを増やしたらいいと思います。
怒らない
みんながボランティア活動を一生懸命すること
年配の人たちや障害者や困っている人たちの手伝いをしたらみんなが幸せになれると思います。他にも自分から手伝いにいたりすることが地域を良くすることにつながると思います。
街を、キレイにする
バスなどのなんか障害者用の専用席をもうちょっと増やしたりその席の下などに小さい階段などをつけたらいいと思う
自分がされて嫌なことはしないをみんな守ればよかった
事故が起こらないように道を広くしたらいいと思う
道路の角が危険でひかれそうだった
沢山ボランティアをする
ごみ捨て場がカラスがきてあらしでゴミが出てからそこを直した方がいいとおもいます
快適に生活できるようにする
たすけあいをする
みんながボランティア活動をすると思う
不審者などをなくす
みんなが協力し合う。
狭い道路を広くする 公衆トイレをきれいにする
誰にでも優しくする
ゴミ拾い
ポイ捨てなどせずに地域のみんなが気持ちよく過ごせるようにする
食料品や、生活用品の値段を安くする
地域の行事を県外の方などに宣伝などをしたら良いと思う
お祭りを増やしたり、デパートなどの値段を減らすともっと幸せに暮らせると思います。
高学年として学校の前で配っているチラシを歩道橋などに捨てないように呼びかけてみる
みんなが参加できるイベントがもっと多く開催してほしいし、ものづくり体験のイベントも開催してほしい。

自由回答
観光場所を増やしてほしい。
ゴミ箱を増やす。公園やどうろに。
地域の人みんなが参加できるお祭りなどをもっと積極的に開催したり、地域でしかできないことをする。
安全な暮らしがいいと思うので道をきれいにしたりしたらいいと思いました。
和歌山市のみんなの意見を知るためにアンケート用紙を配り意見を書いてもらうことなどをすれば、今よりもっと幸せになると思います。
ボランティアをする
すべての人がもっと親切になればいいとおもう
てつだい
すべての道を整備すること。
助け合う
これからも街をきれいにする。みんなを楽しませるアイデアを考える。
節電や地域の人との交流をしていったら良いと思います。
願望ですが図書館の本や習い事の大会などを増やすこと
私の近くには公園や広場などが少ないのでもっと公園や広場を増やしてほしい
高齢者や怪我をしている人に全国民が席を譲ったりする
協力する
ゴミ拾いを手伝う、不審者を減らしたいです。
広い公園が欲しいし、野球ができる公園が欲しいです。
地域の人達と、仲を深められるように、お祭りや、地域でのイベントを増やしてほしいです。
もう少し自然を大切にすればいいと思います
声をかける
みんな挨拶や困っている人がいたら 助け合ったりしたらいいと思う
コストコを作る。安原にスーパーを作る。
大きなショッピングモールを作る
道路を広くしたり、公園を増やしたほうが良いと思います！
学校に行く日をすくなくする
みんなが楽しめるような、活動？遊びをきかくしたらいいとおもいます！！今でも十分幸せな生活になってますよ！！！！
ゴミ拾いなどをして街をきれいにする。
道をきれいにする
あいさつ
子供も大人も障害者の人も安心して暮らすことができるように道を整理したりする
歩道にガードレールを設置したり道路を整備してほしい。和歌山の自然を体験できる施設が欲しい。
ゴミなどを道に捨てない
ゴミ拾い
学校の近くで子供が行けるようなキッズルームみたいなのを立てたい
いろいろな人が参加できるイベントをつくったらみんなが楽しめていいと思います！！
水族館など家族で楽しく遊べる場所が増えると良いと思います。
子どもたちが遊べる公園を増やす

自由回答
みんなが楽しめるイベントをつくっていったらよい
挨拶運動などをする
もっとまちをきれいにして、環境を良くすることでさらに幸せに、暮らしやすく出来ると思う。
もう少し子供の遊べるところを増やしてほしい
あいさつをする
ごみ拾いを心がける
ひび割れた道路や道を直す
遊び場を増やす
ゴミ拾いや子どもたちが遊べる公園を増やすことをしたらいいと思います。
ボランティア活動をもっとしていく
ポイ捨てをしない
ゴミ拾いをもっとやってほしいし、自分もやりたいです。
みんながあんしんしてくらせるように、ゴミ拾いをかかさずする。
今でも十分だけど、もっと公園や駄菓子屋とかも増やしてほしい
ごみを減らす
きしゅうくんの家などを見つれたり、場所を覚えたりしたら、不審者などから逃げれるから、こんなことをしたほうがいいと思った。
川などで缶などごみなどを捨てている人を見たことがあるから、ポスターなどで呼びかけたらいいと思う。
川や海、公園で缶やゴミを拾う。
ゴミ箱をそこらに置いてゴミがあったらすぐ捨てれるようにする
もう少し多く地域関係なく子供から高齢者まで楽しく遊べる大会や祭り事をできるだけ多くすればいいと思ました。
街灯をつけてください
もっとコンビニを増やす
安原地区に駄菓子屋をつくってください
ゴミ拾いをする
田舎にも近くにお店を立ててほしい
助け合う
前に道で転んだ事があるから道路の凹凸部分をなくしたら 障害者や高齢者、小さい子が歩きやすいと思います。
自然を大事にする
和歌山市をきれいにすること
リラックスできる場所を増やす
ゴミ拾いとか周りを見て手伝いとか
スーパーか、コンビニを増やした方が良い
ボランティア活動をする
近くにコンビニかなんかのお店を作って欲しい。そしたらなにか買い忘れたときにすぐに行けるから。
子育て支援制度を手厚く保証してほしいです。お金が少なくても子育てに必要なものを買えるようにお願いします。お、ね、が、い、

自由回答
大人も子供も楽しく遊べる施設やスーパーマーケット、公園などの施設をもっと増やしてほしいです
こまめに地域の掃除を行う
税金を0%にしてください
みんな体が不自由な人や小さい子供を優先してみんな助け合って思いやりのある生活を心がける
きれいな街にしたりご老人の人に優しくする
ゴミを拾う
近所の人との交流
地域の人と交流をして仲を深める
高齢者、障害者関係なくみんなで交流し合う
・地域の人にあったらできるだけあいさつをする ・ゴミ拾いをする ・人に親切にする
ゴミを捨てない
いじめを無くす。暴力、暴言をなくす
(大阪だけでも) 南海電鉄の特急サザン号の南海みさき公園駅の停車をダイヤ改定時に中止する。JR 和歌山駅にホームドア設置
あんしでいられるように
もっと友達を作って楽しい生活がしたいです。
挨拶をする
荷物をもってあげたりする

和歌山市地域福祉計画に関する  
アンケート調査  
結果報告書

発行：和歌山市 福祉局  
社会福祉部 高齢者・地域福祉課  
TEL：073-435-1063  
FAX：073-435-1268

発行年月：令和6年7月